

知多の自然観察

— 2008(平20) 年度 —

年 報



「冬の生き物たちに会おう」
2008.2.16 東浦町内にて

知多自然観察会

— 愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部 —

はじめに

1980年に愛知県内で最初に日本自然保護協会の自然観察指導員講習会が開催され、翌、81年に愛知県で第2回目の講習会が行われました。そして、1982年の5月に8名で知多支部が開設されました。名称は、知多地方自然観察研究会としました。会員の中で教員が多かったことから学校から受け入れやすい名称にし、学校と提携できればと考えたような記憶がします。最初の活動は、自然観察会を行うより、まず、自然を知るために野外研修をしました。その後、92年に「知多の自然観察10年」を発行し、身内だけの記念行事を行ったのを機会に知多地方自然観察会と改称しました。地方名を残したのは、知多市の観察会と混同されるからでした。2003年に設立20周年記念行事開催した機会に知多自然観察会と現在の名前になりました。

設立した年の行事は、3回の自主研修会を行いました。その後、年々行事回数も増加し、今年度は、委託・依頼行事を含めて年150回以上になっています。最近、地方公共団体の環境部門からの依頼が年々増加してきています。また、学校関係や各種団体からも依頼が入っています。特に、ホームページを閲覧しての依頼も何件か入っています。今後さらに委託・依頼行事が増加することが予想されます。これに対応するためにさらに体制を整えていく必要があります。会員の住居地にばらつきがありますので会員数が少ない市町は仲間を増やしていただくようお願いいたします。それから平均年齢が年々上昇しているような気がします。自然大好きな若い人たちに声を掛けていただき、家族そろって参加していただくことを期待しています。充実した自然観察会を実施するために自分の担当以外の行事にも極力顔出していただき、お互いに助け合いながら技術・知識を吸収していただくようお願いいたします。私を含めて、ややもすると生き物大好きな仲間が集まり、自分たちが楽しい自然観察を行ってきたような気がします。

ここで、原点に戻り、日本自然保護協会の理念である①「自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう」②「自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう」③「美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう」をもう一度思い出して活動をする必要があります。来年は、COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋市で開催される良い機会です。COP10は、自然保護だけではなく、遺伝子組み換え、資源の配分などが話し合われ、単に生物だけの問題だけではなく途上国との格差の問題も含まれているそうです。COP9に参加された皆さんは、周辺の生物多様性に関わる場所を視察する事も行われたそうです。これに応えるために、私たち知多自然観察会も自然観察会を通してCOP10参加者と交流が出来るよう皆さんで協力して準備をしたいです。

(知多自然観察会代表 降幡 光宏)

はじめに

1980年に愛知県内で最初に日本自然保護協会の自然観察指導員講習会が開催され、翌、81年に愛知県で第2回目の講習会が行われました。そして、1982年の5月に8名で知多支部が開設されました。名称は、知多地方自然観察研究会としました。会員の中で教員が多かったことから学校から受け入れやすい名称にし、学校と提携できればと考えたような記憶がします。最初の活動は、自然観察会を行うより、まず、自然を知るために野外研修をしました。その後、92年に「知多の自然観察10年」を発行し、身内だけの記念行事を行ったのを機会に知多地方自然観察会と改称しました。地方名を残したのは、知多市の観察会と混同されるからでした。2003年に設立20周年記念行事開催した機会に知多自然観察会と現在の名前になりました。

設立した年の行事は、3回の自主研修会を行いました。その後、年々行事回数も増加し、今年度は、委託・依頼行事を含めて年150回以上になっています。最近、地方公共団体の環境部門からの依頼が年々増加してきています。また、学校関係や各種団体からも依頼が入っています。特に、ホームページを閲覧しての依頼も何件か入っています。今後さらに委託・依頼行事が増加することが予想されます。これに対応するためにさらに体制を整えていく必要があります。会員の住居地にばらつきがありますので会員数が少ない市町は仲間を増やしていただくようお願いいたします。それから平均年齢が年々上昇しているような気がします。自然大好きな若い人たちに声を掛けていただき、家族そろって参加していただくことを期待しています。充実した自然観察会を実施するために自分の担当以外の行事にも極力顔出していただき、お互いに助け合いながら技術・知識を吸収していただくようお願いいたします。私を含めて、ややもすると生き物大好きな仲間が集まり、自分たちが楽しい自然観察を行ってきたような気がします。

ここで、原点に戻り、日本自然保護協会の理念である①「自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう」②「自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう」③「美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう」をもう一度思い出して活動をする必要があります。来年は、COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が名古屋市で開催される良い機会です。COP10は、自然保護だけではなく、遺伝子組み換え、資源の配分などが話し合われ、単に生物だけの問題だけではなく途上国との格差の問題も含まれているそうです。COP9に参加された皆さんは、周辺の生物多様性に関わる場所を視察する事も行われたそうです。これに応えるために、私たち知多自然観察会も自然観察会を通してCOP10参加者と交流が出来るよう皆さんで協力して準備をしたいです。

(知多自然観察会代表 降幡 光宏)

目 次

	頁
はじめに	1
1 目 次	1
2 編集について	4
3 私たちの活動	5
4 自然観察を楽しむためのお願い	6
5 総会報告書-2008. 2. 17開催-	7
6 会 則	9
7 2008年度年間計画（一般配布用）	10
8 " (会員用)	14
9 観察会の記録 (全体の回数110回のうち、27例を抽出)	頁
1. 東海支部	実施日 活動場所
・実績&反省	----- 20
・野草と虫たちの生活をのぞこう	(2008. 4. 5) 市民病院P集合 21
・横須賀新川の生き物を見よう	(2008. 6. 15) 養父保育園P集合 22
・キノコを観察しよう	(2008. 9. 15) 大池公園 23
2. 大府支部	
・実績&反省	----- 24
・朽ち木の中の生きもの	(2008. 2. 11) 二ツ池公園(セレクトナ) 25
・夏に出会えるキノコたちを探そう	(2008. 6. 22) " 26
・灯火に集まる虫と鳴く虫を観察しよう	(2008. 7. 25) " 27
3. 知多支部	
・実績&反省	----- 28
・冬に長旅して来た身近な野鳥の観察	(2008. 1. 12) 梅の館 集合 29
・海辺の生き物観察	(2008. 4. 12) " 30
・キノコの観察をしよう	(2008. 10. 25) 旭公園 31
4. 東浦支部	
・実績&反省	----- 32
・灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう	(2008. 7. 25) 高根の森 33
・身近にあるキノコを見つけよう	(2008. 10. 5) " 33
・森の宝物で工作しよう	(2008. 11. 29) 於大公園このはな館 35
5. 阿久比支部	
・実績&反省	----- 36
・朽木の虫を観察しよう	(2008. 1. 27) 箭比神社 37

・植物、野鳥、虫たちの躍動を感じよう	(2008. 4. 13)	箭比神社	38
・灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう	(2008. 8. 16)	ふれあいの森	39
6. 半田支部			
・実績&反省	-----		40
・川の生き物観察	(2008. 5. 3)	十ヶ川(半田運河)	41
・川の生き物観察	(2008. 7. 12)	矢勝川池田橋	42
・童話の森で木の実、草の実観察と工作	(2008. 11. 22)	南吉記念館P 集合	43
7. 常滑支部			
・実績&反省	-----		44
・愛知用水の食虫植物を見よう	(2008. 6. 15)	南陵公民館P 集合	45
・川の小さな生き物を見よう	(2008. 7. 13)	前山川乗田橋付近	46
・秋の実りを見つけよう-工作も!	(2008. 11. 9)	大曾公園グリーン スポーツセンター	47
8. 武豊支部			
・実績&反省	-----		48
・新川の生きものを見よう	(2008. 7. 6)	福寿園南100m鉄塔 集合	49
・木の実や花や虫で秋をいっぱい感じよう	(2008. 9. 13)	別曾池公園 P 集合	50
・木の実等自然の恵みを使って工作しよう	(2008. 10. 25)	老人福祉センター前	51
9. 美浜町・南知多支部			
・実績&反省	-----		52
・南知多の地質・岩石を調べ化石を探そう	(2008. 2. 24)	南知多体育館西方	53
・冬鳥と旅鳥・カワウの子育観察	(2008. 3. 29)	鶺鴒の山ウ繁殖地	54
・海辺の生き物観察-あいちの自然観察-	(2008. 6. 21)	富具崎	55
10 受託orお手伝い	(回数約30回のうち、10例を抽出)	※「里山活動」は含まず	頁
・実績&反省	-----		56
No	内 容 or 行事名	実施日	主 催
1	校庭の木を観察して冬芽を知る-2年生-	(2008. 2. 13)	知多市岡田小学校
2	緑の中で遊ぼう会-全学年-	(2008. 5. 1)	常滑市三和小学校
3	内海小&山海小交流会-山海大泊海岸-	(2008. 5. 21)	南知多町山海小学校
4	フナビオとふれあう会-船島小ビオトープ-	(2008. 5. 24)	東海市船島小学校
5	磯の生物観察会-豊浜荒磯松海岸-	(2008. 6. 20)	名古屋市瑞陵高校
6	海に親しむ会-羽豆岬-	(2008. 7. 3)	南知多町師崎小学校
7	海辺の生き物に親しもう-富具崎海岸-	(2008. 7. 29)	カトリック岡崎教会
8	生き物を観察しよう-知多市野崎川-	(2008. 8. 17)	寺本台子供会・自治会
9	知多地域みどりの少年団交歓会-空の科学館&任坊山公園	(2008. 10. 18)	県農林事務所・半田市
10	生涯学習フェスティバル-日福大半田キャンパス-	(2008. 10. 26)	日本福祉大学

11	里山クラブの活動	(全体の回数12回のうち、5回を抽出)		頁
	・実績&反省	-----		67
	・山菜や薬草を探し & 観察路整備 & 参豚汁	(2008. 4. 13)	名鉄「野間駅」前集合	68
	・里海の体験と観察 & 海山鮮バーベキュー	(2008. 7. 6)	活動拠点の“義朝の森”	69
	・若竹で流さないソウメン & 竹細工	(2008. 8. 10)	〃	70
	・竹炭焼き(希望者宿泊可) & 夜の自然観察	(2008.10.11~12)	〃	71
	・竹炭の窯出し祭	(2008. 10. 19)	〃	72

12 研修or旅行

No	内 容 or 活動 (or集合)	場 所	実施日	備 考	頁
1	鳳来寺山周辺の地質観察-秋の宿泊研修-		(2008.11.15-16)	定例	73
2	スクミリンゴガイ現地研修(知多市地域文化センター)		(2008. 9. 7)	臨時	74
3	持ち寄り会・パソコン研修(阿久比中央公民館)		(2008. 8. 24)	定例	75
4	猿投山県有林で灯火採集		(2008. 8. 9-10)	臨時	76
5	茶臼山で灯火採集		(2008. 7.20-21)	〃	77
6	東三河の自然をたずねて-春の宿泊研修会- ※東三河支部との交流会		(2008.5.31-6.1)	定例	78
7	化石観察研修 (南知多町片名)		(2008. 4. 27)	臨時	79
8	富山でヒスイを拾おう (富山県宮崎海岸など)		(2008. 3.15-16)	〃	80
9	会員の活動実績発表・パソコン講習(亀崎幼稚園)		(2008. 1. 19)	定例	81
10	漂着物展と水族館を見よう(碧南市碧南海浜水族館)		(2008. 1. 4)	臨時	82

13 個人の記録or活動

No	内 容	活動場所	実施日	寄稿 or 制作者	頁
1	川の生きもの調査	日長川 (知多市)	(2008. 8. 2)	金内 力	83
2	〃	神田川 (知多市)	(2008. 9. 6)	〃	84
3	〃	信濃川 (知多市)	(2008. 9. 13)	〃	85

14 掲示板 ----- ホームページのトップページからリンクしています。是非、ご覧下さい。 HP

15 編集後記 86

【編集について】

知多自然観察会URL

<http://chitakan.com/>

この冊子に掲載の記事は、ほぼ全部、上記ホームページで見ることができます。ただし、この冊子の作成時期との関係で具体的な活動例には前年度の1～3月に実施されたものも含んでします。すなわち、年間計画は本年度のものに掲載ですが、活動例は前年度1～3月及び本年度4～12月のものの中からの抽出です。

また、具体的な活動例の原稿は、ホームページからプリントアウトしたものそのままです。そのため、各ページの上下に色々な語句が印刷されているうえ、黒っぽい写真を薄く刷り上げるようにしているため、まことにすっきりしない見栄え少ない仕上がりとなっています。

さらに、また、一つの活動を印刷しますと2、3ページどころか10ページ近くになるものもあります。ここでは、すべて、最初の1ページ分だけを印刷し掲載しました。そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご理解下さい。機会がありましたら、是非、アクセスして実際の全ページをご覧下さい。

HPトップページの内容（一部）

2008年度観察会予定表 ⇒ 観察時のお願い（一読を） 2007年度観察会の記録
（テーマ欄の色太字は観察会の記録が見られます）

観察の記録 過去の記録含む	受託・手伝い 協力事業	里山クラブ	掲示板 意見交換・C.V.	個人の記録	調査活動
研修・旅行等	当会の案内	問合せ先 連絡先	リンク	会員専用	

自然の楽しさを 自然の大切さを みんなに
わたくしたちはこんな活動(←クリック)をしています

自然観察会を中心に次のような活動をしています。

自然観察会の記録 受託・お手伝いの記録 里山活動の記録 2008年度行事

保全・保護活動

観察会での啓発
里山整備保全
公園整備保全手伝い
希少種などの調査と保全
湿地・森林・海岸の保全

自然観察ガイド

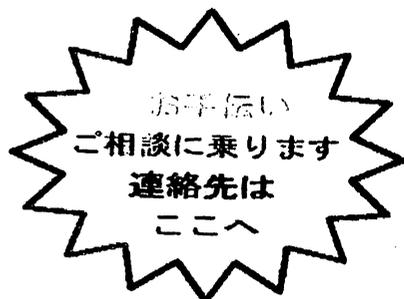
公共団体から依頼
JCなど団体から依頼
子ども自然教室
緑の少年団交流会

里山活動

間伐作業
野菜づくり
竹炭焼き
遊園地づくり
野外料理
キャンプと夜の自然観察会

総合的学習の援助

野鳥の観察
川や池の生きもの観察
海辺の生きもの観察
野山の昆虫観察
野山の植物観察
朽ち木の虫観察



自然物の工作

ススキやワラなどの細工
ドングリなど木の実細工
間伐材の利用
ツル植物の細工
落ち葉や枯れ枝細工
漂着物や小石の工作

校外研修のお手伝い

幼稚園や保育園の職員
小学校の生活科担当者
公共団体の野外実習援助
中学校新任研修会援助

ビオトープ相談

トンボと池の環境
池の深さと植物の住み分け
水生昆虫の住みかど環境
自然環境と植物

生きもの調査

観察会の際の記録
公共団体から調査依頼
関連団体から調査協力
会員研修時の記録

[トップページへ](#)

自然観察を楽しむためのお願い

【参加する時のお約束】 【観察会での楽しみ方】 【こんな時はリーダーに連絡を】

【参加する時のお約束】

- ① 自然に親しみ、自然を観察し、身近な自然の大切さを見つけます。
- ② 小雨の時も実施し、集合時間を過ぎると集合場所から移動をします。
- ③ だれでも参加できますが、小学生以下は保護者同伴で参加してください。
- ④ 野外活動ができる服装で、それぞれのテーマに合った準備をしてください。
- ⑤ 当日、名簿に記入し、一人50円のスポーツ保険に加入します。
(集合から解散するまで適用されます)
- ⑥ 集合場所欄に「事前申込=●印」の記入があるものは次のところに連絡してください。

・あいち健康の森公園	電話0562-47-9256
・知多市地域文化センター	電話0569-42-1101
・知多市梅の館	電話0562-54-2911
・東海市環境課	電話052-603-2211
・大府市環境課	電話0562-47-2111
・大府市二ツ池公園セレクトナ	電話0562-44-4531
・大府市北山公民館	電話0562-48-6015
・大府市大府公民館	電話0562-48-1007
・大府市神田公民館	電話0562-46-2620
・美浜町環境課	電話0569-82-1111
- ⑦ 集合場所欄に「事前申込」の記入が無いものは事前申し込みの必要はありません。
内容の詳細はそれぞれの担当者にお訪ねください。
ただし、団体で10名以上参加される時は、事前にそれぞれの担当者に電話連絡をしてください。(担当者：知多自然観察会年間予定表参照)

【観察会での楽しみ方】

- ① しっかり、じっくり見ましょう。
- ② 耳をすまして、いろいろな音を聞きましょう。
- ③ さわって、感触を味わいましょう。(リーダーの了解で)
- ④ においをかいで見ましょう。
- ⑤ 時にはかじってみましょう。(リーダーの了解で)
- ⑥ 生き物の落とし物や足跡を探しましょう。
- ⑦ 石の下や落ち葉の下も探そう。(後で元にもどして)
- ⑧ 生きものを静に尾行しよう。
- ⑨ 同じ所に、季節を変えて訪れよう。
- ⑩ 生き物のつながりを考えよう。
- ⑪ 面白いものを見たらみんなに話そう。(わかちあい)
- ⑫ 参加者やリーダーと友達になろう。何でも聞こう

【こんな時はリーダーに連絡を】

- ① けがをした時や気分が悪いとき。
- ② 危険個所を発見した時や回りの人のようすが変なとき。
- ③ 用事などで、途中で帰るとき。
- ④ 生き物を持ち帰りたとき。(原則として持ち帰り禁止)
- ⑤ 知りたい生き物を見つけたとき。
- ⑥ 知多自然観察会に加入したいとき。
- ⑦ 観察会のとき以外でも、生き物や自然について聞きたいとき。

トップページへ

平成20年3月吉日

会員各位

知多自然観察会 代表 降幡 光宏

2008年知多自然観察会総会報告書

08. 2. 17 (日) 9:30～
阿久比町勤労福祉センター
(エスペランス丸山)
出席者45名

- 1 代表あいさつ (降幡) 今までの会の歴史とこれからの活動抱負
引き続き 会員自己紹介
- 2 議長、書記選出 (議長 畠 ・ 書記 竹内(秀))
- 3 07年度行事報告、会計報告 各担当者より報告
 - (1) 支部関係 春・秋研修旅行・緑の少年団交流会・会員研修発表持寄り会等 (庶務)
 - *研修旅行2回(春・西三河支部と交流)(秋・静岡県西部)年報参照
 - *会員研修発表会2回(8/18・東海市環境課調査委託の結果)(1/19・知多半島南部の魚、漂着物の楽しみ)
 - *緑の少年団交流会(常滑市)会場西浦南小学校と周辺にて10月20日(土)
 - (2) 市・町ミニ観察会 各担当者より報告(各市町代表・美浜里山)
岩崎、村瀬、竹内秀、中井(三)、吉房、榊原(靖)、牧野、鈴木(樹)、永田、吉田各氏より
受託関係含み「東海市・知多市地域文化センター・梅の館・知多市環境課・大府・阿久比町・半田市・日本福祉大・美浜里山・緑とのふれあい(東海市)・緑の少年団交流会(常滑市)・新任教員研修会(村瀬)」について報告あり。
ミニ観察会では「川の観察・ホテルの観察に人気があるが他の行事のあり方、募集の仕方を考えていきたい」
 - (3) 07年度の観察会行事についての質疑・今後の課題・確認事項等
 - 1) 観察会行事の宣伝・募集
 - ・中日新聞等各新聞社に行事10日ほど前に行事担当者がメール、FAX等で掲載依頼をする。
 - ・各市町の広報に各市町ごとにメール、FAX等で掲載依頼をする。
 - ・参加者が興味を持ってもらえるような「観察会名をつける」「初心者歓迎等の一文字を入れる」等工夫をする。
 - 2) 観察会当日、指導者は観察会マナー、安全対策、運営、保険等を必ず呼びかける。
 - (4) 会計報告(別紙) 牧野
 - (5) 会計監査報告(別紙) 山田(絹)・葛谷
会計処理について、受託金が無ければ会費1000円では、今の会の運営に影響が出るので、繰越金等会計全般について、各市町の代表会で現在の繰越金等の使い方について検討する。
- 4 08年度 役員・各市町代表・係分担選出
 - (1) 支部関係
顧問 (加藤) (原) 顧問は議長が代表を指名し、代表が依頼任命
代表 (降幡) 会計監査 (山田絹・葛谷)
副代表 ①庶務(南川) ②研修(榊原靖) ③年報・Web(榊原正)
会計(牧野)
 - (2) 市町連絡会正副代表選出
東海市(岩崎・平松俊) 大府市(村瀬・大嶋) 知多市(小川・吉房)
半田市(榊原靖・榊原正) 常滑市(中井三・今津) 阿久比町(牧野・平松裕)
東浦町(竹内・桑原) 武豊町(畠・鈴木樹) 美浜町・南知多町(永田・森田)
美浜里山(百合草・吉田)
 - (3) ホームページ作成担当(観察記録のとりまとめ)
チーフ(榊原正)年報・Web担当代表
東海市(早川) 大府市(吉川) 知多市(小川) 半田市(榊原正)
常滑市(降幡) 阿久比町(平松裕) 東浦町(竹内秀) 武豊町(畠)
美浜町・南知多町(永田) 美浜里山(吉田)
 - (4) 調査担当

リーダー (大嶋) サブリーダー (浅井)

- (4) 県協議会関係 担当者選出について
知多代表理事 (降幡) 理事 (吉川) 理事 (永田) 理事・会計監査 (榊原靖)
- 5 08年度の支部全体行事活動計画と主な内容
- 1) 春の研修旅行 (東三河と交流会) 5月31日 (土) ~6月1日 (日) 東三河の自然をたずねて
 - 2) 研修 (茶臼山で灯下に集まる虫の観察) 7月20日 (日) ~21日 (月)
 - 3) 新任教員研修お手伝い
小学校 7月23日 (水) ~7月24日 (木) ・中学校 8月27日 (水) ~8月28日 (木)
 - 4) 会員研修発表会・持寄会 8月24日 (日) 阿久比町中央公民館
 - 5) 全体調査 「スクミリンゴガイの生息・カシノナガキクイムシの被害調査」 9月7日 (日)
 - 6) 緑の少年団交歓会 10月18日 (土) 任坊山・空の科学館 半田市
 - 7) 日本福祉大 生涯学習フェスティバル 協力対応 10月26日 (日)
 - 8) 秋の研修旅行 11月15日 (土) ~16日 (日) 隣県の豊かな自然を訪ねて
 - 9) 会員研修発表会・持寄会 09年1月18日 (日) 阿久比町中央公民館
 - 10) 09年度総会 09年2月15日 (日) 阿久比町勤労福祉センター
 - 11) 市・町ミニ観察会行事 (別紙年間行事予定表参照)
 - 12) 市・町からの受託観察会行事
(東海市・大府市・知多市3部署・阿久比町・美浜町里山など)
 - 13) 08年度知多自然観察会行事の承認 (総合・日付・保険対象)
別紙年間行事表を参照して下さい。

6 提案・確認

自然環境調査グループの設立について (代表より提案あり) 県協議会の調査を正確なものにするため、支部に調査担当を設置したい。また、今後支部独自の自然環境調査等が出来る体制を作りたい。

HP作成について、各市町で観察会行事の実施の時に観察会担当リーダーは写真担当者を決めて観察記録と写真をホームページ担当者に速やかに送付する。

7. 県協議会関係行事

- (1) 総会 20年3月20日 (木) 祭日 開会 13時
中京大学文化市民会館 (名鉄金山下車・旧名古屋市民会館)
- (2) 自然観察指導員養成講習会 本年度愛知県では開催なし
- (3) 研修 (今年度から各支部で担当)

5月18日 (日) 鬼崎蒲池港 9:30 干潮 10時57分

- (4) あいちの自然観察会
6月21日 (土) 富具崎港 9:30 干潮 13時31分

8 保険関係

(1) 一般参加者は配布資料「保険について」をついて参照してください。

(2) 会員は以下の3タイプのいずれかにて対応

①自然観察指導員・・・自然保護協会のNACS-J自然観察指導員災害保障保険制度適用される。

内容は⇒ <http://www.nacsj.or.jp/shidojin/hoken.html>

②自然観察指導員の受講待者・・・NACS-J自然観察指導員災害保障保険制度適用されないので一般参加者と同じ扱い

③自然観察指導員の継続をしてない者・・・NACS-J自然観察指導員災害保障保険制度適用されないので一般参加者と同じ扱い。至急NACS-J加入手続きすること。

(3) 参加者名簿に自然観察指導員欄を設けたものを新たに作成する。

9 諸連絡と確認事項

1) 配布した①自然観察会の運営について ②障害保険について ③自然観察会を楽しむためのお願いを読んでいただき観察会を実施して下さい。

2) 「知多自然観察会一年報」 改定について (別紙)

3) 会員名簿の取り扱いについて充分注意してください。

知多自然観察会 会則

(愛知県自然観察指導員連絡協議会 知多支部)

- (名称) 第1条 本会は知多自然観察会と称する。
- (目的) 第2条 自然観察会等を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
- (事業) 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
自然観察ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
- (会員) 第4条 自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。
- (会費) 第5条 会員は毎年5月までに会費を納入しなければならない。
- (退会) 第6条 退会を希望する会員は代表または世話役に申し出るものとする。なお、会費未納の場合にはその資格を失う。
- (役員) 第7条 本会に次の役員をおく。
- | | |
|------|----------------|
| 顧問 | 若干名 |
| 代表 | 1名 |
| 副代表 | 若干名 |
| 世話役 | 市、町、里山クラブからの代表 |
| 庶務 | 1名 |
| 会計 | 1名 |
| 会計監査 | 2名 |
- (役員の任期) 第8条 任期は一年とするが再任を妨げない。
- (役員の選出) 第9条 代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。
- (役員の補充) 第10条 役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
- (総会) 第11条 本会は毎年1回、原則2月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。
- (役員会) 第12条 総会に代わる決議機関とする。
- (会計年度) 第13条 会計年度は毎年1月1日に始まり翌年12月31日に終わる。
- (会則の変更) 第14条 会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
- (内規) 第15条 本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。

(附 則)

- 1 この会則は平成19年2月18日より実施する。
- 2 本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。

2008年度 (2008.4.1~2009.3.31) どなたでも参加できます
表示月に飛ぶ⇒ 6・7月 8・9月 10・11月 12・1月 2・3月

自然観察を楽しむ時のお願い (必ず一読を) トップページへ

美浜町野間義朝の森で続き

年	月	日	曜	テーマ	集合場所 地図で表示	担当者・問合せ先
08	4	5	土	「野草と虫たちの生活をのぞこう」弁当持参、参加費100円(東海市環境課)	東海市民病院P 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	4	5	土	「生き物が盛んに活動する春を見つけよう」、ビニール袋持参	東浦高校正門前 9:30	田中(0562-34-6040)岩本
08	4	6	日	「任坊山で春をみつけよう」(虫や野草の観察)	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	4	12	土	「春の野草や虫さんに会いに行こう」捕虫網、虫かご、持参	知多市「梅の館」 9:30	山田絹(0562-34-8755)大野
08	4	13	日	「植物、野鳥、虫たちの躍動を感じよう」タモ、虫かご、双眼鏡持参	阿久比エスペランス丸山P 9:30	牧野(090-1232-9472)山田和
08	4	13	日	「里山ハイキング=春の里山で山菜・葉草を探そう・自然観察路の整備弁当持参豚汁・野草料理参加費300円	名鉄野間駅 9:30	吉田(052-932-0717)百合草
08	4	20	日	「春の野の花と虫さんたちに会いに行こう」あればタモ、虫かご、持参	武豊町自然公園P 9:30	鈴木(0569-72-1393)古川
08	4	20	日	「高坂墓苑と青池で春を見つけよう」(希望者は杉江幸治陶房で野草試食、参加者費100円、弁当持参)	常滑市高坂墓苑P 9:30	中井三(0569-42-2021)水野
08	4	20	日	「二ツ池の春の生き物を訪ねよう」タモ・虫かごなど：北山公民館へ申し込み予備日なし	大府市二ツ池公園P 9:30	大嶋(090-91914531)門脇
08	5	3	土	「十ヶ川(半田運河)の生き物観察」(干10:22サンダル禁止)「半田端午の節句まつり」半田市観光協会	半田市役所P 9:30	山田(0569-22-4660)榊原靖
08	5	4	日	「半田端午の節句まつり」半田市観光協会	半田市役所P 9:00	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	5	10	土	「樹木と花にくる虫の観察をしよう」タモ、虫かご(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 9:30	吉川(052-381-4426)平松俊
08	5	11	日	「初夏の里山ハイキング(秋葉山)夏野菜の植えつけ」弁当持参 山の幸・豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807)百合草
08	5	17	土	「春の野草や虫さんに会おう」(竹の子もあるかな)タモ、虫かご持参	知多市八幡大祥院前 9:30	吉房(0562-55-9025)中井康
08	5	18	日	「初夏の草花と花木を訪れる生きものを見よう」あればタモ、虫かご持参	長成池公園P 9:30	原(0569-72-2377)島
08	5	18	日	「海岸の生き物を見よう」パケツ、タモ持参、サンダル禁止。	鬼崎蒲池漁港P 9:30	森田(0569-87-0725)中井康
08	5	23	金	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯、靴で、(東海市環境課)	東海市上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)村瀬
08	5	23	金	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯持参・靴で	東浦町於大公園プールP 21:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
08	5	24	土	「信濃川の生き物を見よう」タモ、パケツ持参。運動靴か長靴	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614)浅井
08	5	24	土	「山で発見 ヒメボタル」懐中電灯持参。サンダル禁止	美浜町時志観音P 21:30	池田(0569-82-3506)百合草
08	5	25	日	「あいち健康の森公園で春の生き物に会おう」タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園事務所申込	あいち健康の森公園事務所 9:00	竹内(0562-83-9023)今西
08	6	8	日	「トンボ池の水棲生物の観察 とれたて畑の手入れ」弁当持参 豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497)吉田
08	6	13	金	「灯火に集る虫とヘイケボタル観察」靴で。懐中電灯持参。	知多市旭公園北P 18:45	平松俊(052-601-1491)小島
08	6	14	土	「明德寺川の中をのぞこう」タモ、パケツ持参。運動靴でサンダル禁止	東浦町文化センターP 9:30	田中(0562-34-6040)竹内秀
08	6	15	日	「愛知用水の食虫植物を見よう」あれば虫眼鏡	常滑市南陵公民館P 9:30	中井三(0569-42-2021)今津

08	6	15	日	「横須賀新川の生き物を見よう」バケツ、タモ。サンダル禁止（東海市環境課）	東海市養父保育園 P 9:30	吉村(0562-32-3760)村瀬
08	6	20	金	「灯火に集る虫とヘイケボタルの観察」懐中電灯持参。靴で。	知多市「梅の館」 19:30	平松俊(052-601-1419) 中井康
08	6	21	土	「海辺の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町富具崎港 P 9:30	森田(0569-87-0725)永田
08	6	22	日	「初夏の椎ノ木大池」(トンボ・水生生物を観察、タモ・虫かご持参)	板山小学校正門前 9:30	牧野(090-1232-9472)榊原靖
08	6	22	日	「夏にであえるキノコたちをさがそう」カゴ、虫除け持参・セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 9:30	降幡(0569-43-8060)村瀬
08	6	29	日	「福山川の生き物は今年も元気かな」タモ、バケツ持参。靴でサンダル禁止	阿久比町板山公民館前 9:30	金内(0562-55-8614)浅井
08	7	5	土	「夏の昆虫とオオケマイマイを見つけよう」タモ、虫かご、(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 P 9:30	原(0569-72-2377)平松俊
08	7	5	土	「夏の生き物たちに会おう」タモ、虫カゴ持参。長袖長ズボン帽子着用	於大公園プールP9:30⇒緒川新池周辺	桑原(0562-83-2357)岩崎
08	7	6	日	「新川の生きものを見よう」サンダル禁止。川に入れる服装で。あればタモ、バケツ	武豊福寿園南100m鉄塔の下 9:30	原(0569-72-2377)金内
08	7	6	日	「里海の体験と観察 海山鮮パーベキュー」弁当持参 参加費500円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807)百合草
08	7	6	日	「二ツ池のトンボを見つけよう」図鑑・タモ・虫かごなど：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 9:30	板倉(0562-44-0547)村瀬
08	7	12	土	「矢勝川の生き物観察」(タモ、バケツ持参、サンダル禁止)	新美南吉養家 P 9:30	榊原靖(0569-21-3497) 大橋
08	7	12	土	「夏の森の生き物を観察しよう」タモ、虫かご、持参	知多市「梅の館」 9:30	蔦谷(0569-42-1913)山本
08	7	13	日	「前山川の小さな生き物を見よう」バケツ、タモ持参 サンダル禁止	常滑市青海公民館 P 9:30	金内(0562-55-8614)齊上
08	7	19	土	「干潟の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。あれば双眼鏡持参。	美浜町奥田農協 9:30	森田(0569-87-0725)永田
08	7	19	土	「夏の生き物を見つけよう(かぶつにも会えるかな)」虫かご持参	知多市旭公園北 P 9:30	吉房(0562-55-9025)山本辰
08	7	25	金	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」懐中電灯持参、運動靴で	東浦町高根の森 P 9:30	春日(0562-84-2086)水野利
08	7	25	金	「灯火に集まる虫と鳴く虫を探そう」懐中電灯持参、サンダル禁止・セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 19:00	平松俊(052-601-1491) 村瀬
08	7	26	土	「あいち健康の森公園で夏の虫たちの様子を観察しよう」図鑑・タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川洋(052-381-4426) 桑原
08	7	27	日	「境川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：神田公民館か大府市環境課へ申し込み	神田公民館 9:30	村瀬(0562-48-4031)深谷
08	8	1	金	「灯火に集る虫と観察と鳴く虫の声を聴こう」懐中電灯持参。運動靴か長靴で。	知多市「梅の館」 19:30	南川(0569-42-5382)小島
08	8	2	土	「トンボと池の生き物の観察」タモ、虫かご持参。靴で(東海市環境課)	東海市上野台公園 P 9:30	平松(052-601-1491)岩崎
08	8	3	日	「境川の生き物をさがそう」バケツ・タモ・サンダル禁止：大府公民館へ申し込み	境川現地・新幹線南 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
08	8	10	日	「若竹で流さないソウメン」野菜サラダ竹細工(竹とんぼ ウグイス笛など)参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56-3952)沖田
08	8	16	土	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」懐中電灯、虫除け持参。サンダル禁止	阿久比町ふれあいの森 P 19:30	平松俊(052-601-1491) 平松裕
08	8	29	金	「夏の虫の音を聞こう」懐中電灯持参、サンダル禁止	常滑市松原公園東 P 19:00	小島(0569-42-4537)降幡
08	8	30	土	「緒川新池周辺の夏の生き物たちに会おう」あればタモ・虫カゴ持参	東浦町於大公園プール P 9:30	岩本(0569-84-3636)山田公
08	9	6	土	「布土川の生き物観察」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町布土公民館 P 9:30	斉藤(0569-82-3922)永田
08	9	13	土	「木の実・花・虫ウォッチングで秋をいっぱい感じよう」あればタモ、虫かご持参	武豊町別曾池公園 P 9:30	畠(0569-73-3518)鈴木

08	9	13	土	「秋の信濃川をのぞいて見よう」タモ、バケツ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614)山本辰
08	9	13	土	「虫の音鑑賞とお月見」	新美南吉養家P 19:00	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	9	14	日	「里山整備 竹炭焼きの準備 野菜の植えつけ もぎたて畑の幸・豚汁」弁当持参参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)吉田
08	9	14	日	「ネイチャーゲームで自然となかよし」：セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレクトナ 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	9	15	月	「大池公園のキノコを観察しよう」採集カゴ、虫除け持参(東海市環境課)	大池公園テニスコート横 9:30	降幡(0569-43-8060)村瀬
08	9	21	日	「石ヶ瀬川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：申し込み石ヶ瀬コミュニティか大府市環境課	大府市石ヶ瀬児童老福センター 9:00	村瀬(0562-48-4031)浅井
08	9	26	金	「虫の声を聴きながら星空を見よう」懐中電灯持参。	知多市「梅の館」 19:00	小島(0569-42-4537)平松俊
08	9	27	土	「クロマドホテルを見に行こう」靴で、懐中電灯持参	常滑市多賀神社P 19:00	平松(052-601-1491)降幡
08	9	28	日	出前観察会(場所未定)：セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレクトナ 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	10	4	土	「運動公園周辺の秋を見つけよう」(野草や木の実)	半田運動公園第一P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原靖
08	10	4	土	「身近にあるキノコを調べよう」採集用カゴ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	降幡(0569-43-8060)高橋
08	10	5	日	「身近にあるキノコを見つけよう」蚊取り線香・採集用カゴ持参	東浦町高根の森P 9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
08	10	11	土	「身近にあるキノコ観察」採集用カゴ持参。運動靴か長靴で。	知多市地域文化センター 9:30	降幡(0569-43-8060)石井
08	10	11	土	「竹炭焼き(希望者宿泊可)夜の自然観察」弁当持参 参加費1000円(夕・朝食)	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964)百合草
08	10	12	日	「竹炭焼き第二日目、窯止め」	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964)百合草
08	10	12	日	「秋の樹木を観察しよう」図鑑・かごなど：セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレクトナ 9:30	吉川(052-381-4426)大嶋
08	10	19	日	「キノコを見つけて見よう」採集用カゴ持参、虫除け、サンダル禁止	常滑市桧原公園東P 9:30	降幡(0569-43-8060)平松俊
08	10	19	日	「竹炭の窯出し祭」仕分けをして参加者に分配	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)榊原靖
08	10	25	土	「虫の観察と秋の実りをみつけよう」タモ・虫かご	あいち健康の森公園事務所 9:00	村瀬(0562-48-4031)岩本
08	10	25	土	「木の実等自然の恵みを使って工作しよう」(自然公園入り口)	武豊町老人福祉センター前 9:30	鈴木樹(0569-72-1393)原
08	10	25	土	「キノコの観察をしよう」採集用カゴ持参、虫除け、運動靴で	知多市旭公園北P 9:30	降幡(0569-43-8060)南川
08	11	1	土	「木の実・草・落ち葉の観察と工作をしよう」カマボコ板持参	知多市「梅の館」 9:30	山田絹(0562-34-8755)春日
08	11	3	月	「森の宝物で工作」カマボコ板あれば持参」参加費100円(東海市環境課)	東海市メルヘンの森P 9:30	吉川(052-381-4426)早川
08	11	8	土	「秋の森を探検しよう」軍手、剪定ばさみ、ビニール袋持参。運動靴で	東浦高校正門前 9:30(次年度計画)	桑原(0562-83-2357)岩本
08	11	9	日	「秋の実りを見つけよう」出来れば工作も！ビニール袋持参	常滑市大曾公園 9:30	中井三(0569-42-2021)仙田
08	11	9	日	「義朝の路整備 自然観察ハイキング季節の野菜・ムカゴご飯 農園整備」弁当持参 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	池田(0569-82-3506)百合草
08	11	22	土	「童話の森で木の実、草の実観察と工作」	新美南吉記念館P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原正
08	11	22	土	「タカと里に帰ってきた渡り鳥を見よう」あれば双眼鏡、持参	名市武豊野外活動センター前半島道路下 9:30	古川(0569-73-6078)畠
08	11	23	日	「晩秋の野鳥をたずねて」弥富野鳥館、海南子ども館。双眼鏡、持参。	知多市「地域文化センター」 8:00	降幡(0569-43-8060)吉房

08	11	24	月	「木の実など自然の贈り物で工作をしよう」 (阿久比中央公民館主催)	阿久比ふれあいの森P 9:30	牧野(090-1232-9472)山 田和
08	11	29	土	「森の宝物で工作しよう」参加費100円	於大公園このはな館 9:30	桑原(0562-83-2357)山 田公
08	12	6	土	「身近な野鳥を観察しよう」あれば図鑑、双眼 鏡持参(東海市環境課)	しあわせ村玄関前P 9:30	岩崎(052-601-5504)早 川
08	12	6	土	「日長神社の紅葉を愛でよう」双眼鏡、(あれ ば)持参。	名鉄日長駅西北P 9:30	葛谷(0569-42-1913) 吉房
08	12	13	土	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	康衛池(瑞穂記念館)P 9:30	榊原靖(0569-21-3497) 大橋
08	12	13	土	「佐布里池の自然を観察しよう」双眼鏡、持参	知多市「梅の館」 9:30	南川(0569-42-5382)吉 川勉
08	12	14	日	「山の幸と野鳥観察」義朝の森でリース作りな ど弁当持参。参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497) 牧野
08	12	19	金	「冬の灯火採集・フユシヤクを見よう」懐中電 灯持参、サンダル禁止	常滑市桜原公園東P 19:00	平松俊(052-601-1491) 降幡
08	12	21	日	「冬の生き物探しをしよう」図鑑・かごなど: セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレト ナ 9:30	吉川(052-381-4426)門 脇
09	1	10	土	「冬に長旅してきた身近な野鳥を観察しよ う」双眼鏡、持参。	知多市「梅の館」 9:30	神野(0562-34-3964)南 川
09	1	11	日	「自然観察路・里山整備 七草がゆとぜんざ いで新年を祝う」参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56-3952)百 合草
09	1	25	日	「冬の鳥を見よう」あれば図鑑、できれば双眼 鏡持参	常滑市桜原公園東P 9:00	今津(0569-35-3295)齊 上
09	1	25	日	「朽木の虫を観察しよう」虫メガネ、マイナ スドライバー、プリン容器持参。サンダル禁止	阿久比エスペランス丸山 P 9:30	平松裕(0569-48-1071) 牧野
09	1	25	日	「小枝や木の実でフォトスタンドを作ろう」は さみ・持ち帰り用の袋など:セレクトナ申し込 み	大府市二ツ池公園セレト ナ 9:30	吉川(052-381-4426)今 西
09	2	1	日	「ミサゴやユリカモメ千鳥たちの海鳥を見よ う」あれば双眼鏡、持参	名鉄河和口駅前海岸P 9:30	古川(0569-73-6078)鈴 木
09	2	7	土	「朽木の虫さんを観察しよう」マイナ スドライバー、プリン容器、持参。	知多市「梅の館」 9:30	浅井(052-624-2571) 大野
09	2	8	日	「史蹟の自然を訪ね、冬鳥を観察しよう」弁 当持参 竹おこわに挑戦 豚汁参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964)吉 田
09	2	14	土	「冬に長旅してきた野鳥観察」双眼鏡、)持 参。	知多市「地域文化センター」 9:30	岩崎(052-601-5504)石 井
09	2	14	土	「冬の生き物たちに会おう」虫メガネ、フイ ルムケース持参	東浦町石浜西小正門前 9:30	岩本(0569-84-3636)竹 内秀
09	2	21	土	「朽木に住む虫の観察」軍手、マイナ スドライバー持参(東海市環境課)	大池公園テニスコート横 9:30	吉村(0562-32-3760)・村 瀬
09	2	21	土	朽木の虫さんを探そう」虫眼鏡、ドライ バ、プリン容器持	知多市旭公園北P 9:30	平松俊(052-601-1491) 山本
09	2	22	日	「地層、岩石、調べ・化石探し」ハンマ ー、軍手、バケツ、スコップ持参	南知多体育館P 9:30	河原(0569-82-2307)永 田
09	2	22	日	「冬の虫の生活をのぞいてみよう」マイナ スドライバー・プリン容器持参・セレクトナ申し 込み	大府市二ツ池公園セレト ナ 9:30	浅井(052-624-2571)村 瀬
09	3	7	土	「冬鳥と旅鳥・カワウの子育観察」双眼 鏡、持参	美浜町体育館P 9:30	岩井(0569-87-5661)永 田
09	3	8	日	「ジャガイモの植付け 今年の反省と来年度計 画」弁当持参 薩摩汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354) 榊原靖
09	3	14	土	「道ばたの野草と春の芽吹きを感じよう」虫 眼鏡(あれば)持参。	知多市「梅の館」 9:30	中井康(0569-43- 0884)、吉房
09	3	15	日	「朽木の生き物を探そう」マイナ スドライバー・プリン容器持参、サンダル禁止	常滑市桜原公園東P 9:30	降幡(0569-43-8060)齊 上
09	3	29	日	「春の芽生えを感じよう」図鑑・かごなど: セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレト ナ 9:30	村瀬(0562-48-4031)吉 川洋

2008年度 (2008. 4. 1~2009. 3. 31) 会員専用 ただし、一般募集も含む

表示月に飛ぶ⇒ 6月 7月 8月 9・10月 11月 12・1月 2・3月

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合先
08	4	5	土	募集	全般	東海	「野草と虫たちの生活をのぞこう」(東海市環境課)	東海市民病院P 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	4	5	土	募集	全般	東浦	「生き物が盛んに活動する春を見つけよう」、ビニール袋持参	東浦高校正門前 9:30	田中(0562-34-6040)岩本
08	4	6	日	募集	全般	半田	「任坊山で春をみつけよう」(虫や野草の観察)	任坊山公園P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	4	12	土	受託	全般	知多	「春の野草や虫さんに会いに行こう」捕虫網, 虫かご, 持参	知多市「梅の館」本館 9:30	山田絹(0562-34-8755)大野
08	4	13	日	募集	全般	阿久	「植物、野鳥、虫たちの躍動を感じよう」タモ、虫かご、双眼鏡持参	阿久比エスペランス丸山P 9:30	牧野(090-1232-9472)山田和
08	4	13	日	受託	里山	南里	「里山ハイキング=春の里山で山菜・薬草を探そう・自然観察路の整備弁当持参豚汁・野草料理参加費300円	名鉄野間駅前 9:30	吉田(052-932-0717)百合草
08	4	19	土	受託	全般	大府	「タケノコから竹の生態を知ろう」図鑑・かごなど: あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川(052-381-4426)門脇
08	4	20	日	募集	昆虫 ^死 含	武豊	「春の野の花と虫さんたちに会いに行こう」あればタモ、虫かご、持参	武豊町自然公園P 9:30	鈴木(0569-72-1393)古川
08	4	20	日	募集	全般	常滑	「高坂墓苑と青池で春を見つけよう」(希望者は杉江幸治陶房で野草試食、参加者費100円、弁当持参)	常滑市高坂墓苑P 9:30	中井三(0569-42-2021)水野
08	4	20	日	受託	全般	大府	「二ツ池の春の生き物を訪ねよう」タモ・虫かごなど: 北山公民館へ申し込み予備日なし	大府市二ツ池公園P 9:30	大嶋(090-91914531)門脇
08	4	26	土	受託	全般	知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」ゲームを取り入れ。タモ、虫かご持参	知多市地域文化センター 9:30	中井康(0569-42-0884)山田絹
08	5	3	土	募集	川・池	半田	「十ヶ川(半田運河)の生き物観察」(干10:22サンダル禁止)	半田市役所P 9:30	山田(0569-22-4660)榊原靖
08	5	4	日	受託	全般	半田	「半田端午の節句まつり」半田市観光協会(予定)	半田市役所P 9:00	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	5	5	月	受託	全般	半田	「半田端午の節句まつり」半田市観光協会(予定)	半田市役所P 9:00	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	5	10	土	募集	全般	東海	「樹木と花にくる虫の観察をしよう」タモ、虫かご(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 9:30	吉川(052-381-4426)平松俊
08	5	11	日	受託	里山	南里	「初夏の里山ハイキング(秋葉山)夏野菜の植えつけ」弁当持参 山の幸・豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807)百合草
08	5	17	土	受託	全般	知多	「春の野草や虫さんに会おう」(竹の子もあるかな) 死, 虫かご持参	知多市八幡大祥院境内 9:30	吉房(0562-55-9025)中井康
08	5	18	日	募集	全般	武豊	「初夏の草花と花木を訪れる生きものを見よう」あればタモ、虫かご持参	長成池公園P 9:30	原(0569-72-2377)島
08	5	18	日	募集	海の生物	常滑	「海岸の生き物を見よう」バケツ、タモ持参、サンダル禁止。	鬼崎蒲池港P 9:30	森田(0569-87-0725)中井康
08	5	23	金	募集	昆虫 ^死 含	東海	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯、靴で、(東海市環境課)	東海市上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)村瀬
08	5	23	金	募集	昆虫 ^死 含	東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯持参・靴で	東浦町於大公園プールP 21:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
08	5	24	土	協力	全般	支部	「フナビオの生き物探検」全校行事・メニュー別・野外観察・10名以上	東海市船島小学校 8:30	岩崎・平松・村瀬
08	5	24	土	募集	昆虫 ^死 含	南	「山で発見 ヒメボタル」懐中電灯持参。サンダル禁止	美浜町時志観音P 21:30	池田(0569-82-3506)百合草

08	5	24	土	受託	川・池	知多	「信濃川の生き物を見よう」タモ、バケツ持参。運動靴か長靴	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614)浅井
08	5	25	日	受託	全般	大府	「あいち健康の森公園で春の生き物に会おう」タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園事務所申込	あいち健康の森公園事務所 9:00	竹内(0562-83-9023)今西
08	5	31	土	研修	全般	支部	「支部研修旅行東三河の自然をたずねて」会費1,2万円・4月中	大池公園テニスコート P 7:00	竹内秀・牧野・山田・浅井
08	6	1	日	研修	全般	支部	「支部研修旅行東三河の自然をたずねて」2日目	2日目	竹内秀・牧野・山田・浅井
08	6	7	土	協力	全般	大府	5/25の予備日「あいち健康の森公園で春の生き物に会おう」タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園事務所	あいち健康の森公園事務所 9:00	竹内(0562-83-9023)今西
08	6	8	日	受託	里山	南里	「トンボ池の水棲生物の観察 とれたて畑の手入れ」弁当持参 豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497)吉田
08	6	13	金	受託	昆虫/海	知多	「灯火に集る虫とヘイケボタル観察」靴で。懐中電灯持参。	知多市旭公園北P 18:45	平松俊(052-601-1491)小島
08	6	14	土	協力	海の生物	支部	「親子で楽しむ海辺の自然学校」日福大生涯学習センター行事	南知多ビーチランドP 9:00	中井康・降幡・山田和
08	6	14	土	募集	川・池	東浦	「明徳寺川の中をのぞこう」タモ、バケツ持参。運動靴でサンダル禁止	東浦町文化センターP 9:30	田中(0562-34-6040)竹内秀
08	6	15	日	募集	全般	常滑	「愛知用水の食虫植物を見よう」あれば虫眼鏡	常滑市南陵公民館P 9:30	中井三(0569-42-2021)今津
08	6	15	日	募集	川・池	東海	「横須賀新川の生き物を見よう」バケツ、タモ。サンダル禁止(東海市環境課)	東海市養父保育園P 9:30	吉村(0562-32-3760)村瀬
08	6	20	金	受託	昆虫/海	知多	「灯火に集る虫とヘイケボタルの観察」懐中電灯持参。靴で。	知多市「梅の館」 19:30	平松俊(052-601-1419)中井康
08	6	21	土	募集	海の生物	南	「海辺の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町富具崎港P 9:30	森田(0569-87-0725)永田
08	6	22	日	募集	川・池	半田	「初夏の椎ノ木大池」(トンボ・水生生物を観察、タモ・虫かご持参)	板山小学校正門前 9:30	牧野(090-1232-9472)榊原靖
08	6	22	日	受託	キノコ	大府	「夏にであえるキノコたちをさがそう」カゴ、虫除け持参・セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園P 9:30	降幡(0569-43-8060)村瀬
08	6	29	日	募集	川・池	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな」タモ、バケツ持参。靴でサンダル禁止	阿久比町板山公民館前 9:30	金内(0562-55-8614)浅井
08	7	5	土	募集	昆虫/海	東海	「夏の昆虫とオオケマイマイを見つけよう」タモ、虫かご、(東海市環境課)	しあわせ村玄関前P 9:30	原(0569-72-2377)平松俊
08	7	5	土	募集	昆虫/海	東浦	「夏の生き物たちに会おう」タモ、虫かご持参。長袖長ズボン帽子着用	於大公園プールP9:30 ⇒緒川新池周辺	桑原(0562-83-2357)岩崎
08	7	6	日	募集	川・池	武豊	「新川の生きものを見よう」サンダル禁止。川に入れる服装で。あればタモ、バケツ	武豊福寿園西方へ200m新川沿い 9:30	原(0569-72-2377)金内
08	7	6	日	受託	里山	南里	「里海の体験と観察 海山鮮バーベキュー」 弁当持参 参加費500円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807)百合草
08	7	6	日	受託	昆虫/海	大府	「二ツ池のトンボを見つけよう」図鑑・タモ・虫かごなど：セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園P 9:30	板倉(0562-44-0547)村瀬
08	7	11	金	受託	昆虫/海	知多	「夜の生き物の活動をのぞこう」タモ・虫かごなど(地域文化センター)	知多市旭日公園北P 19:00	平松俊(052-601-1491)吉房・小島
08	7	12	土	募集	川・池	半田	「矢勝川の生き物観察」(タモ、バケツ持参、サンダル禁止)	新美南吉養家P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)大橋
08	7	12	土	受託	全般	知多	「夏の森の生き物を観察しよう」タモ、虫かご、持参	知多市「梅の館」 9:30	蔦谷(0569-42-1913)山本

08	7	13	日	受託	海の生物	知多	「海辺の生き物観察」干潮8:26長靴で。タモ 手カギ、バケツ持参。	新舞子海岸カマボコトイレP 9:30	中井康(0569-42-0884)森田
08	7	13	日	募集	川・池	常滑	「前山川の小さな生き物を見よう」バケツ、タモ持参 サンダル禁止	常滑市青海公民館P 9:30	金内(0562-55-8614)齊上
08	7	19	土	募集	海の生物	南	「干潟の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。あれば双眼鏡持参。	美浜町奥田農協P 10:00	森田(0569-87-0725)永田
08	7	19	土	受託	全般	知多	「夏の生き物を見つけよう(カブトムシにも会えるかな)」虫かご持参	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025)山本辰
08	7	20	日	研修	昆虫/カ含	支部	「茶臼山で灯火に集まる虫を観察」山行き用具持参会費12,000円 現地集合可 6/30/切	大池公園テニスコートP 8:00	平松俊・降幡
08	7	21	月	研修	昆虫/カ含	支部	「茶臼山で灯火に集まる虫を観察」二日目	二日目	平松俊・降幡
08	7	23	水	協力	全般	支部	「県内小学校新任教員の自然体験研修」自然観察・自然ゲーム(干8:24)	美浜少年自然の家玄関 12:00	村瀬・田中央・竹内秀・吉川洋
08	7	24	木	協力	全般	支部	「県内小学校新任教員の自然体験研修」自然観察・自然ゲーム(干9:26)	美浜少年自然の家玄関 12:00	村瀬・田中央・竹内秀・吉川洋
08	7	25	金	協力	全般	知多	「知多市岩村キャンプ場の自然観察」予定		降幡・中井康
08	7	25	金	募集	昆虫/カ含	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」懐中電灯持参、運動靴で	東浦町高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086)水野利
08	7	26	土	受託	昆虫/カ含	大府	「灯火に集まる虫と鳴く虫を探そう」懐中電灯持参、サンダル禁止・セレクトナ申し込み	大府市二ツ池公園P 19:00	平松俊(052-601-1491)村瀬
08	7	26	土	受託	昆虫/カ含	大府	「あいち健康の森公園で夏の虫たちの様子を観察しよう」図鑑・タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川洋(052-381-4426)桑原
08	7	27	日	受託	川・池	大府	「境川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：神田公民館か大府市環境課へ申し込み	神田公民館P 9:30	村瀬(0562-48-4031)深谷
08	8	1	金	受託	昆虫/カ含	知多	「灯火に集まる虫と観察と鳴く虫の声を聴こう」懐中電灯持参。運動靴か長靴で。	知多市「梅の館」 19:30	南川(0569-42-5382)小島
08	8	2	土	募集	川・池	東海	「トンボと池の生き物の観察」タモ、虫かご持参。靴で(東海市環境課)	東海市上野台公園P 9:30	平松(052-601-1491)岩崎
08	8	2	土	受託	川・池	知多	「日長川の生き物観察」長靴で。タモ、バケツ持参。	知多市地域文化センター 9:30	金内(0562-55-8614)大野
08	8	2	土	協力	昆虫/カ含	大府	7/26の予備日「あいち健康の森公園で夏の虫たちの様子を観察しよう」図鑑・タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川洋(052-381-4426)桑原
08	8	3	日	受託	川・池	大府	「境川の生き物をさがそう」バケツ・タモ・サンダル禁止：大府公民館へ申し込み	境川現地・新幹線南 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
08	8	10	日	受託	里山	南里	「若竹で流さないソウメン」野菜サラダ竹細工(竹とんぼ ウグイス笛など)参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56-3952)沖田
08	8	16	土	募集	昆虫/カ含	阿久	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」懐中電灯、虫除け持参。サンダル禁止	阿久比町ふれあいの森P 19:30	平松俊(052-601-1491)平松裕
08	8	17	日	協力	川・池	大府	8/3の予備日「境川の生き物をさがそう」バケツ・タモ・サンダル禁止：大府公民館へ申し込み	境川現地・新幹線南 9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
08	8	23	土	協力	全般	支部	「みどりの少年団交歓会」たたき台作成(半田市会員中心に)	任坊山公園P 13:30	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	8	24	日	研修	全般	支部	「持ち寄り会・発表・パソコン研修+スクミリンゴガイとカシナガ調査計画」	阿久比中央公民館 9:30	榊原靖・大嶋

08	8	20	水	協力	全般	支部	「県内中学校新任教員の自然体験研修」自然観察・自然ゲーム(干5:50)	美浜少年自然の家玄関 12:00	村瀬・田中央・竹内 秀・吉川洋
08	8	21	木	協力	全般	支部	「県内中学校新任教員の自然体験研修」自然観察・自然ゲーム(干7:39)	美浜少年自然の家玄関 12:00	村瀬・田中央・竹内 秀・吉川洋
08	8	29	金	募集	昆虫研究会	常滑	「夏の虫の音を聞こう」懐中電灯持参、サンダル禁止	常滑市松原公園東P 19:00	小島(0569-42-4537)降幡
08	8	30	土	募集	昆虫研究会	東浦	「緒川新池周辺の夏の生き物たちに会おう」あればタモ・虫カゴ持参	於大公園プールP 9:30	岩本(0569-84-3636)山田公
08	9	6	土	募集	川・池	南	「布土川の生き物観察」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(0569-82-3922)永田
08	9	6	土	受託	川・池	知多	「水田や水路の生き物観察」長靴で。タモ、バケツ持参。	知多市地域文化センター 9:30	金内(0562-55-8614)山本辰
08	9	7	日	調査	川・池	支部	「スクミリンゴガイの生息調査+カシナガ被害状況」担当者とし町実施者相談	市町で相談し計画する	大嶋+市町世話人
08	9	13	土	募集	昆虫研究会	半田	「虫の音鑑賞とお月見」	新美南吉養家P 19:00	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	9	13	土	募集	全般	武豊	「木の実・花・虫ウォッチングで秋をいっぱい感じよう」あればタモ、虫かご持参	武豊町別曾池公園P 9:30	畠(0569-73-3518)鈴木
08	9	13	土	受託	川・池	知多	「秋の信濃川をのぞいて見よう」タモ、バケツ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614)山本辰
08	9	14	日	受託	里山	南里	「里山整備 竹炭焼きの準備 野菜の植えつけ もぎたて畑の幸・豚汁」弁当持参参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)吉田
08	9	14	日	受託	ネイ	大府	「ネイチャーゲームで自然となかよし」：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	9	15	月	募集	キノコ	東海	「大池公園のキノコを観察しよう」採集カゴ、虫除け持参(東海市環境課)	大池公園テニスコート横 9:30	降幡(0569-43-8060)村瀬
08	9	20	土	協力	全般	支部	「みどりの少年団交歓会」 下見①	任坊山公園P 13:30	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	9	21	日	受託	川・池	大府	「石ヶ瀬川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：申し込み石ヶ瀬コミュニティか大府市環境課	大府市石ヶ瀬児童老福センター 9:00	村瀬(0562-48-4031)浅井
08	9	26	金	受託	昆虫研究会	知多	「虫の声を聴きながら星空を見よう」懐中電灯持参。	知多市「梅の館」 19:00	小島(0569-42-4537)平松俊
08	9	27	土	募集	昆虫研究会	常滑	「クロマドホテルを見に行こう」靴で、懐中電灯持参	常滑市多賀神社P 19:00	平松(052-601-1491)降幡
08	9	28	日	受託	全般	大府	出前観察会(場所未定)：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 9:30	吉川(052-381-4426)村瀬
08	10	4	土	協力	全般	支部	「みどりの少年団交歓会」 下見②	任坊山公園P 13:30	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	10	4	土	募集	全般	半田	「運動公園周辺の秋を見つけよう」(野草や木の実)	半田運動公園第一P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原靖
08	10	4	土	受託	キノコ	知多	「身近にあるキノコを調べよう」採集用カゴ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	降幡(0569-43-8060)高橋
08	10	5	日	募集	キノコ	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」蚊取り線香・採集用カゴ持参	東浦町高根の森P 9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
08	10	11	土	受託	キノコ	知多	「身近にあるキノコ観察」採集用かご持参。運動靴か長靴で。	知多市地域文化センター 9:30	降幡(0569-43-8060)石井
08	10	11	土	受託	里山	南里	「竹炭焼き(希望者宿泊可)夜の自然観察」弁当持参 参加費1000円(夕・朝食)	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964)百合草
08	10	12	日	受託	里山	南里	「竹炭焼き第二日目、窯止め」	美浜町野間義朝の森で 続き	神野(0562-34-3964)百合草
08	10	12	日	受託	全般	大府	「秋の樹木を観察しよう」図鑑・かごなど：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレトナ 9:30	吉川(052-381-4426)大嶋

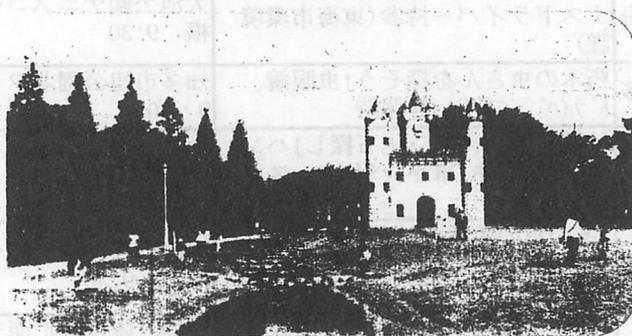
08	10	18	土	協力	全般	支部	「みどりの少年団交歓会」 知多地方各所から150名以上参加	任坊山公園 P 8:30	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	10	19	日	募集	キノコ	常滑	「キノコを見つけて見よう」採集用カゴ持参、虫除け、サンダル禁止	常滑市松原公園東 P 9:30	降幡(0569-43-8060)平松俊
08	10	19	日	受託	里山	南里	「竹炭の窯出し祭」仕分けをして参加者に分配	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)榊原靖
08	10	25	土	募集	工作	武豊	「木の実等自然の恵みを使って工作しよう」(自然公園入り口)	武豊町老人福祉センター前 9:30	鈴木樹(0569-72-1393)原
08	10	25	土	受託	キノコ	知多	「キノコの観察をしよう」採集用カゴ持参、虫除け、運動靴で	知多市旭公園北 P 9:30	降幡(0569-43-8060)南川
08	10	25	土	受託	全般	大府	「虫の観察と秋の実りをみつけよう」タモ・虫かご	あいち健康の森公園事務所 9:00	村瀬(0562-48-4031)岩本
08	10	25	土	協力	全般	支部	「日福大半田生涯学習フェスティバル」の前日準備	日福大半田 P 18:00	榊原正・竹内秀・牧野
08	10	26	日	協力	全般	支部	「日福大半田生涯学習フェスティバル」事前打合あり	日福大半田 P 8:00	榊原正・竹内秀・牧野
08	11	1	土	受託	工作	知多	「木の実・草・落ち葉の観察と工作をしよう」カマボコ板持参	知多市「梅の館」 9:30	山田絹(0562-34-8755)春日
08	11	1	土	協力	全般	大府	10/25の予備日「虫の観察と秋の実りをみつけよう」タモ・虫かご	あいち健康の森公園事務所 9:00	村瀬(0562-48-4031)岩本
08	11	3	月	募集	工作	東海	「森の宝物で工作」カマボコ板あれば持参参加費100円(東海市環境課)	東海市メルヘンの森 P 9:30	吉川(052-381-4426)早川
08	11	7	金	打合	全般	支部	次年度支部行事計画打ち合わせ(1回目)	阿久比中央公民館 19:00	南川・
08	11	8	土	募集	全般	東浦	「秋の森を探検しよう」軍手、剪定ばさみ、ビニール袋持参。運動靴で	東浦高校正門前 9:30	桑原(0562-83-2357)岩本
08	11	9	日	募集	全般	常滑	「秋の実りを見つけよう」出来れば工作も! ビニール袋持参	常滑市大曾公園 9:30	中井三(0569-42-2021)仙田
08	11	9	日	受託	里山	南里	「義朝の路整備 自然観察ハイキング季節の野菜・ムカゴご飯 農園整備」弁当持参 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	池田(0569-82-3506)百合草
08	11	15	土	研修	全般	支部	「隣県の豊かな自然を訪ねて・現地交流会」会費1,5万円・10/15日	大池公園テニスコート P 7:30	牧野・浅井・永田
08	11	16	日	研修	全般	支部	「隣県の豊かな自然を訪ねて・現地交流会」2日目	2日目	牧野・浅井・永田
08	11	22	土	募集	全般	半田	「童話の森で木の実、草の実観察と工作」	新美南吉記念館 P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原正
08	11	22	土	募集	野鳥	武豊	「タカと里に帰ってきた渡り鳥を見よう」あれば双眼鏡、持参	名市武豊野外活動センター前中央道下 9:30	古川(0569-73-6078)畠
08	11	23	日	受託	野鳥	知多	「晩秋の野鳥をたずねて」弥富野鳥館、海南子ども館。双眼鏡、持参。	知多市地域文化センター 8:00	降幡(0569-43-8060)吉房
08	11	24	月	募集	工作	阿久	「木の実など自然の贈り物で工作をしよう」(阿久比中央公民館主催)	阿久比ふれあいの森 P 9:30	牧野(0569-22-7277)山田和
08	11	29	土	募集	工作	東浦	「森の宝物で工作しよう」参加費100円	於大公園このはな館 9:30	桑原(0562-83-2357)山田公
08	12	6	土	募集	野鳥	東海	「身近な野鳥を観察しよう」あれば図鑑、双眼鏡持参(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 9:30	岩崎(052-601-5504)早川
08	12	6	土	募集	全般	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」双眼鏡、(あれば)持参。	名鉄・日長駅西北 P 9:30	薦谷(0569-42-1913)吉房
08	12	13	土	打合	全般	支部	次年度支部行事計画打ち合わせ(2回目)	阿久比中央公民館 19:00	南川・
08	12	13	土	募集	川・池	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	康衛池(瑞穂記念館) P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)大橋
08	12	13	土	受託	野鳥	知多	「佐布里池の自然を観察しよう」双眼鏡、持参	知多市「梅の館」 9:30	南川(0569-42-5382)吉川勉
08	12	14	日	受託	里山	南里	「山の幸と野鳥観察」義朝の森でリース作りなど弁当持参。参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497)牧野
							「冬の灯火採集・フユシャクを見		

08	12	19	金	募集	昆虫/雑 含	常滑	よう」懐中電灯持参、サンダル禁 止	常滑市松原公園東P 19:00	平松俊(052-601- 1491)降幡
08	12	21	日	受託	全般	大府	「冬の生き物探しをしよう」図鑑・ かごなど：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレ トナ 9:30	吉川(052-381- 4426)門脇
09	1	10	土	受託	野鳥	知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥を 観察しよう」双眼鏡、持参。	知多市「梅の館」 9:30	神野(0562-34- 3964)南川
09	1	11	日	受託	里山	南里	「自然観察路・里山整備 七草が ゆとぜんざいで新年を祝う」参 加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56- 3952)百合草
09	1	18	日	研修	全般	支部	「持ち寄り会・発表・パソコン研 修」	阿久比中央公民館 9:30	榊原靖
09	1	25	日	募集	野鳥	常滑	「冬の鳥を見よう」あれば図鑑、で きれば双眼鏡持参	常滑市松原公園東P 9:00	今津(0569-35- 3295)斉上
09	1	25	日	募集	土壌朽 木	阿久	「朽木の虫を観察しよう」虫メガ ネ、マイナドライバー、プリン容 器持参。サンダル禁止	阿久比エスペランス丸 山P 9:30	平松裕(0569-48- 1071)牧野
09	1	25	日	受託	全般	大府	「小枝や木の葉でフォトスタンド を作ろう」はさみ・持ち帰り用の 袋など：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレ トナ 9:30	吉川(052-381- 4426)今西
09	2	1	日	募集	野鳥	武豊	「ミサゴやユリカモメ千鳥たちの 海鳥を見よう」あれば双眼鏡、持 参	名鉄河和口駅前海岸P 9:30	古川(0569-73- 6078)鈴木
09	2	7	土	受託	土壌朽 木	知多	「朽木の虫さんを観察しよう」マイ ナスドライバー、プリン容器、持 参。	知多市「梅の館」 9:30	浅井(052-624- 2571)大野
09	2	8	日	受託	里山	南里	「史蹟の自然を訪ね、冬鳥を観察 しよう」弁当持参 竹おこわに挑 戦 豚汁参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34- 3964)吉田
09	2	14	土	受託	野鳥	知多	「冬に長旅してきた野鳥観察」双眼 鏡、)持参。	知多市地域文化センタ ー 9:30	岩崎(052-601- 5504)石井
09	2	14	土	募集	全般	東浦	「冬の生き物たちに会おう」虫メガ ネ、フィルムケース持参	東浦町石浜西小正門前 9:30	岩本(0569-84- 3636)竹内秀
09	2	15	日	打合	全般	支部	「総会・懇親会」標本・写真・VTR・ 紹介本・資料等持参 14:30まで	後日連絡 9:30	南川・全員の出席 を
09	2	21	土	募集	土壌朽 木	東海	「朽木に住む虫の観察」軍手、マイ ナスドライバー持参(東海市環境 課)	大池公園テニスコート 横 9:30	吉村(0562-32- 3760)・村瀬
09	2	21	土	受託	昆虫/雑 含	知多	朽木の虫さんを探そう」虫眼鏡、 ドライバ、プリン容器持	知多市旭公園北P 9:30	平松俊(052-601- 1491)山本
09	2	22	日	募集	地質	南	「地層、岩石、調べ・化石探し」ハン マー、タガネ、軍手、バケツ、スコ ップ持参	南知多体育館P 9:30	河原(0569-82- 2307)永田
09	2	22	日	受託	昆虫/雑 含	大府	「冬の虫の生活をのぞいてみよう」 マイナドライバー・プリン容器 持参・セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレ トナ 9:30	浅井(052-624- 2571)村瀬
09	3	7	土	募集	野鳥	南	「冬鳥と旅鳥・カワウの子育観察」 双眼鏡、持参	美浜町体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87- 5661)永田
09	3	8	日	受託	里山	南里	「ジャガイモの植付け 今年の反省 と来年度計画」弁当持参 薩摩汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82- 2354)榊原靖
09	3	14	土	受託	全般	知多	「道ばたの野草と春の芽吹きを感 じよう」虫眼鏡(あれば)持参。	知多市「梅の館」 9:30	中井康(0569-43- 0884)、吉房
09	3	15	日	募集	土壌朽 木	常滑	「朽木の生き物を探そう」マイナ ドライバー・プリン容器持参、サ ンダル禁止	常滑市松原公園東P 9:30	降幡(0569-43- 8060)斉上
09	3	20	金	打合	全般	県協	「県協議会総会」支部役員と市町ご とに2人以上の出席を	後日、協議会ニュー スで連絡	支部の役員は出席 を
09	3	29	日	受託	全般	大府	「春の芽生えを感じよう」図鑑・か ごなど：セレトナ申し込み	大府市二ツ池公園セレ トナ 9:30	村瀬(0562-48- 4031)吉川洋

東海支部

(管理協会 受託事業)

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	5	土	募集	全般	東海	「野草と虫たちの生活をのぞこう」(東海市環境課)	東海市民病院P 9:30	吉川(052-381-4426) 村瀬
08	5	10	土	募集	全般	東海	「樹木と花にくる虫の観察をしよう」タモ、虫かご(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 9:30	吉川(052-381-4426) 平松俊
08	5	23	金	募集	昆虫 / 雑	東海	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯、靴で、(東海市環境課)	東海市上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992) 村瀬
08	6	15	日	募集	川・池	東海	「横須賀新川の生き物を見よう」バケツ、タモ。サンダル禁止(東海市環境課)	東海市養父保育園P 9:30	吉村(0562-32-3760) 村瀬
08	7	5	土	募集	昆虫 / 雑	東海	「夏の昆虫とオオケマイマイを見つけよう」タモ、虫かご、(東海市環境課)	しあわせ村玄関前P 9:30	原(0569-72-2377) 平 松俊
08	8	2	土	募集	川・池	東海	「トンボと池の生き物の観察」タモ、虫かご持参。靴で(東海市環境課)	東海市上野台公園P 9:30	平松(052-601-1491) 岩崎
08	9	15	月	募集	キノコ	東海	「大池公園のキノコを観察しよう」採集カゴ、虫除け持参(東海市環境課)	大池公園テニスコート横 9:30	降幡(0569-43-8060) 村瀬
08	11	3	月	募集	工作	東海	「森の宝物で工作」カマボコ板あれば持参。参加費100円(東海市環境課)	東海市メルヘンの森 P 9:30	吉川(052-381-4426) 早川
08	12	6	土	募集	野鳥	東海	「身近な野鳥を観察しよう」あれば図鑑、双眼鏡持参(東海市環境課)	しあわせ村玄関前 9:30	岩崎(052-601-5504) 早川
09	2	21	土	募集	土壌 朽木	東海	「朽木に住む虫の観察」軍手、マイナスドライバー持参(東海市環境課)	大池公園テニスコート横 9:30	吉村(0562-32-3760)・ 村瀬



<担当者のコメント>

東海市の広報に載せていただいてから、参加者は全体にふえています。まだ行事が残っていますが、大きな怪我もなくこの一年間を終わる事ができるのではないかと思います。今まで東海市環境課に参加募集などお手伝いをしていただいていたのですが、2009年4月から東海市施設管理協会の公園自主事業になります。行事内容は私たちが行って来た行事とほぼ同じなので、東海市自然観察会主催の行事は行わないことになりました。施設管理協会の行事に講師を派遣する事だけになり、今までと同じ一つの行事に2名の方に講師になってもらい責任を持って行っていただくようになりますのでよろしくお願い致します。

【行事名】「野草と虫たちの生活をのぞこう」(東海市環境課)

【日時】2008年4月5日(土) 9:30~11:30

【場所】東海市東海市民病院から凶賀奈池周辺

【天気】晴れ、ほとんど風無し、上天気

【担当】吉川、村瀬

【参加者】24名

(会員:吉川、村瀬、岩崎、早川、石原、山本、今西、水野礼、浅井、森田、平松俊、山田絹)

【内容】

・9:30~東海市民病院駐車場に集合、本日の観察コースの説明

・9:45~市民病院周辺の植物観察をしながら、南へ歩く

・10:20~公園の池の生き物を観察する

・10:30~凶賀奈池周辺の生き物観察をする

・11:15~田んぼのレンゲを観察しながら、帰路につく

・12:00解散

(記・村瀬)

【観察した生き物】

◎植物

マテバシイ(花の様子)、タカサゴユリ(シンテッポウユリとも言う)、ウバメガシ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、ホトケノザ、ベニカナベモチ、ノゲシ、オニノゲシ、カクレミノ、ヒメオドリコソウ、ノボロギク、ハコベ、(ミドリハコベ、コハコベ)コタチツボスミレ、マツ(雄花、去年の雌花)、タネツケバナ、ショウジョウバカマ、コナラ(ただいま雄花が開花中)、オオキバナカタバミ、ハハコグサ、カキドオシ、スズメノテッポウ、スズメノヤリ、ゲンゲ、(レンゲ)、トウカイタンポポ、セイヨウタンポポ、ツクシ、ワラビ、スズメノカタビラ、ハナイバナ

◎チョウの仲間

ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ムラサキシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ツマキチョウ、ナミアゲハ(?), ルリタテハ、キタテハ(?), クロコノマチョウ(村瀬さん目撃)

◎カメムシの仲間

マルカメムシ、シラホシカメムシの仲間、ヒョウタンナガカメムシの仲間、アブラムシの仲間、ヨコバイの仲間

◎アブ、ハエの仲間

ホソヒラタアブ、マメヒラタアブ(?), アシブトハナアブ、ナガヒメヒラタアブ、キリウジガガンボ、オオクロバエ、ユスリカの仲間

◎バッタの仲間

クビキリギス、ツチイナゴ、トゲヒシバッタ、ヒシバッタ、キリギリス(幼虫)

◎その他の昆虫

ナナホシテントウ、モモトカミキリモドキ、クロヤマアリ、カブラハバチの仲間、スギナハバチ(?), モリチヤバネゴキブリ

◎鳥

スズメ、ウグイス、モズ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ツバメ

◎その他

アマガエル、カタツムリ。上天気だったので、上空をエンジン付きパラグライダー 3機

【観察会の様子】



【左】サクラの花見 花の時は葉がありません。後の公園で葉と花のあるヤマザクラと比べてみました。【右】クビキリギス つかまらないよう民家に飛んで逃げていきました。

【行事名】 横須賀新川の生き物を見つけよう

【日時】 2008年6月15日(日) 9:30～11:40

【場所】 東海市横須賀新川

【天気】 曇り

【担当】 吉村、村瀬

【参加者】 一般 72名(大人 42名, 子供 30名)

(会員: 吉村、村瀬、岩崎、降幡、榊原靖、門脇、金内、原、森田、大野、今西、浅井、山本)

【内容】

やや肌寒い曇り空、雨にはあうこともなく、観察会を進めることができた。集合場所の養父保育園には続々と車が到着。タモやバケツを手を持った親子連れが沢山集まった。現地に行く前にタモの使い方と注意を聞くが、子どもたちは早く川に入りたいとみんなワクワクしている様子。現地におろした2カ所のはしごから、下で構える指導員の声かけで安全に川に入った。子どもたちの第一声は「つめた〜い」。意外と低い水温と曇り空に水に入るときは少し足がひけた子もいた。知多メディアスのFM局の取材の方も加わって、観察会も盛り上がり始めた。次第に水の温度に慣れてくると、上流へ下流へ「探検」の幅が広がり始めた。クロベンケイガニを父に捕ってもらう子。ウナギの赤ちゃんを大切に触って嬉しそうなお子。知多メディアスのFM局の取材のインタビューを受けてニコニコの笑顔で対応する子。昨年も参加した問い親子連れもいて「ここでカニを捕ったね」「熱中してきて、なかなか川から出られなかったね」と楽しい思い出話もできた。生き物たちを川に逃がし、怪我や事故もなく無事に楽しい観察会を終えることができた。(記・村瀬)

【観察した生き物】

◎魚

ボラ、スズキ、ウナギ、メダカ(2匹のみ)、チチブ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、マハゼ、ビリンゴ、アベハゼ

◎貝

イシマキガイ、シジミ(タイワンシジミ)、ドブガイ(殻のみ)

◎エビ・カニ

テナガエビ、ミゾレヌマエビ、アメリカザリガニ、クロベンケイガニ、モクズガニ

◎カメ

ミシシippアカミミガメ

◎昆虫

コオイムシ、アゲハ、モンシロチョウ、シオカラトンボ、ギンヤンマ

◎鳥

ケリ、アマサギ、ホオジロ、カワラヒワ

◎その他

・昨年も田んぼの水たまりで「ほうねんえび」を観察したが、今年は誰も見つけることができなかった。昨年見かけた場所にはシャジクモがたくさん生えていた。

【観察会の様子】



【左】川に下りるのも冒険です。 【右】横須賀新川の上流部



【左】色々な魚が取れました。 【右】どんな生き物が取れたか最後に分かち合いをしました。

【行事名】 大池公園のキノコを観察しよう

【日時】 2008年9月15日(月・祝) 9:30～11:40

【場所】 東海市大池公園

【天気】 くもり

【担当】 降幡、村瀬

【参加者】 大人17名、子供10名

(会員:降幡、村瀬、浅井、今西、岩崎、早川雅、中井康、降幡、牧野、森田、山本辰、吉川、村井)

【内容】

キノコの発生には雨が大きく関係します。一年でキノコがたくさん見られるのは、梅雨明けのころと秋雨前線が活動するころです。今年の夏は長い間雨がなく8月下旬にまとまった雨が降りました。そして9月に入り雨が降らない日が続きました。観察日の本日15日は、地面が随分乾いていました。そんな中、皆さん思い思いの場所でキノコの採集をしました。園内を回ると既に発生して乾燥キノコになったものをたくさん見かけましたが若いキノコも採集することが出来ました。種類と下は比較的多いほうでした。今回、最後に採集したキノコの分かち合いをしていたとき、子供が大きな声で泣き出しました。原因を確認していただきましたら、イラガに触れたみたいです。応急処置として粘着テープで患部に着いた毒針を取りましたが相当痛みがあったみたいで長い間、泣いていました。イラガとは別に、秋はスズメバチが活発に活動する季節です。注意しましょう。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎キノコ

アラゲキクラゲ、アラゲキクラゲ、コウジタケ(食)、キツネノエフデ、ウスヒラタケ(食)、ツエタケ(食)、アマタケ(食)、ナラタケモドキ、ヌメリガサ科?、オオワライタケ(毒)、シロツルタケ?、テングタケダマシ、ウスキモリノカサ(食)、ツルタケ(食)、カワリハツ(食)、クロハツ(食)、アイゾメクロイグチ?、ベニイグチ、キクバナイグチ(食)、ハナガサイグチ、アイゾメクロイグチ、クロアワタケ、コガネシワウロコタケ?、ハチノスタケ、カイメンタケ、ホウロクタケ、ベッコウタケ?、カワラタケ、アラゲキクラゲ(食)、オニフスベ、ノウタケ、ツクツクボウシタケ、

◎その他

変形菌のアビホコリ、アオイラガ、クロコノマチョウ

【観察会の様子】



【左】どんなキノコがあったか分かち合いをしました。 【右】木の枝にアラゲキクラゲが
ついていました。

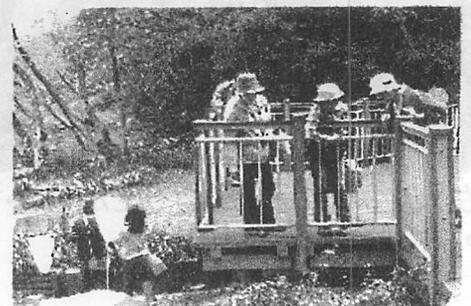
大府支部 (公民館 セレナ 他 受託事業)

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ
08	4	19	土	受託	全般	大府	「タケノコから竹の生態を知ろう」図鑑・かごなど：あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川(052-381-4426) 門脇
08	4	20	日	受託	全般	大府	「二ツ池の春の生き物を訪ねよう」タモ・虫かごなど：北山公民館へ申し込み予備日なし	大府市二ツ池公園 P 9:30	大嶋(090-91914531) 門脇
08	5	25	日	受託	全般	大府	「あいち健康の森公園で春の生き物に会おう」タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園事務所申込	あいち健康の森公園事務所 9:00	竹内(0562-83-9023) 今西
08	6	22	日	受託	キノコ	大府	「夏にであえるキノコたちをさがそう」カゴ、虫除け持参・セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 P 9:30	降幡(0569-43-8060) 村瀬
08	7	6	日	受託	昆虫 含む	大府	「二ツ池のトンボを見つけよう」図鑑・タモ・虫かごなど：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 P 9:30	板倉(0562-44-0547) 村瀬
08	7	26	土	受託	昆虫 含む	大府	「灯火に集まる虫と鳴く虫を探そう」懐中電灯持参、サンダル禁止・セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 P 19:00	平松俊(052-601-1491) 村瀬
08	7	26	土	受託	昆虫 含む	大府	「あいち健康の森公園で夏の虫たちの様子を観察しよう」図鑑・タモ・虫かごなど：あいち健康の森公園申し込み	あいち健康の森公園事務所 9:00	吉川洋(052-381-4426) 桑原
08	7	27	日	受託	川・池	大府	「境川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：神田公民館か大府市環境課へ申し込み	神田公民館 P 9:30	村瀬(0562-48-4031) 深谷
08	8	3	日	受託	川・池	大府	「境川の生き物をさがそう」バケツ・タモ・サンダル禁止：大府公民館へ申し込み	境川現地・新幹線南 9:30	村瀬(0562-48-4031) 今西
08	9	14	日	受託	ネイ	大府	「ネイチャーゲームで自然となかよし」：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	吉川(052-381-4426) 村瀬
08	9	21	日	受託	川・池	大府	「石ヶ瀬川の生き物観察と水質調査」バケツ・タモ・サンダル禁止：申し込み石ヶ瀬コミュニティか大府市環境課	大府市石ヶ瀬児童老福センター 9:00	村瀬(0562-48-4031) 浅井
08	9	28	日	受託	全般	大府	出前観察会(場所未定)：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	吉川(052-381-4426) 村瀬
08	10	12	日	受託	全般	大府	「秋の樹木を観察しよう」図鑑・かごなど：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	吉川(052-381-4426) 大嶋
08	10	25	土	受託	全般	大府	「虫の観察と秋の実りをみつけよう」タモ・虫かご	あいち健康の森公園事務所 9:00	村瀬(0562-28-4031) 岩本
08	12	21	日	受託	全般	大府	「冬の生き物探しをしよう」図鑑・かごなど：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	吉川(052-381-4426) 門脇
09	1	25	日	受託	全般	大府	「小枝や木の実でフォトスタンドを作ろう」はさみ・持ち帰り用の袋など：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	吉川(052-381-4426) 今西
09	2	22	日	受託	昆虫 含む	大府	「冬の虫の生活をのぞいてみよう」マイナスイライバー・プリン容器持参・セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	浅井(052-624-2571) 村瀬
09	3	29	日	受託	全般	大府	「春の芽生えを感じよう」図鑑・かごなど：セレナ申し込み	大府市二ツ池公園 セレナ 9:30	村瀬(0562-48-4031) 吉川洋

<担当者のコメント>

大府市は、定番の境川の観察、セレナの出前観察等毎月のように観察会がありましたが、毎回大勢の応援に支えられて今年も無事こまできました。

反省点として、一分連絡不足によるトラブルもありました。来年度は、連絡を密にして充実した観察会を増やしていきたいと思ひます。



朽ち木の中の生きもの

【日時】 2008年2月11日(月) 9:30~12:30
 【場所】 大府市二ツ池公園・セレクトナ
 【参加者】 浅井 門脇一家 森田 平松俊 大嶋 牧野 榊原正

〈開催目的&成果〉

- ・予定では標題の観察会は本日であったが、日程記載ミスで本日ではなかった。
- ・そこで、急遽、集まった者たちの自主研修となりました。
- ・成果は、下記掲載の写真に示すモノ十何種類か…でした。

〈感想〉

時間やコースに縛られずに各人のペースで参加でき、充実した研修となりました。
 ※最下段に写真にかかわる追加コメントがあります。

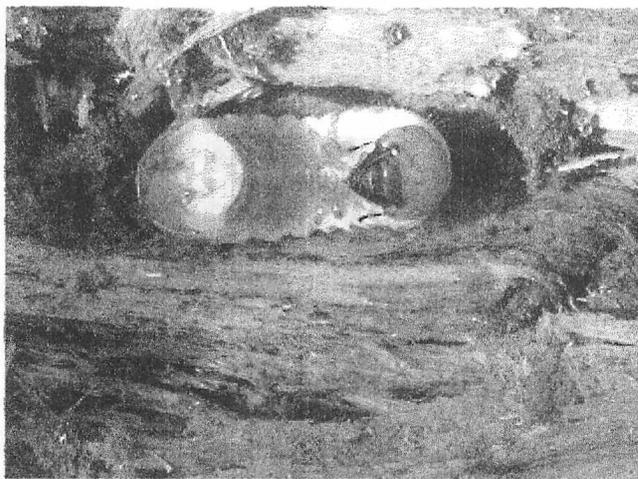
(記載者：榊原正)



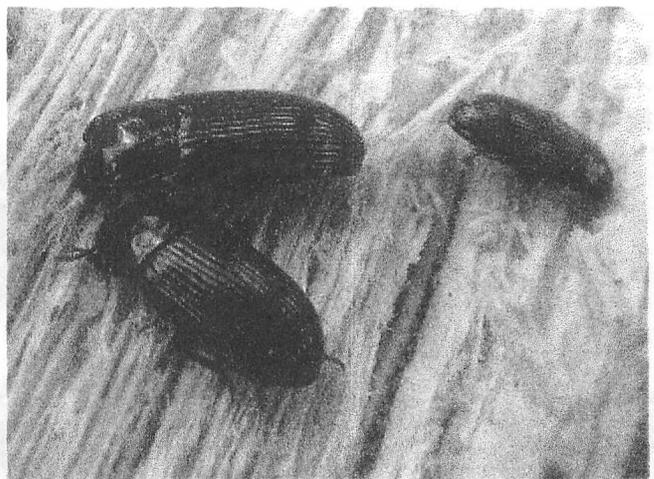
1.



2.



3.



4.

【そのほかの写真】

【行事名】 夏に出会えるキノコたちを探そう

【日時】 2008年6月22日(土) 9:30~11:50

【場所】 大府市二ツ池公園セルトナ

【天気】 雨、とにかく雨

【担当】 降幡、村瀬

【参加者】 9名

(会員：降幡、村瀬、門脇、今西)

【内容】

昨日からの雨がますます激しくなり、参加者の足を止めてしまったようです。雨は全く降り止む様子を見せません。それでもやる気満々の7名+セルトナ職員2名で会を始めました。

降幡氏の解説によると菌類は子実体から胞子体を作るときに水分を必要とするので、梅雨と秋雨の時期の雨を活用しているそうです。そして胞子を飛ばしたり虫を寄せて運んでもらったりしているそうです。そのためにこの時期にたくさん見られるそうです。また、寒い冬の時期でも発生する物もあるそうです。1年間、四季折々、いろいろなキノコが見られるそうです。

先ず、芝生の広がるところで、「冬虫夏草」を目当てにしましたが、見つからず。カレエダケがたくさん生えておりました。昨年、スズメバチの巣が見つかった辺りにクロアシノボリリュウを発見。タトウミみたいな名前ですが、ハート型というのか、双葉がくっついたというのか、珍しい形のキノコです。種類別に分けているときに、少し乾いたのか、傘の部分に触ると細かい煙のような胞子が立ち上りました。本日一番の珍しいキノコでしょう。

雨は止むこともなく、傘を持つ手を休めることはできませんでした。でも、参加者のキノコを探しても休むことを知らず、テーブル2つ分ほどのキノコを見つけることができました。

キノコの観察会は、雨が降っているからと言って中止にしてしまっただけではいけない観察会ですね。参加者の方、セルトナ職員の方、ご苦労様でした。(記・村瀬)

【観察した生き物】

◎キノコ

キツネノエフデ、ウマノケタケ、ダイダイガサ、クロアシノボリリュウ、ベニハツ、コツブタケ、ツエタケ、アマタケ、テングダケの仲間、キクラゲ、ケショウハツ、クサハツの仲間、コテングタケモドキ、ニオイワチチタケ、シロハツ、ヒメヒトヨタケ、ザラエノハラタケ、スジオチバタケ、クロハツ、ヒイロタケ、ノウタケ、イヌセンボンタケ、カレバキツネタケ、アミズギタケ、ドウシンタケ、サケバタケ、ヒメカタショウロ、チギレハツ、クジラタケ、アセタケの仲間、カヤタケの仲間

◎粘菌

マメホコリの未熟子実体

◎藍藻類

イシクラゲ

【観察会の様子】



【左】 採集したキノコの名前を調べています。胞子を飛ばしているものです。



【右】 ヒメカタショウロ (毒)。右が成熟し

【行事名】 灯火に集まる虫と鳴く虫を観察しよう（大府市二つ池セレトナ）

【日時】 2008年7月25日（金） 19:30～21:00

【場所】 大府市二つ池セレトナ

【天気】 晴れ

【担当】 平松俊、村瀬

【参加者】 19名

（会員：平松俊、村瀬、吉川、大嶋、門脇）

【内容】

日中うだるような暑さが夜になっても冷め切らず、蒸し暑い風のない夜になった。18:25にセレトナについたが大嶋氏がすでに来ていてびっくり、門脇氏も娘さんと現れ、3人で灯火装置を林の中の東屋付近に設置した。19:35セレトナ担当者の挨拶の後、行動予定を話してナイトハイクに出かけた。オオムカデ、ダンゴムシの集団、セミの羽化などを見つけ、吉川氏から説明を受けた。特にセミの羽化はみんなの注目を集めた。しかし、カブトとクワガタは皆の必死の探索にもかかわらず見つめることができなかった。駆けつけてくれた村瀬さんに最後の望みを託したが、願いはかなわなかった。一方、灯火のほうはセッチング場所が悪かったのか集まった虫はぱらぱら程度で、もちろんカブト、クワガタはなし、寄ってきたムシの説明をして20:30に会を終了した。（記・平松俊）

（同じ日に東浦でも灯火観察が行われました。やはり子供たちが期待していたカブト、クワガタは見られませんでした。灯火に集まった虫も少なかったです。担当の水野氏の話では雨が少なく乾燥している関係とのことでした。）

【観察昆虫（ガを除く）】

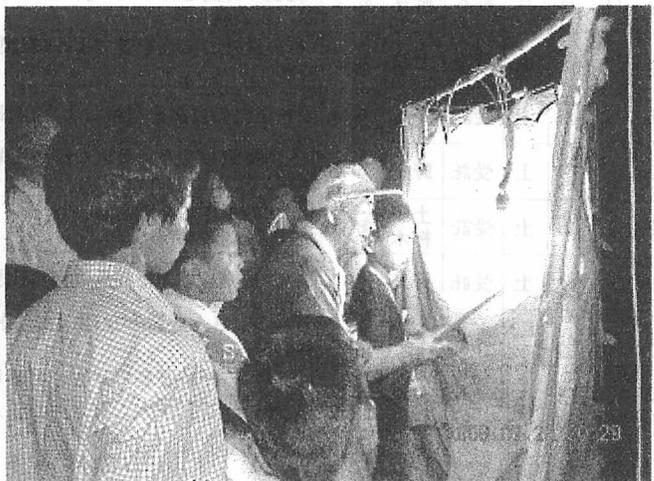
◎ナイトハイク

アオドウガネ、ウスバカミキリ、ゴマフカミキリの仲間、キマワリ、ユミアシゴミムシ、ダマシ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ヤブキリ（声）、ナナフシモドキ、ウスバカゲロウの仲間、ヤマトゴキブリ

◎灯火

アオドウガネ、スジコガネ、コフキコガネ、ビロードコガネ、ウスバカミキリ、アトボシアオゴミムシ、ハネカクシの仲間、ナミテントウ、コハンミョウ、リスアカネ、アブラゼミ、クサカゲロウの仲間、コマユバチの仲間、クロヤマアリ、キンバエの仲間、ガガンボの仲間、ユスリカの仲間

【観察会の様子】



【左】1 【右】2

知多支部

(学芸事業 27件~)

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合先
08	4	12	土	受託	全般	知多	「春の野草や虫さんに会いに行こう」捕虫網、虫かご、持参	知多市「梅の館」本館 9:30	山田絹(0562-34-8755) 大野
08	4	26	土	受託	全般	知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」ゲームを取り入れ。タモ、虫かご持参	知多市地域文化センター 9:30	中井康(0569-42-0884) 山田絹
08	5	17	土	受託	全般	知多	「春の野草や虫さんに会おう」(竹の子もあるかな) 死、虫かご持参	知多市八幡大祥院境内 9:30	小川(0562-34-4419) 山田絹
08	5	24	土	受託	川・池	知多	「信濃川の生き物を見よう」タモ、バケツ持参。運動靴か長靴	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614) 浅井
08	6	13	金	受託	昆虫クモ含	知多	「灯火に集る虫とヘイケボタル観察」靴で。懐中電灯持参。	知多市旭公園北P 18:45	平松俊(052-601-1491) 小島
08	6	20	金	受託	昆虫クモ含	知多	「灯火に集る虫とヘイケボタルの観察」懐中電灯持参。靴で。	知多市「梅の館」 19:30	平松俊(052-601-1419) 中井康
08	7	5	土	受託	海の生物	知多	「海辺の生き物観察」干潮13:39長靴で。タモ 手カギ、バケツ持参。	新舞子海岸カマボコトイレP 9:30	中井康(0569-42-0884) 森田
08	7	12	土	受託	全般	知多	「夏の森の生き物を観察しよう」タモ、虫かご、持参	知多市「梅の館」 9:30	葛谷(0569-42-1913) 小川
08	7	19	土	受託	全般	知多	「夏の生き物を見つけよう(カブトムシにも会えるかな)」虫かご持参	知多市旭公園北P 9:30	吉房(0562-55-9025) 山本辰
08	7	25	金	協力	全般	知多	「知多市岩村キャンプ場の自然観察」予定		降幡・中井康
08	8	1	金	受託	昆虫クモ含	知多	「灯火に集る虫と観察と鳴く虫の声を聴こう」懐中電灯持参。運動靴か長靴で。	知多市「梅の館」 19:30	南川(0569-42-5382) 小島
08	8	2	土	受託	川・池	知多	「日長川の生き物観察」長靴で。タモ、バケツ持参。	知多市地域文化センター 9:30	金内(0562-55-8614) 大野
08	9	6	土	受託	川・池	知多	「水田や水路の生き物観察」長靴で。タモ、バケツ持参。	知多市地域文化センター 9:30	金内(0562-55-8614) 小川
08	9	13	土	受託	川・池	知多	「秋の信濃川をのぞいて見よう」タモ、バケツ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	金内(0562-55-8614) 山本辰
08	9	26	金	受託	昆虫クモ含	知多	「虫の声を聴きながら星空を見よう」懐中電灯持参。	知多市「梅の館」 19:00	小島(0569-42-4537) 平松俊
08	10	4	土	受託	キノコ	知多	「身近にあるキノコを調べよう」採集用カゴ持参。運動靴か長靴で	知多市「梅の館」 9:30	降幡(0569-43-8060) 高橋
08	10	11	土	受託	キノコ	知多	「身近にあるキノコ観察」採集用カゴ持参。運動靴か長靴で。	知多市地域文化センター 9:30	降幡(0569-43-8060) 石井
08	10	25	土	受託	キノコ	知多	「キノコの観察をしよう」採集用カゴ持参、虫除け、運動靴で	知多市旭公園北P 9:30	降幡(0569-43-8060) 南川
08	11	1	土	受託	工作	知多	「木の実・草・落ち葉の観察と工作をしよう」カマボコ板持参	知多市「梅の館」 9:30	山田絹(0562-34-8755) 春日
08	11	23	日	受託	野鳥	知多	「晩秋の野鳥をたずねて」弥富野鳥館、海南子ども館。双眼鏡、持参。	知多市地域文化センター 8:00	降幡(0569-43-8060) 吉房
08	12	6	土	募集	全般	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」双眼鏡、(あれば)持参。	名鉄・日長駅西北P 9:30	小川(0562-34-4419) 葛谷
08	12	13	土	受託	野鳥	知多	佐布里池の自然を観察しよう」双眼鏡、持参	知多市「梅の館」 9:30	南川(0569-42-5382) 吉川勉
09	1	10	土	受託	野鳥	知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥を観察しよう」双眼鏡、持参。	知多市「梅の館」 9:30	神野(0562-34-3964) 南川
09	2	7	土	受託	土壌 朽木	知多	「朽木の虫さんを観察しよう」マイナスドライバー、プリン容器、持参。	知多市「梅の館」 9:30	小川(0562-34-4419) 浅井
09	2	14	土	受託	野鳥	知多	「冬に長旅してきた野鳥観察」双眼鏡、)持参。	知多市地域文化センター 9:30	岩崎(052-601-5504) 石井
09	2	21	土	受託	昆虫クモ含	知多	朽木の虫さんを探そう」虫眼鏡、ドライバー、プリン容器持	知多市旭公園北P 9:30	平松俊(052-601-1491) 小川
09	3	14	土	受託	全般	知多	「道ばたの野草と春の芽吹きを感じよう」虫眼鏡(あれば)持参。	知多市「梅の館」 9:30	中井康(0569-43-0884)、吉房

<担当者のコメント>

知多市は、市環境課の自然調査隊、梅の館、地域文化センター、一般募集、子供会等の観察会のお手伝いをしています。観察場所は、主に、新舞子海岸、日長川、信濃川、寺社の境内、旭公園、佐布里池周辺等です。自然に恵まれ、多くの動植物を、観察することができます。カワウの繁殖地として、美浜町の鶺ノ山が、全国的に有名ですが、近年、佐布里池にカワウが増えてきました。参加者は、乳幼児から大人まで、大変幅が広いです。熱心なお父さんやお母さんに、手を引かれて参加する子供たちを見ていると、将来、この子たちも自然に関心をもつであろうと思うと楽しみです。



【行事名】「冬に長旅して来た身近な野鳥観察」

【日時】 2007年1月12日(土) 9:30～11:15

【場所】 知多市・佐布里池周辺

【天気】 薄曇り

【参加者】 9名

【担当】 岩崎、細川

【会員】 岩崎、細川、竹内秀、大嶋、村瀬、山田絹、山本辰、小川、降幡

【内容】

昨夜来、前線が太平洋岸を東進、朝まで小雨が残り集合時には止みましたが一般参加者へは昨夕、観察会中止連絡が出されています。小寒、鏡開きも過ぎ本年初の会員のみのお観察会です。岩崎さんからコースの説明の後、出発して間もなく散策路を辿るとサザンカの花蜜を啄ばむヒヨドリ、メジロに迎えられ、はたまたモズのトカゲやバッタのハヤニエにお目に掛り自然界の生き様に皆、暫し歩を止めました。視界がやや開けた電線上では雨で濡れた羽根を繕いながら群れをなしてキリリコロロの地鳴きに耳を傾けました。池にはアヒル、アイガモ、マガモなどで賑やかでした。今回、水辺の宝石、カワセミやオシドリが観察できず心残りながら池をあとにしました(小川/記)。

【観察した生き物】

◎鳥たち(観察順)

メジロ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、スズメ、ハシブトガラス、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、ムクドリ、ホオジロ、マガモ、ヒドリガモ、カワウ、アヒル、アイガモ、ガチョウ、コガモ、カルガモ、ジョウビタキ、カシラダカ、アオジ、カイツブリなど

◎その他の生き物

ミミズ、サザンカ、ヤーコン、ニセアカシヤ、スタジイ、クロガネモチほか

【観察会の様子】



【左】好き者があつまりました。【右】モズがトカゲをはえにえにしてありました。

【行事名】 春の野草や虫さんに会いに行こう

【日時】 2008年4月12日(土) 9:30~11:20

【場所】 知多市梅の館周辺

【天気】 晴れ

【担当】 山田絹、大野

【参加者】 一般 7名(大人3名 子供4名)

(会員:山田絹、大野、吉房、蔦谷、中井康、加藤、森田、今西、村瀬、古川、岩崎、平松俊、)

【内容】

晴れていましたが少々気が引ける天気で、寒さを少し感じる北西の風が少しありました。風裏で日当たりのよい水利神社の東斜面でまず観察しました。まだ残っていたソメイヨシノの花にはメジロが蜜を吸いに集まり、樹の根元の方にはヨコズナサシガメの幼虫がいました。ハナノキは赤い雄花を垂らしていました。最近の二度の大雨で斜面は緑に覆われ、その中に黄色いタンポポの花が鮮やかに咲いていました。そんな中にモンシロチョウ、シジミチョウの仲間が飛び交い、子供たちは追いかけるのに夢中でした。草の間に卵を抱えたコモリグモの仲間が走り、ギシギシの葉には、ルリハムシの幼虫と成虫もいました。最後になってやっと常連のキチョウが姿を現しました。終了の時間が近づいたころ随分暖かくなりましたので芝生広場でおさらいをして解散をしました。(記・大野)

【観察した生き物】

◎植物

タンポポ、オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、オニタビラコ、コオニタビラコ、ハルノノゲシ、オニノゲシ、ハコベ、ナズナ、ホトケノザ、ヘビイチゴ、ヤエムグラ、スイバ、ギシギシ、コバンソウ、カラムシ、イタドリ、カタバミ、ヒメオドリコソウ、オオジシバリ

◎チョウ、ガの仲間

モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ナミアゲハ、キバラゴマダラヒトリ、オビカレハ

◎ハエ、アブの仲間

シマハナアブ、ホソヒラタアブ、ナガヒメヒラタアブ、ホソツヤヒラタアブ(?), クロヒラタアブ(?), オオクロバエ、キンバエの仲間、ミバエの仲間、ユスリカの仲間

◎コウチュウの仲間

ナナホシテントウ、ナミテントウ、コガタルリハムシ、ウリハムシ、クワハムシ、マルガタゴミムシ(?), マルガタゴモクムシ(?), ゴモクムシの仲間

◎カメムシの仲間

ヨコズナサシガメ(幼)、ピロウドサシガメ、ツチカメムシ、ミツボシツチカメムシ、ヒメナガカメムシ、アメンボ、アブラムシの仲間

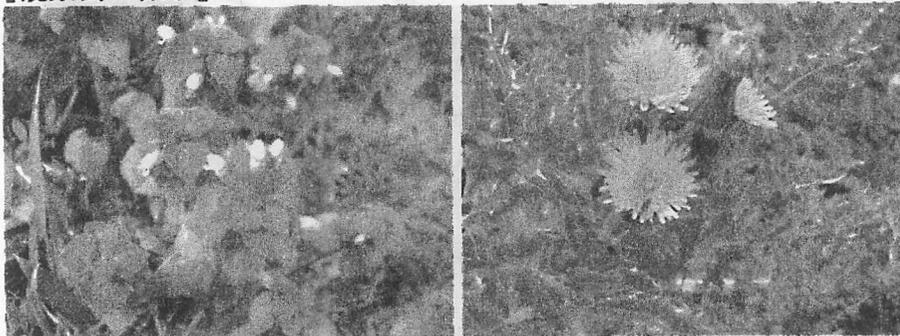
◎その他の昆虫

ヒシバツタ、ノミバツタ、キリギリス(幼)、セイヨウミツバチ、カブラハバチの仲間、ハナバチの仲間、ベッコウバチの仲間、クロヤマアリ、モリチャバネゴキブリ、ヒゲジロハサミムシ

◎鳥

◎その他

【観察会の様子】



【左】ヒメオドリコソウ。可愛い踊り子に見えます。 【右】オニノゲシ。

【行事名】キノコの観察をしよう(知多市地域文化センター主催)

【日時】2008年10月25日(土) 9:30～11:40

【場所】知多市旭公園

【天気】くもり

【担当】降幡、山本

【参加者】12名

(会員:降幡、山本、大野、中井康、牧野)

【内容】

今年はキノコの当たり年だそうで、つい半月前にも旭公園でキノコの観察会を行いました。この時は20種近くのキノコが観察できました。今回も

【観察した生き物】

◎植物

アケビ、ヘビイチゴ

◎キノコ

ハタケキノコ、キツネノロウソク、ホコリタケ、ヒメカタショウロオリーブサカズキタケ、タマムクエタケ、ヒナノヒガサ、テングツルタケ、オオシロカラカサタケ(毒)、ムラサキシメジ(食)、ウスヒラタケ(食)、ハカワラタケ

◎その他

イシクラゲ、カワニナ、イシガメ

【観察会の様子】



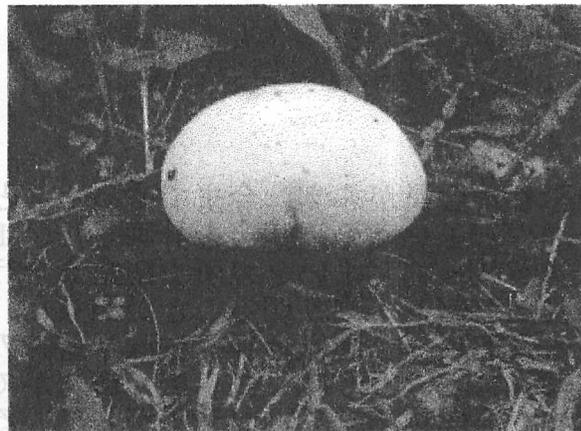
【左】草原にキノコが出ていました。



【右】ハタケキノコ

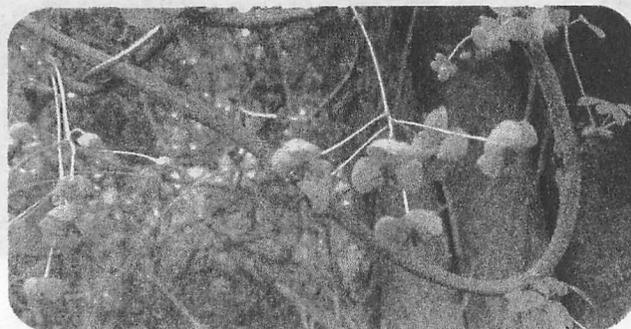


【左】キツネノロウソク。胞子がついた粘液状の先の部分は悪臭がします。【右】ホコリタケ。若いうちは食用に出来ます。



東浦支部

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	5	土	募集	全般	東浦	「生き物が盛んに活動する春を見つけよう」、ビニール袋持参	東浦高校正門前 9:30	田中(0562-34-6040) 岩本
08	5	23	金	募集	昆虫 対含	東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」懐中電灯持参・靴で	東浦町於大公園プールP 21:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
08	6	14	土	募集	川・池	東浦	「明徳寺川の中をのぞこう」タモ、バケツ持参。運動靴でサンダル禁止	東浦町文化センターP 9:30	田中(0562-34-6040) 竹内秀
08	7	5	土	募集	昆虫 対含	東浦	「夏の生き物たちに会おう」タモ、虫カゴ持参。長袖長ズボン帽子着用	於大公園プールP9:30 ⇒緒川新池周辺	桑原(0562-83-2357) 岩崎
08	7	25	金	募集	昆虫 対含	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」懐中電灯持参、運動靴で	東浦町高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086) 水野利
08	8	30	土	募集	昆虫 対含	東浦	「緒川新池周辺の夏の生き物たちに会おう」あればタモ・虫カゴ持参	於大公園プールP 9:30	岩本(0562-84-0602) 山田公
08	10	5	日	募集	キノコ	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」蚊取り線香・採集用カゴ持参	東浦町高根の森P 9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
08	11	8	土	募集	全般	東浦	「秋の森を探検しよう」軍手、剪定ばさみ、ビニール袋持参。運動靴で	東浦高校正門前9:30	桑原(0562-83-2357) 岩本
08	11	29	土	募集	工作	東浦	「森の宝物で工作しよう」参加費100円	於大公園このはな館 9:30	桑原(0562-83-2357) 山田公
09	2	14	土	募集	全般	東浦	「冬の生き物たちに会おう」虫メガネ、フィルムケース持参	東浦町石浜西小正門前 9:30	岩本(0562-84-0602) 竹内秀



<担当者のコメント>

今年久しぶりに会員がふえ、今までやったことのない於大公園「このはな館」で秋の工作を増やし10回の観察会を計画した。1度雨にたたられ、1度は町の広報に間違いの情報が載ってしまい2カ所で観察会を行えるよう待機するというハプニングに見舞われたが何とか乗り切ることが出来た。参加者ゼロの時もあったが、そのおかげで町の環境課や公園緑地課、生涯学習課の方々と話をする機会がもてた。次年度から、町と“どのようにしたら広く広報ができるか”についての連絡調整など以前とは違った展開が出来そうな予感がしている。これからも、会員や参加者の増加について知恵をしぼっていききたい。

【行事名】 灯火に集まる虫の観察と鳴く虫の音を聞こう

【日時】 2008年7月25日(金) 19:00~21:00

【場所】 東浦町「高根の森」

【天気】 晴れ

【担当】 春日、水野利

【参加者】 12名

(会員: 春日、水野利、竹内秀、桑原、降幡)

【内容】

大雨・台風続きで2年ぶりの東浦の燈火採集です。東浦広報に載せたのに参加人数はちょっと寂しい6人。2家族でした。片やキノコの会の時も参加したというリピーター、虫対策はバッチリ。片や広報を見て事前連絡を取ってきた父子、虫対策はサッパリ。対照的な2家族でしたが、どちらも虫はあまりすきではないようで、虫かごもタモも無し。セミを持つのもおそろおそろという感じ。燈火採集の準備はいつもの田んぼ脇は危険を感じたのでという水野先生の判断で、今回は駐車場脇にセット。軽快な発電機の音を聞きながら自己紹介のあと、とにかく時間になったので水野先生を先頭にいざ出陣！日照り続きで雨がふらないので、樹液のあとやかすかな樹液のにおいがあるだけでお目当てのカブトやクワガタは1頭も見かけなかった。さらに森の中の落葉—これはあまりの暑さ続きで葉が夏枯れしていた。よく見られたのは、ウスバカミキリ、セミの羽化。あまりのきれいさにさわってみたいのだが、「ちゃんと乾ききるまではさわるときちゃんとした大人になれないよ。」と説明されると、手を引っ込めて見つめていた。そして純白の衣装でじっと羽の乾くのを待つ姿に感動。と、思いきや、その姿に食らいつくムカデ発見。しばらく声も出ずに見つめる・・・が、自然界の厳しさ、食べる、食べられるという現実に出会う。ムカデの立場にしてみればばらばらのご馳走、刺されて迷惑というのは人間の思うことで、ムカデは生きるために必死なのだという話を子どもたちは聞き入っていた。

水野先生の分かりやすくおもしろい話に保護者も「へえー。なるほど。」と、感心しきり。もちろん子どもたちは、話だけでなく初めはセミさえ持つのがこわごわだったのに、帰るころには自分から手を出して捕まえられるようになっていった。家に持って帰らない虫は観察後どうするかという話を子どもたちがしているのに「逃がしてやるときは、下に逃がしてやれよ、投げると傷が付くから。」とアドバイスし合っていた。燈火採集は、アオドウガネやカメムシ類が少し集まっていた。観察会終了後子どもたちはセミの幼虫やセミをうれしそうに持ち帰っていった。(記 春日 竹内)

【観察した生き物】

◎ ニイニイゼミ(このセミの鳴き声で夏が来たことが分かり、ツクツクボウシが鳴くと秋が近い)、アブラゼミ(セミは夜飛ばない)、クマゼミ カナブン、ウスバカミキリ(羽が薄く柔らかい)アオドウガネ、キマワリ、ユミアシゴミムシダマシ、アオカメムシ、ヤマトゴキブリ カラスヨトウ、ウンモンクチバ、ウスバカゲロウ(アリジゴクの親)、トンボの仲間、マダラカマドウマ、ヤブキリ、コロギス(コオロギとキリギリ スの会の子で肉食)ムカデ、ダンゴムシ、アマガエル、ジョロウグモ

【観察会の様子】



【左】コロギスがコナラにとまっていた。 【右】明かりを目指して虫さんが集まりました。

【行事名】 身近にあるキノコを見つけよう

【日時】 2008年10月5日(日) 9:30～11:40

【場所】 東浦町高根の森

【天気】 曇り⇒少雨

【担当】 山田絹子、降幡 光宏

【参加者】 大人3名、子供1名

(会員:山田絹、降幡、浅井、竹内秀、中井康、桑原、大野、岩本、山田公、関、牧野)

【内容】

9時頃ざーっと雨がふり、観察会がやれるかどうか空を見上げていると、だれが雨を吹き飛ばしたのかんだん小降りになって観察会を行うことができました。予定通り高根の森に全員集合、先ず降幡さんからキノコの自然界での働きや採集時の注意点などのお話を聞いた後、森の入り口でヒラタケを見つけて気をよくし、ちょっと期待しながらそれぞれが散らばって70分ほど森を歩きました。今年は夏に雨らしい雨がなく、9月になってやっと雨がよくふり、出発して間もなく大型で朽ちて真っ黒になったキノコをよく見かけました。もう少し速かったら見られたのにね・・・などと言いながら歩いていると、コナラの根元で小木の木の枝の間に直径20センチ高さ25センチほどに育った大型のマイタケを発見。本当に舞い上がって舞いたくなりました。散歩道脇のこんな所にこんな大きなキノコが・・・と、目を丸くしました。何年もこの時期にキノコの観察会を行っていますが、高根の森でマイタケが採れたのははじめてだと思います。結果的に参加者の努力、観察眼などで、それは沢山のキノコが取れ、皆で貴重な分ち合いをしました。(記・竹内秀)

【観察したキノコ】

ヒイロタケ、コフキササルノコシカケ、カレバキツネタケ、ヒラタケ、ウスヒラタケ、シロツルタケ、カバイロコナテングタケ、カバイロスズタケ、ニガクリタケ、オニイグチモドキ、ホウロクタケ、カワラタケ、ホコリタケ、ノウタケ、コツブタケ、オオゴムタケ、キクラゲ、アラゲキクラゲ、アイタケ、オニタケ、ハナオチバタケ、キイボカサタケ、ニオイコベニタケ、アマタケ、ナカグロモリノカサ、カワリハツ、ウスキモリノカサ、ヤナギマツタケ、アカイボカサタケ、シロハツモドキ、シロツチガキ、ドクツルタケ、ニッケイタケ、ニセクサハツの仲間。

【観察会の様子】



【左】種類がたくさんありました。 【右】木の高いところにヒラタケ生えていました。

【行事名】 木の実をひろって工作をしよう

【日時】 2008年11月29日(土) 9:30～11:30

【場所】 東浦町於大公園内 このはな館

【天気】 晴れ 珍しくぽかぽか陽気

【担当】 桑原誠、山田公子

【参加者】 大人子供合計 17名 (ビーバー隊も参加 飛び入り参加もあり)
(会員: 桑原、山田公、加藤、大野、岩本、山本、竹内秀)

【内容】

11月末にしては珍しくぽかぽか陽気。2週間前に東浦広報に間違えて今日の企画が乗ってしまい、大あわてで準備をしたものの参加者ゼロ。というハプニングがあつての今日の観察会。はじめは館の中のロビーで工作をやるかと言っていたのだが、あまりの天気の良いさに机を外に出してひなたぼっこをしながら工作をすることに。参考作品をこのはな館の玄関前にずらりと並べているとビーバー隊のかわいい子どもたちも含め参加者が集まってきてさあスタート。

30分くらい公園の周りを回って・・・そのあと工作という予定だったが、思ったよりもたくさんの木の実を見たり拾えたりしたので小1時間くらい観察をしてからさあ工作。途中から飛び入り参加の家族もあった。

コナラだけでなく、ガmazミヤハクウンボク、ネムノキは種をつけすぎのような感じがした。ドングリ類が集まっているコーナーがあり、ナラガシワやカシワ、スダジイにウバメガシ。ウラジロガシにミズナラ。の木が見られた。まさかと思いながら落ち葉をかき分けると、ミズナラの大きなドングリが幾つかごろごろ。あまりのおおきさにびっくり。

後ろ髪を引かれながら、工作を始めると今度は工作にはまってどんどん作品ができあがった。ひょっとしたらはまったのは子どもたちよりお母さん方だったかも・・・あつという間に予定の11時半になってしまった。みなさんで記念写真を撮ったらステキな秋の1枚になりました。(記・竹内秀)

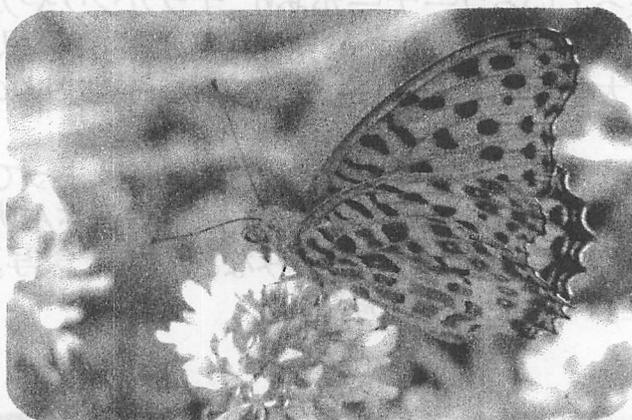
【観察会の様子】



【左】出来た作品と共にハイチーズ。 【右】みんな一生懸命作ります。

阿久比支部

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	13	日	募集	全般	阿久比	「植物、野鳥、虫たちの躍動を感じよう」タモ、虫かご、双眼鏡持参	阿久比エスペランス丸山 P 9:30	牧野 (090-1232-9472) 山田和
08	6	29	日	募集	川・池	阿久比	「福山川の生き物は今年も元気かな」タモ、バケツ持参。靴でサンダル禁止	阿久比町板山公民館前 9:30	金内 (0562-55-8614) 浅井
08	8	16	土	募集	昆虫 / 雑舎	阿久比	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」懐中電灯、虫除け持参。サンダル禁止	阿久比町ふれあいの森 P 19:30	平松俊 (052-601-1491) 平松裕
08	11	24	月	募集	工作	阿久比	「木の実など自然の贈り物で工作をしよう」(阿久比中央公民館主催)	阿久比ふれあいの森 P 9:30	牧野 (0569-22-7277) 山田和
09	1	25	日	募集	土壌 朽木	阿久比	「朽木の虫を観察しよう」虫メガネ、マイナスドライバー、プリン容器持参。サンダル禁止	阿久比エスペランス丸山 P 9:30	平松裕 (0569-48-1071) 牧野



<担当者のコメント>

2008年阿久比町の活動は、ふれあいの森周辺と箭比神社などを中心に5回開催しました。毎年、ほぼ同じ時期に同じ場所で行う観察会ですが、初めて見る植物や昆虫たち、新しい発見や感動がたくさんあるものです。しかし、この身近な小さな自然も徐々に失われていくようです。今年の11月のふれあいの森の周辺の観察会では、雑木林の観察路が区画整理のためなくなっていました。またゴミの不法投棄も気になるところです。2009年は、自然の素晴らしさを多くの方に知ってもらおうべく、参加者数を増やしていくよう努めたいと思います。

【行事名】 阿久比・エスペランス丸山～箭比 (社) 神社周辺の朽木の虫を観察しよう

【日時】 2008年1月27日(日) 9:30～11:30

【場所】 阿久比町・エスペランス丸山～箭比神社周辺

【天気】 晴れ時々曇り

【担当】 平松裕規、牧野靖子

【参加者】 一般 3名 (内 子供さん 1名)

(会員：平松裕、牧野、降幡、森田、浅井、竹内秀家族 (2名)、山本、門脇家族 (4名)、小川)

【内容】

今朝も氷点下の冷え込みで寒い日です。観察路を説明後、潜ると「おこり」に罹るとされている箭比神社の鳥居を左に巻いて本殿に向かいました。途上、斜面に茶褐色の緻密で硬い岩石・チャート(地質：加木屋層)が露出、早速、火打石よろしく火花を散らし石器時代のロマンに浸りました。カラ類の野鳥が木の実を啄む中、大きく立派なカブトムシの幼虫を、参加した子供さんが見付け歓声が上りその後次々と朽木の虫さんを発見しました。朽木の虫を観察すると食べる順序があるようです。比較的堅い樹木をカミキリの幼虫が食べ、少し柔らかくなった木をクワガタが、更にぼろぼろになった樹をカブトが食べているみたいです。また、針葉樹を好む虫と広葉樹を好む虫の種類が違うみたいです。単に虫を採集するのではなく私達の身の回りの自然環境についても意識したいと思います。境内で収集した虫さん達の分かち合いを解説を交えて行った後、解散しました(小川/記)。

【観察した生き物】

◎昆虫 (幼虫・蛹)

カミキリ、コクワガタ、キマワリ、クワガタ、カブトムシ、クロマドボタルの幼虫?、スズメガの蛹、ケバエの蛹

◎昆虫 (成虫)

カマドウマ、アブラムシ、ユミアシゴミムシダマシ、イシムカデ、トビズムカデ(オオムカデの仲間)、ヤスデ、ワラジムシ、シャクガの仲間、スズメバチ、

◎鳥

ヒヨドリ、カラ類(コガラ、ヤマガラほか)

◎植物

アゲマキ、ヤマモモ、コクラン、シイノキ

◎その他

クモの仲間、キノコの仲間、ナミコギセル?

【観察会の様子】



【左】受付をやっています

【右】クロマドボタルの幼虫?

【行事名】 植物、野鳥、虫たちの躍動を感じよう

【日時】 2008年.4月13日(日) 9:30~12:00

【場所】 阿久比エスペランス丸山駐車場~箭比神社

【天気】 晴れ

【担当】 吉田、百合草

【参加者】 一般4名(大人 1名, 子供 3名)

(会員:加藤寿、伊藤祐、森田、平松裕、平松敏、門脇、今西、村瀬、古川、牧野)

【内容】

観察会にはもってこいのうららかな春日和の中、エスペランス丸山駐車場を出発し、箭比神社の中および周辺を観察しました。箭比神社に向かう道では、ナノハナやチューリップ、ドウダンツツジなど畑や花壇などに植えてある木や花を楽しみました。箭比神社入り口では、成長がよいハルノノゲシ、クサギの木から抜け出たエイリアンならぬボクトウガの抜け殻を発見。神社の中では、ご神木のアベマキの巨木にキノボリトタテグモの空き巣やオオワラジカイガラムシの幼虫をたくさん見つけることができました。フモトスミレの小さな花は、境内への石段の両脇に数多く咲いていました。メジロのさえずりを聞き、帰りにはメジロの巣であろうと思われる小鳥の巣を拾いました。巣材には化繊の綿やビニール紐なども使われていました。子どもたちは、ホコリタケを見つけ、小枝で軽くたたいて胞子を飛ばし遊びました。神社を通り抜けた田んぼや畑の周りではワラビをとったり、カラスノエンドウに無数いるナナホシテントウの幼虫、蛹、成虫を見比べました。今年も残念ながらトウキョウサンショウウの卵に出会うことはできませんでした。またヒメタイコウチやオオタカも見ることではできませんでしたが、昆虫や花をじっくり見たり、鳥のさえずりを聞いたり、木の葉の香りなどを感じたりと五感で感じる楽しい観察ができました。参加したお子さんも虫やカエルに触れたことが印象に残ったようでした。(記・牧野)

【観察した生き物】

◎植物

クワの雄花、ハルノノゲシ、オオジシバリ、フモトスミレ、アツミゲシ、イズセンリョウ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、タンポポ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、セリ、タネツケバナ、ワラビ、ゼンマイ、ノキシノブ、ホコリタケ

◎チョウ、ガの仲間

モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ムラサキシジミ、ナミアゲハ、ルリタテハ(古川氏目撃)、シャクガの仲間、トリバガの仲間、ボクトウガ(さなぎ抜け殻)

◎コウチュウの仲間

ナナホシテントウ、コクロヒメテントウ(?), ヒメスギカミキリ、クロウリハムシ、ウリハムシ、クロオビカサハラハムシ(?), マダラアラゲサルハムシ、チャバラマメゾウムシ、ホシボシゴミムシ(?), アオグロヒラタゴミムシ(?), マルガタゴミムシ(?), ヒラタハナムグリ、カブトムシ(幼虫)、アオバアリガタハネカクシ、エグリゴミムシダマシ

◎ハエ、アブの仲間

シマハナアブ、アシブトハナアブ、マメヒラタアブ、オオクロバエ、キリウジガガンボ、ヒメガガンボの仲間、ユスリカの仲間

◎ハチ、アリの仲間

セイヨウミツバチ、カブラハバチの仲間、ハバチの仲間、ヒメバチの仲間、クロヤマアリ、トビロシワアリ(?)

◎カメムシの仲間

ホソハリカメムシ、ヒメナガカメムシ、ヒメアメンボ、オオワラジカイガラムシ(幼虫?)

◎その他の昆虫

ツチイナゴ、ヒシバツタ、キリギリス(幼虫)、カマドウマの仲間、モリチャバネゴキブリ、トリバガ、ボクトウガの抜け殻、オオワラジカイガラムシ(幼虫)、エグリゴミムシダマシ♀、クロウリハムシ、バツタの幼虫、ナナホシテントウ(幼虫・蛹・成虫)、ゴモクムシの仲間、ヒラタハナムグリ、ツチイナゴ、モンシロチョウ、ベニシジミ、モンキチョウ、アゲハチョウ、ツバメシジミ、カブトムシ(幼虫) ◎鳥

メジロ、ウグイス、キジの声、ツバメ

◎その他

アマガエル、ツチガエル、オニグモ

【観察会の様子】

【行事名】 灯火に集まる虫の声を聞こう

【日時】 2008年8月16日(土) 19:30~21:00

【場所】 阿久比町ふれあいの森近郊

【天気】 晴れ

【担当】 平松俊、平松裕

【参加者】 大人14名、子供21名

(会員：平松俊、平松裕、牧野、浅井)

【内容】

今年も一般参加者がなく、指導員のための観察会となりました。美しい満月が見え隠れする林の道をクモや昆虫を探したり、鳴く虫の音を聞きながら歩きました。途中、オオミズアオと思われる大きなガや木の根につかまり眠っているかわいいハチなどの珍しいものにも出会うことができました。このところ全く雨がなく、地面は乾燥しクロマドボタルの餌となるカタツムリの動きがないためか、期待していたクロマドボタルは発見できませんでした。しかし、灯火のもとには、ここでは初めての(私の知る限りで)ツノトンボがやってきて大満足です。また、カマキリの幼虫がヒシバッタを捕食するという珍しい場面にも遭遇しました。カマキリにとっては白布の上は御馳走一杯のレストランといったところでしょうか。かなり暑い夜でしたが、大小さまざまな虫たちをじっくり見ることができ面白い観察会でした。(記・牧野)

【観察した生き物】

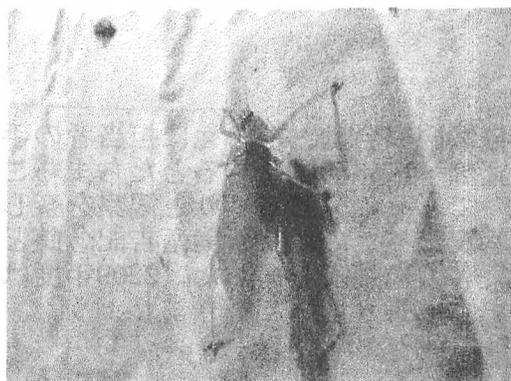
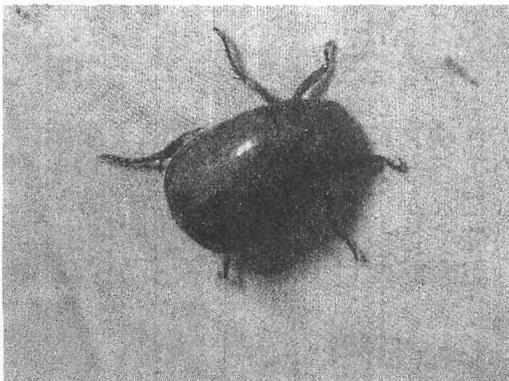
◎ナイトハイク

オオミズアオ(?)、ハヤシノウマオイ(声)、カンタン(声)、マツムシ(声)、アオマツムシ、キリギリス、ツユムシ(幼)、カネタタキ(声)、ヤブキリ(声)、オカメコオロギ(声?)、エンマコオロギ(声)、ハラビロカマキリ、アブラゼミ、アオバハゴロモ、カトリヤンマ、アミメクサカゲロウ、キマダラヒロバカゲロウ(?)、ハナバチ類

◎灯火

イチモンジセセリ、シオカラトンボ、アオドウガネ、ヒメコガネ?(ヒメコガネとツヤコガネの外観上の区別がわかりません。誰か教えてください。)、ビロウドコガネ(?)、キイロチビゴモクムシ、ミドリマメゴモクムシ(?)、アオバアリガタハネカクシ、ニセユミセミゾハネカクシ(?)、アオバネサルハムシ(?)、カミナリハムシ類、マダラチビコメツキ、サビキコリ、ヒメガムシ、ジュウサンホシテントウ、ケシキスイ類、クモヘリカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ、イネカメムシ、ヒメツヤツチカメムシ(?)、ハマベアワフキ、ベッコウハゴロモ、ツマグロヨコバイ、イナズマヨコバイ、フタスジトガリヨコバイ(?)、ヒメトビウンカ、ヒラタグンバイウンカ、ウマオイ類、クサキリ、タンボコオロギ、ハネナガヒシバッタ、ヒシバッタ類、ツノトンボ、ヤマトクサカゲロウ(?)、コカゲロウ類、コマユバチ類、ユスリカ類

【観察会の様子】



【左】アオドウガネ

【右】ウマオイ

半田支部

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	6	日	募集	全般	半田	「任坊山で春をみつけよう」(虫や野草の観察)	任坊山公園 P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	5	3	土	募集	川・池	半田	「十ヶ川(半田運河)の生き物観察」(干10:22サンダル禁止)	半田市役所 P 9:30	山田(0569-22-4660)榊原靖
08	5	4	日	受託	全般	半田	「半田端午の節句まつり」半田市観光協会(予定)	半田市役所 P 9:00	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	5	5	月	受託	全般	半田	「半田端午の節句まつり」半田市観光協会(予定)	半田市役所 P 9:00	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
08	6	22	日	募集	川・池	半田	「初夏の椎ノ木大池」(トンボ・水生生物を観察、タモ・虫かご持参)	板山小学校正門前 9:30	牧野(090-1232-9472)榊原靖
08	7	12	土	募集	川・池	半田	「矢勝川の生き物観察」(タモ、バケツ持参、サンダル禁止)	新美南吉養家 P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)大橋
08	9	13	土	募集	昆虫 化石	半田	「虫の音鑑賞とお月見」	新美南吉養家 P 19:00	榊原靖(0569-21-3497)榊原正
08	10	4	土	募集	全般	半田	「運動公園周辺の秋を見つけよう」(野草や木の実)	半田運動公園第一 P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原靖
08	11	22	土	募集	全般	半田	「童話の森で木の実、草の実観察と工作」	新美南吉記念館 P 9:30	大橋(0569-21-6656)榊原正
08	12	13	土	募集	川・池	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	康衛池(瑞穂記念館) P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)大橋



<担当者のコメント>

2008年の半田ミニ自然観察会は、ひとえに担当者の手抜きゆえに、一般参加者数が激減してしまいました。宣伝・広報活動を怠るとたちまちこのような有様になるという悪しき見本と言えましょう。でもその分じっくりと観察を楽しむことができました(と負け惜しみ?)。そんな中で盛況だったのは、新美南吉記念館と共催で行った7月の矢勝川の観察会でした。さすがの集客力に驚嘆しました。2209年度は、記念館だけでなく市役所からの受託行事も導入されます。張り切って行きましょう。

【行事名】 十ヶ川（半田運河）の生き物観察

【日時】 2008年5月3日(土) 9:30～11:40

【場所】 半田市十ヶ川（半田運河）

【天気】 晴れ

【担当】 山田、榊原靖

【参加者】 15名

(会員：山田、榊原靖、榊原正、大橋、浅井、森田、中井康、門脇、吉房、降幡)

【内容】

今回は、生き物を観察し採集しました。採集した生き物は、半田市観光協会が主催する「半田端午の節句まつり」に関連する行事として、十ヶ川（半田運河）の生き物の展示をするためです。これは、身近な自然を知っていただき、自然の大切さを発見していただくためのものです。

好天の中、十ヶ川に入り大人も子供も夢中になり川の生き物を採集しました。採集した結果、予想以上の種類の生き物を観察することが出来ました。

【観察した生き物】

◎爬虫類

アカミミガメ

◎魚類

マハゼ、ウロハゼ、チチブ、ボラ、アユ、コモンイトギンポ

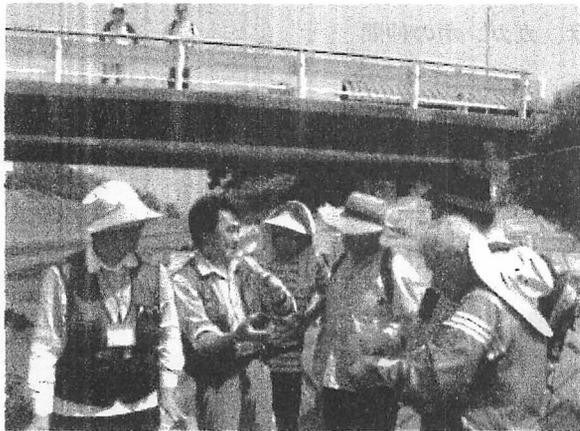
◎節足動物

チチュウカイミドリガニ（外来）、タカノケフサイソガニ、ヤマトオサガニ、フナムシ、ヤドカリ、テナガエビ、ヨコエビの仲間、シロスジフジツボ、外来フジツボ2種、

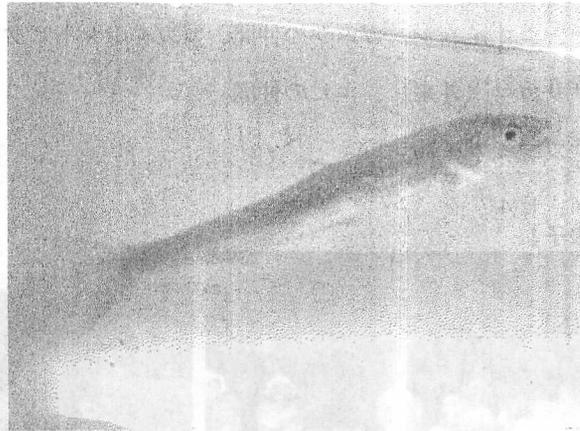
◎その他

タマキビガイ、マガキ、コウロエンカワヒバリガイ（外来）、ゴカイの仲間、タテジマイソギンチャク

【観察会の様子】



【左】 チチュウカイミドリガニの解説



【右】 アユ



【左】 チチュウカイミドリガニ（外来）



【右】 採集した生き物

【観察会続き】

【行事名】 「矢勝川の生き物観察」 (新美南吉記念館 共催)

【日時】 2008年7月12日(土) 9:30~11:40

【場所】 半田市矢勝川池田橋付近

【天気】 晴れ

【担当】 榊原靖、大橋

【参加者】 30名

(会員：榊原靖、大橋、浅井、斉上、降幡、森田)

【内容】

梅雨が明けたような天気になり、猛暑の中実施されましたが、半田市新美南吉記念館と共催で行った関係か例年よりたくさんの家族が参加されました。観察場所は川に脚立を使って下りることや観察面積が狭いので好条件ではありませんが多少の冒険があり、楽しい観察会が出来ました。

水辺で身近な自然を観察することは大切です。川の中に生活している生き物の種類によって水の環境が分かります。また、川の周りに生活している生き物によって自然環境が分かります。今回は川の中からも川の縁からも特定外来生物とされているものが見つかりました。外来生物が増えると昔から日本で生活していた生物が減少、あるいは絶滅するといわれています。

参考までに申しますと外来生物のうち特に影響の大きいものを法律で特定外来生物と定め、①外来生物を日本に入れない。②外来生物を野外に捨てない。③外来生物を他地域に広げない。以上③原則を設け、違反した人(個人)は3年以下の懲役、もしくは300万円以下の罰金となります。

地元の自然を愛した新美南吉に学び、これからも生き物を①楽しく観察し、②生き物について学び、③大切な自然を皆さんで守っていきましょう。

【観察した生き物】

◎植物

アレチウリ(外来)、セキショウ

◎カメ・カエル

イシガメ、ヌマガエル、ウシガエル(外来)

◎魚

カダヤシ(特定外来生物)、トウヨシノボリ、モツゴ、メダカ

◎昆虫

タイコウチ、コオイムシ、ガムシの仲間、コガタシマトビケラ、ガガンボの仲間

◎甲殻類

アメリカザリガニ(外来)、エビの仲間

◎貝

タニシ、サカマキガイ、シジミ

◎その他

エラミミズ、ヒル

【観察会の様子】



【左】 観察前の予備知識とし「南吉と生き物」のお話。



【右】 川の中はクーラーで気持ちよかったです。



【左】 巨大ウシガエル捕獲。



【右】 在来の亀さん、イシガメです。

【行事名】 「童話の森で木の実、草の実観察と工作」

【日時】 2008年11月22日(土) 9:30~11:40

【場所】 新美南吉記念館P集合

【天気】 晴れ

【担当】 大橋、榊原正

【参加者】 (会員：中井康、浅井、榊原正、大橋)

【内容】

今年も、コース入り口のツルウメモドキの赤い実が見事でありました。

例年通り、“ゴンの小径”や“昭和の土手”を観察しながら小川に出ましたが、そこから、普段は行かない南の地域をゆっくりと観察しました。竹藪の南側の休耕地(?)は、ポッカポッカの陽だまりで蝶々も飛んでいました。

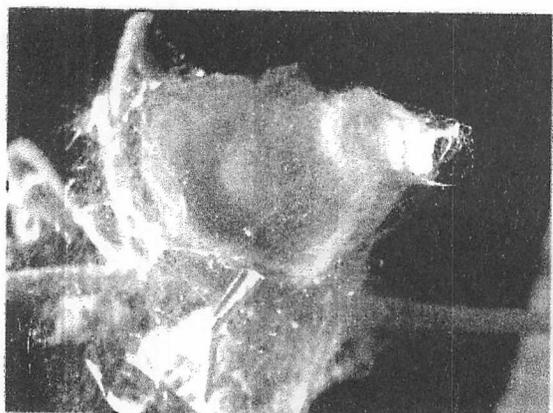
【目にとまった動植物】

下記の写真の通り ※もちろん、他にも多々ありましたが…(´_`)

【観察会の様子】



直径1cm位の繭(まゆ)?発見…。「蛾の繭だろう」と言ったら、N氏が、即、「クモの卵」と言ってくれました。それじゃあと言うことで、クモさんご免なさいと言いながら、解剖のはじまり…



繭の中に、さらに繭。その中に、きれいな黄色の卵がしっかりと入っていました。クモの名は…分かりません



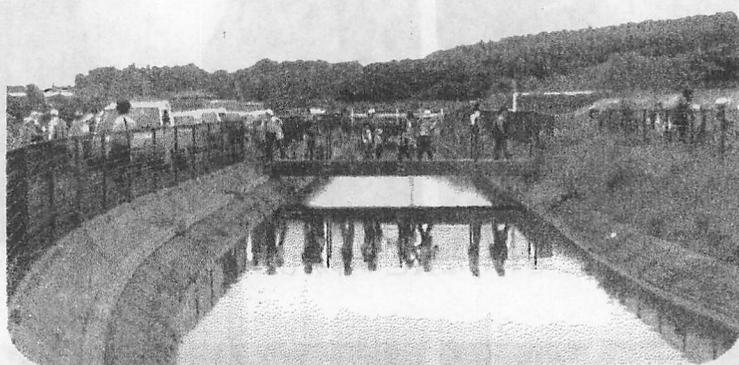
【左】 テントウムシや小さな昆虫が色々といました

【右】 ハラビロカマキリとツチイナゴ

常滑支部

(市教委会 後援)

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	20	日	募集	全般	常滑	「高坂墓苑と青池で春を見つけよう」(希望者は杉江幸治陶房で野草試食、参加者費100円、弁当持参)	常滑市高坂墓苑P 9:30	中井三(0569-42-2021)水野
08	5	18	日	募集	海の生物	常滑	「海岸の生き物を見よう」バケツ、タモ持参、サンダル禁止。	鬼崎蒲池港P 9:30	森田(0569-87-0725)中井康
08	6	15	日	募集	全般	常滑	「愛知用水の食虫植物を見よう」あれば虫眼鏡	常滑市南陵公民館P 9:30	中井三(0569-42-2021)今津
08	7	13	日	募集	川・池	常滑	「前山川の小さな生き物を見よう」バケツ、タモ持参 サンダル禁止	常滑市青海公民館P 9:30	金内(0562-55-8614)齊上
08	8	29	金	募集	昆虫 写真	常滑	「夏の虫の音を聞こう」懐中電灯持参、サンダル禁止	常滑市松原公園東P 19:00	小島(0569-42-4537)降幡
08	9	27	土	募集	昆虫 写真	常滑	「クロマドホタルを見に行こう」靴で、懐中電灯持参	常滑市多賀神社P 19:00	平松(052-601-1491)降幡
08	10	19	日	募集	キノコ	常滑	「キノコを見つけて見よう」採集用カゴ持参、虫除け、サンダル禁止	常滑市松原公園東P 9:30	降幡(0569-43-8060)平松俊
08	11	9	日	募集	全般	常滑	「秋の実りを見つけよう」出来れば工作も！ビニール袋持参	常滑市大曾公園 9:30	中井三(0569-42-2021)仙田
08	12	19	金	募集	昆虫 写真	常滑	「冬の灯火採集・フユシャクを見よう」懐中電灯持参、サンダル禁止	常滑市松原公園東P 19:00	平松俊(052-601-1491)降幡
09	1	25	日	募集	野鳥	常滑	「冬の鳥を見よう」あれば図鑑、できれば双眼鏡持参	常滑市松原公園東P 9:00	今津(0569-35-3295)齊上
09	3	15	日	募集	土壌 朽木	常滑	「朽木の生き物を探そう」マイナストライパー・プリン容器持参、サンダル禁止	常滑市松原公園東P 9:30	降幡(0569-43-8060)齊上



<担当者のコメント>

常滑支部は生涯学習、公民館事業の合同開催で参加者が多い時には、他の市町の指導員もお願いしました。常滑市の会員募集も検討したいです。川の観察会でベビーカーでの参加者もあり、テーマによっては対象学年を示したほうが良かったかも知れません。

【行事名】 愛知用水の食虫植物を見よう

【日時】 2008年6月15日(日) 9:30から12:00

【場所】 常滑市南陵公民館P集合 観察場所=小鈴谷土取付近

【天気】 うす曇り

【担当】 中井(三)、今津

【参加者】 大人36名 子供47人 指導員13名

(会員:中井(三) 今津 小島 平松 榊原(正)古川 岩本 竹内(匡) 竹内(秀)牧野 齊上 吉房 蔦谷)

【内容】

今回、南陵公民館家庭教育学級の講座と相乗りとなり、参加者は保育園児とその保護者が52名ありました。一般参加者は31名、指導者13名で総勢96名の大勢の参加となりました。9時30分、公民館Pで挨拶、注意事項と観察場所の説明後 9時45分、小鈴谷の愛知用水沿いに車で移動。ここ、数年シモチソウの花期が観察会の日より早かったので去年は6月の早い時期に計画をしたら、花が僅かしかなく、今年は？と心配をしたが少し遅いぐらいでした。観察場所よりずっと手前からイシモチソウを見ることが出来た。イシモチソウの種が風に乗って広がったのであろう。用水路の東側に点々と見られた。数年前に、水資源開発公団と交渉をして、用水路上部の側面を一部残し、イシモチソウを守って頂いた事もあり、その成果か？今年は沢山の花が咲いているところが見られた。

イシモチソウの根っこのところを水で洗い流し塊を見せ、「それが石を抱えもっているように見えるので、その名前がついた。」と説明をし、参加者の多くは納得をしていた。モウセンゴケはまだ花は少なく、花茎は出ていて2個の花を見ることが出来た、コモウセンゴケは赤い花がたくさん見られた。子供たちは、植物より昆虫に興味を示し、小島、平松 竹内指導員の傍には、人だかりが出来ていた。(記・中井三)

【観察した生き物】

◎植物

ノアザミ(花) イシモチソウ(花) コモウセンゴケ(花) ニワゼキショウ(花) カキラン(花) シラン(花) ミヤコグサ(花) ヒメハギ(花) ネジバナ(花) モウセンゴケ キバナノマツバニンジン オニノウシニケグサ? ノギリ
ン ワレモコウ イタドリ ツリガネニンジン カワラマツバ チガヤ コヌカグサ カナビキソウ ワラビ ゼンマイ サルトリイバラ、ミヤコイバラ テリハノイバラ ノイバラ オトコヨモギ キキョウソウ ウラジロ アリノトウグサ オトギリソウ ヌマトラニオ サワヒヨドリ クサレダマ ……。

◎鳥

ホトギス ウグイス オオヨシキリ ホウジロ ハシボソカラス …。

◎昆虫

チョウ、ガ:モンシロチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ヒメジャノメ、トンボエダシヤク、メイガの仲間、トリバガの仲間

コウチュウ:コガネムシ、セマダラコガネ、マメコガネ、アオバネサルハムシ、ウスイロサルハムシ、バラルリツツハムシ、ナガヒョウタンゴミムシ、クロマドボタル(成)、ヒメカメノコテントウ

ハエ、アブ:マメヒラタアブ、ナガヒメヒラタアブ、コガタノミズアブ、マダラアシナガバエ、ムネアカマダラバエ(?)、ヒトデツヤホソバエ、ユスリカの仲間

カメムシ:ホソハリカメムシ、アメンボ、ヒメアメンボ、ヒメトビウカ(?)、アワダチソウゲンバイ

ハチ、アリ:ヒメズメバチ、カブラハバチの仲間、ハバチの仲間、ヒメバチの仲間

その他の昆虫:シオカラトンボ、ヤマトクサカゲロウ(?)

【観察会の様子】



【左】観察場所の現地にて 【右】へびを見ている

【行事名】 前山川の小さな生き物を見よう

【日時】 2008年7月13日(日) 9:30~11:30
 【場所】 常滑市前山川(乗田橋付近)
 【天気】 晴れ
 【担当】 齊上、榊原(靖)
 【参加者】 大人 14名 子供 27名 会員7名 合計48名
 (会員:榊原(靖) 平松 浅井 南川 齊上 牧野 中井(三) 門脇)

【内容】

常滑市青海公民館Pに9時半集合。すごく暑い日。昨日より35度以上の猛暑でした。挨拶、注意事項の説明後、車に分乗して前山川(乗田橋付近)の観察場所に移動。10時前川に入った。子供たちから“冷たい” “気持ちいい”と歓声が上がった。中には海水パンツの子供もいた。

前山川の観察は昨年雨天中止で2年ぶりの観察会であった。川の周りはノイバラなどが生い茂り、一週間前の下見時に会員たちで下草を刈り川へ入り易くした。10時40分頃には川からあがり、皆で集めた生き物は一つずつ丁寧に説明を受けた。

子供たちは榊原(靖)指導員の周りに集まり、ミニ水族館のように示されたケース中の魚を見て、“オー”と声を上げた。とても見易く工夫されていた。生き物の種類によって川に汚れ具合を教わった。11時過ぎ、生き物を川に戻し、公民館Pで解散。

18年(7月15日)の観察会より種類、数共に少なくなっていた。ハグロトンボは沢山観ることが出来た。(記・中井(三))

【観察した生き物】

◎魚

スズキ、ボラ、マハゼ、ウナギ、タモロコ、ヌマチチブ、ウキゴリ

◎節足動物

テナガエビ ミゾレヌマエビ アメリカザリガニ クロベンケイガニ カニ(名前?) モクズガニ
 ハグロトンボの幼虫(ヤゴ) トビケラ的一种 アカムシの一種 ガガンボの幼虫 ミズムシ

◎貝

シジミ(タイワンシジミ?)

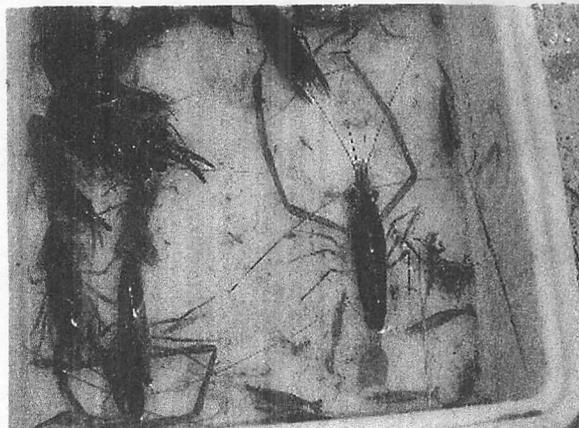
【観察会の様子】



【左】 本日の予定をお話しています。



【右】 生き物がたくさん採れました。



【左】 エビ類のテナガ、ヌマエビ、ザリガニが入っています。



【右】 どんなんものが採集できたか

**【行事名】「秋の実りを見つけよう」工作も！
常滑市生涯学習「わくわく体験教室」**

【日時】 2008年11月9日(日)9:30～11:40

【場所】 常滑市大曾公園グリーンスポーツセンター

【天気】 くもり

【担当】 中井(三)、仙田

【参加者】 33名 (大人21名 子供12名)

(会員:中井(三)、仙田、浅井、大野、加藤、門脇、竹内秀、蔦谷、原、降幡、古川、牧野、森田、吉川、吉房)

【内容】

早朝小雨で、開始前には曇り、肌寒い日になった。9時半公園管理棟の集合。挨拶、注意の後、観察をしながら芝生広場に向かった。どんぐり、赤や黄色の落ち葉、枯れ枝をひろった。昨年より紅葉は少し遅い。(去年は23日開催)自分たちで拾った小枝やどんぐりを利用して工作が始まった。リースを作ったり、どんぐりに顔を書いたり思い思いの作品が出来た。流木や貝を台にして、ハゼやカニクサを利用してコケ玉を作った親子も多かった。11時40分作品を前に記念写真を撮り解散。常滑市生涯学習課募集の「わくわく体験隊」の参加者13名。(記・中井(三))

【観察会の様子】



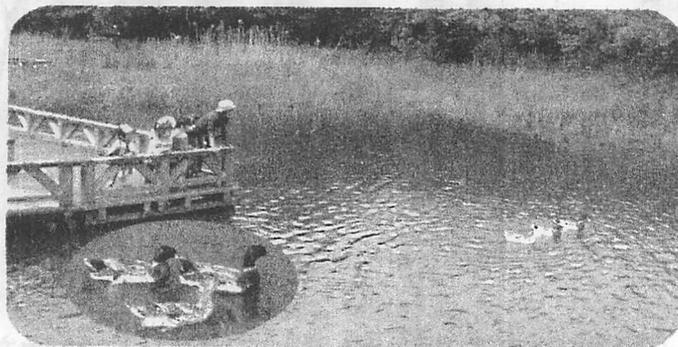
【左】本日の予定と諸注意を聞きました。 **【右】**自然物を探しています。



【左】どんな作品を作るか考えています。 **【右】**ハンテンボクについてお話をしています。

武豊支部

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	4	20	日	募集	昆虫 野舎	武豊	「春の野の花と虫さんたちに会いに行こう」 あればタモ、虫かご、持参	武豊町自然公園P 9:30	鈴木(0569-72-1393) 古川
08	5	18	日	募集	全般	武豊	「初夏の草花と花木を訪れる生きものを見よう」 あればタモ、虫かご持参	長成池公園P 9:30	原(0569-72-2377) 畠
08	7	6	日	募集	川・ 池	武豊	「新川の生きものを見よう」サンダル禁止。 川に入れる服装で。あればタモ、バケツ	武豊福寿園西方へ200 m新川沿い 9:30	原(0569-72-2377) 金 内
08	9	13	土	募集	全般	武豊	「木の実・花・虫ウォッチングで秋をいっぱい 感じよう」あればタモ、虫かご持参	武豊町別曾池公園P 9:30	畠(0569-73-3518) 鈴 木
08	10	25	土	募集	工作	武豊	「木の実等自然の恵みを使って工作しよう」 (自然公園入り口)	武豊町老人福祉セン ター前 9:30	鈴木樹(0569-72- 1393) 原
08	11	22	土	募集	野鳥	武豊	「タカと里に帰ってきた渡り鳥を見よう」あ れば双眼鏡、持参	名市武豊野外活動セ ンタ前中央道下 9:30	古川(0569-73-6078) 畠
09	2	1	日	募集	野鳥	武豊	「ミサゴやユリカモメ千鳥たちの海鳥を見よ う」あれば双眼鏡、持参	名鉄河和口駅前海岸 P 9:30	古川(0569-73-6078) 鈴木



<担当者のコメント>

野山、田園の中、公園などに出て遊ぶ、いわば自然に交わることが極端に少なくなった子どもたちに、恰好の「機会提供の場」となっていると思う。

素人、あるいは子どもならではの新しい発見があり、魚の捕り方や自然物の不思議な造形や面白さが伝承でき、ふれあいと共に教える喜びと知る喜びが生まれる。回を重ねるごとに誘い合ってより多くの方に参加いただけるよう努めていきたい。

【行事名】 新川の生き物を見よう

【日時】 2008年7月6日(日) 9:30~11:00

【場所】 武豊町富貴 新川

【天気】 晴れ

【担当】 原 穰・金内 力

【参加者】 36名

(会員： 原 穰・金内 力・畠 烈・田中 央・浅井一光・斎上伸一)

【内容】

当日の天気は快晴、集合時間の15分ほど前に現地に出れば、現地前の田んぼの持ち主が草刈りの真最中で、「今日9時半から、ここで親子の魚捕りをやるんですが」と言えば、「すぐ済むからいいよ」と。

集合時間近くになると、タモ、バケツを持った親子さんがぞくぞく集まった。

参加者がそろったかなと思われたころ参加者の皆さんに、事前調査した金内氏の資料を見せ、採集の重点場所、タモ網の使い方などを説明。三面張りで2・5mほどの壁面に脚立設置と川岸の雑草刈りなどは畠氏が完璧に。参加者の親子さん達は川に入り採集開始。

しばし、採集の様子を眺めた後、例によって例のごとく、この道55年のハラジョウがまかり出る。タモ網を入れれば早速、「きれいなタナゴがいましたよー」の声に「わー、欲しい欲しい」の声。一人のお父さんは「何処でどうすれば？」と。早速、実技で披露すれば、またタナゴ。にっこり顔のお父さんは、タモ網片手にザブザブ。「いました、いました！」と満足の笑み。時を同じくして田中央氏が「ウナギがいたー」の声。見れば、長さ50cmほどの大ウナギ。金内氏は一人こつこつと獲物をビニール袋へ。

採集時間は、およそ50分。岸辺に上がって金内氏の選り分けた川の生き物の説明開始。見れば田んぼの持ち主さんも参加者の中に。今年はカワムツ、ワカサギ、ヌマエビなどが新加入の種類であった。説明後、皆さんとの雑談、そしてダラダラの汗を拭きながら、満足げな笑顔に、われわれも大満足の日であった。(記・原 穰)

【観察した生き物】

◎魚類

ウナギ、ワカサギ、カワムツ、マドジョウ、カダヤシ、オオクチバス、ヨシノボリ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ

◎エビ、カニ類

アメリカザリガニ、テナガエビ、モクスガニ、ヌマエビ

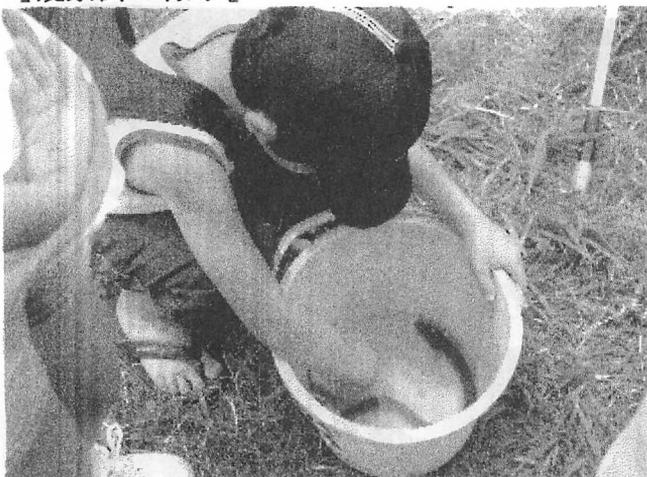
◎昆虫類

シオカラトンボ、コオイムシ、マツモムシ、アメンボウ、ハグロトンボ(ヤゴと成虫)

◎貝類

タガイ、ヤマトシジミ、カワニナ、タニシ、イシマキガイ、サカマキガイ、ヒメモノアラガイ

【観察会の様子】



【左】捕れた50cmのウナギ 【右】アマガエルも居たよ

【行事名】 木の実・花・虫ウォッチングで秋をいっぱい感じよう

【日時】 2008年9月13日(土) 9:30~11:50

【場所】 武豊町 別曾池公園周辺

【天気】 曇りのち晴れ(後半は真夏日)

【担当】 畠・鈴木

【参加者】 22名

(会員: 畠・鈴木樹・原・榊原正)

【内容】

きょうは親子での参加6組16人がメイン。それに大人の参加2人と指導員4人の22人。まずはコースと注意事項の伝達。つづいて「スクミリング貝」について、貝と卵塊の写真を見せながら「側溝や稲田で見たことはないか」と問い合わせた。結果はなし。9:45出発。

斜面いっぱいに咲いたピンクのヌスビトハギ、甘い香りと赤紫のハデな色で誘うクズの花、それらを説明しながら進むと大きなクモの巣。ここで原先生、「巣の真中でデーンと構えた大きいのがめすで、おすは小さく隅っこにいる。まるでわが家と同じかあ天下」とユーモアたっぷりに説明。みなさん大笑い。

先を行く子供たちがハンミョウをみつけた。既に死んでいたが青赤緑のきれいな色はそのままだ。ここ何年か出会っていないだけに感激。

鈴木さんがススキの根元を指している。みな駆け寄った。マドロスパイプを逆さに立てたようなものが地面から突き出ている。花?そう、ナンバンギセル。初めてみる人が多く、興味津々。

榊原先生の「松の木は1年で一節伸びるので枝の段数で生育年がわかる。この松は7年」という説明や、ウラジロを使って「跳ね馬」、槇の葉で「手裏剣」笹の葉で「笹舟」を作ったりの多彩な内容で、みなさん「きょうは収穫が多かった」と満足の声が上がった観察会でした。(畠 記)

【観察した生き物】

◎植物

クズ、ヤマハギ、アキノノゲシ、アレチヌスビトハギ、サルスベリ、ヒヨドリバナ、センニンソウ、ヘクソカズラ、クサキ、ヤマノイモ、マツヨイグサ、ヤハズソウ、ミソハギ、ノアズキ、シマスズメノヒエ、ハイメドハギ、メドハギ、ウド、ヨウシュヤマゴボウ、キツネノマゴ、タカサブロウ、ヒナタイノコズチ、ママコノシリヌグイ、ツルマメ、ナンバンギセル、ミツバアケビ(実)、オオバヤシャブシ、ゴンズイ、コゴメカヤツリ

◎昆虫他

オオカマキリ、クマバチ、アオバハゴロモ、ハンミョウ、コアオハナムグリ、コムシジ、ナガサキアゲハ、キチョウ、アキアカネ、ノシメトンボ、オンブバッタ、ショウリウバッタ、ヒシバッタ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ、カナヘビ。

【観察会の様子】



【左】スクミリングガイのお話し 【右】「EM菌ダンゴの不思議」のお話し

【行事名】 木の実等自然の恵みを使って工作しよう

【日時】 2008年10月25日(土) 9:30~12:00

【場所】 武豊町 自然公園入り口 武豊町老人福祉センター前

【天気】 晴れ

【担当】 鈴木樹・原

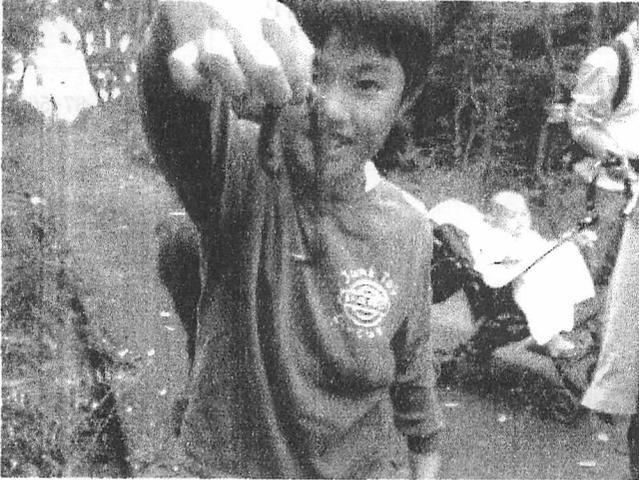
【参加者】 一般：12名 (会員：畠・鈴木樹・原・森田博・榊原正)

【内容】

自然公園内のコースを自然観察しながら、工作の材料も集めました。途中出会ったヘビは観察しやすい場所だったためゆっくり観察できました。ヒバカリには触れたりしてヒバカリと交流を深めました。ヒバカリは大迷惑だったでしょうが…(^_^;)

また、天気に恵まれ予定通り外で工作ができました。電源と長机は老人福祉センターからご協力いただきました。

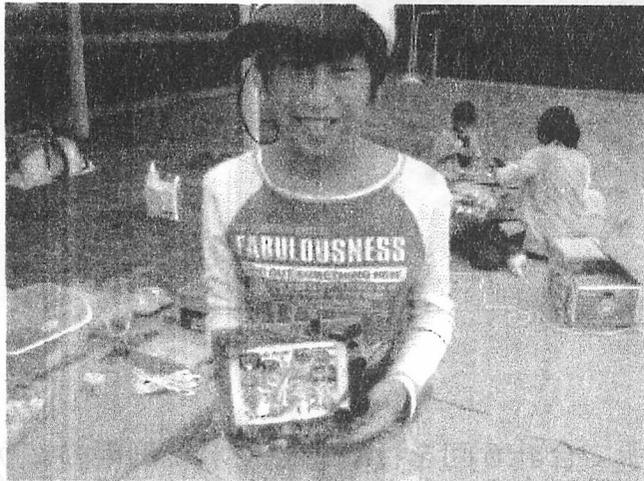
【観察会の様子】



【左】大黒ミミズをゲット



【右】アオダイショウ



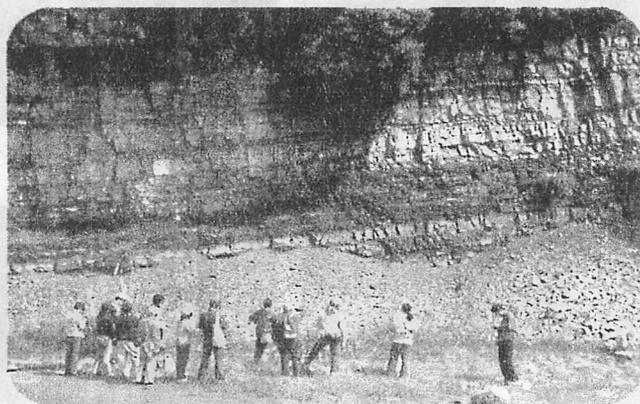
【左】写真立てを作ったよ



【右】はいっ！チーズ

美浜・南知多支部

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合せ先
08	5	24	土	募集	昆虫 を含む	南	「山で発見 ヒメボタル」懐中電灯持参。サンダル禁止	美浜町時志観音 P 21:30	池田 (0569-82-3506) 百合草
08	6	21	土	募集	海の 生物	南	「海辺の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町富具崎港 P 9:30	森田 (0569-87-0725) 永田
08	7	19	土	募集	海の 生物	南	「干潟の生き物」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。あれば双眼鏡持参。	美浜町奥田農協 P 10:00	森田 (0569-87-0725) 永田
08	9	6	土	募集	川・ 池	南	「布土川の生き物観察」タモ、バケツ持参。サンダル禁止。	美浜町布土公民館 P 9:30	斉藤 (0569-82-3922) 永田
09	2	22	日	募集	地質	南	「地層、岩石、調べ・化石探し」ハンマー、タガネ、軍手、バケツ、スコップ持参	南知多体育館 P 9:30	河原 (0569-82-2307) 永田
09	3	7	土	募集	野鳥	南	「冬鳥と旅鳥・カワウの子育観察」双眼鏡、持参	美浜町体育館正面 玄関 9:30	岩井 (0569-87-5661) 永田



<担当者のコメント>

2008年の観察会は昨年と同様の場所で合計6回を行いました。例年のように参加者のみなさんと多くの生き物たちと触れ合うことができましたし、河原指導員と木下先生（大野小）による岩石と化石の観察や、岩井指導員の案内による鶺鴒の子育て観察など、内容の面での充実も図られてとても良かったと思います。

ただ、例年多くの参加者がある、南知多での化石採集の日の寒さ、時志観音でのヒメボタル観察会の日の雨、富具崎での磯観察の日の集合時間までの雨など、天候に恵まれない1年であった印象も強く、参加者が全体的に少なかったのは残念でした。

【行事名】 「南知多の地質・岩石を調べ化石を探そう」

【日時】 2008年2月24日(日) 9:30~11:40

【場所】 南知多体育館西方域 (R280を通り、食処・潮蔵横)

【天気】 晴れ(強い冬型の気圧配置で風強し)

【担当】 河原佑郎、永田孝 《大野小教諭・木下先生も招聘》

【参加者】 大人14名、子供8名

(会員：河原、永田、降幡、森田、百合草、浅井、桑原、大嶋、山田和、大矢美、小川)

【内容】

明方の降雪にも拘わらず体育館前に参加者集合、会員含め全員が記名、保険料収納を終え本日の目的地、注意点の説明を受け出発しました。目的地に辿り着くと高さ40mは優にある聳え立つ露頭を目前に先ず地質の説明を受け、皆で地層を造っている岩石3種の鑑定。ここ師崎層群が泥岩、砂岩及び凝灰岩の地層であることを学びました。次に化石採集です。今から1600万年前(新生代第三紀中新世)に海底に積もった地層からはキララガイやクルミガイ等の貝、タヌキブンブクなどのウニ類やヒトデの化石を採集、親子皆満足気な表情でした。採集した化石の保存法(ボンド補修。ニス塗り・ケース格納)、地層の生立ち等有益な纏めを聴き強風の中、春の兆しを感じる陽を浴びて解散しました(小川/記)。

【観察した生き物】

◎調べた地層・岩石

泥岩、砂岩、凝灰岩で構成されている師崎層群の実体観照とその特徴観察。

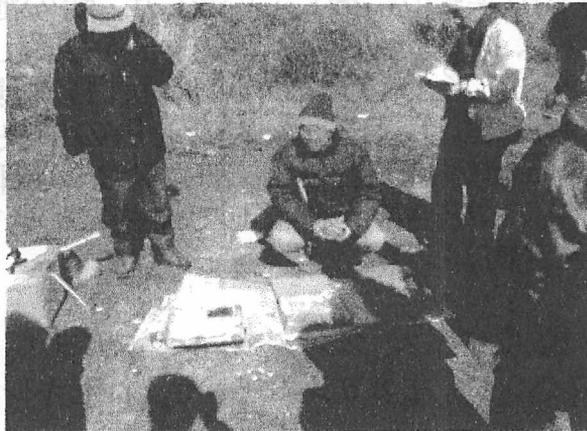
◎見つけた化石

キララガイ、ノジュール(砂岩中の石灰質)で固められたスナモグリ、タヌキブンブク(ウニの仲間)、スナモグリ(甲殻類)、クルミガイ、キリガイダマシの仲間、タテイワツキヒガイ、二枚貝{及び巣の痕跡(サンドパイプ)も一緒に}、ヒトデその他木片、葉っぱの破片の化石多数。

【観察会の様子】



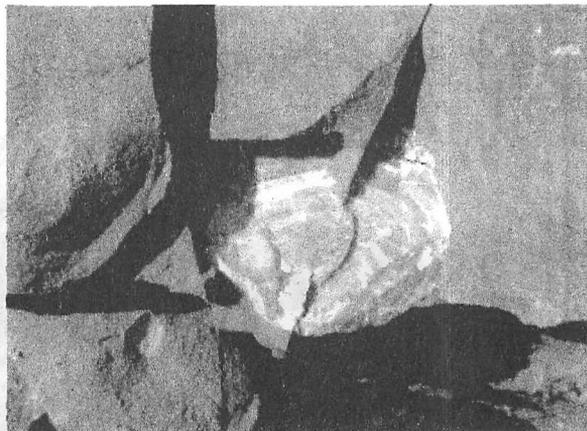
【左】南知多の地質についてのお話



【右】南知多で見られる化石のお話



【左】化石の取り出し



【右】キララガイ

【観察会続き】

【行事名】 冬鳥と旅鳥・カワウの子育観察

【日時】 2008年3月29日(土) 9:30～12:00

【場所】 美浜町鵜の池周辺(国指定天然記念物)

【天気】 晴れ時々曇り

【担当】 岩井、永田

【参加者】 一般 大人7人、子供2人

(会員:岩井、永田、森田、河原、神野、池田、古川、牧野)

【内容】

美浜町体育館から鵜の池までの往復をゆっくり2時間半かけて歩き、カワウの子育ての様子を中心に周囲の自然を観察して歩きました。最初に遠くからカワウの営巣の様子を観察しました。ここでは巣をかけているスギの木が真っ白に染まっている様子や、近くで鳴いていたケリの擬傷行動(親鳥が傷を負っているような行動を取り、天敵の注意を引くことで巣を守る行動)が観察できました。巣の近くまでまわり込んでいくと、巣の中にふさふさの羽毛をまとったカワウのヒナたちを見ることができました。近くの木々には巣の中の卵を狙うハシブトガラスたちが集っていたので、カワウたちを驚かしたりして巣を空にさせることがないように注意深く観察しました。鵜の池までの道では、セリやワラビをつみにきている人たちの姿に刺激を受け、参加者も山菜採りに興じていました。鵜の池に着き、改修され立派になった展望台に登って、池に浮かぶカモの様子を観察していると、数羽のハシビロガモが円陣を組み、集団でぐるぐる回っている面白い行動が見られました。ある説によるとこの行動は、渦を起こしてプランクトンを円の中央に集め、効率よく摂食するための行動であるとのこと。最後に以前カワセミが餌付けされていたという池の岸のポイントで、ピーという鳴き声を確認して帰路につきました。(記・永田)

【観察した生き物】

◎鳥

カワウ、ケリ、ウグイス、スズメ、ハシブトガラス、ホシハジロ、マガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、オカヨシガモ、セグロセキレイ、カワセミ

◎植物

セリ、ヨモギ、ワラビ、ナズナ、カラシナ、クサボケ、ミツバアケビ

◎その他

ナナホシテントウ、モンシロチョウ、アマガエル、シュレーゲルアオガエル

【観察会の様子】



【左】カワウの巣を見えています。【右】巣の中にヒナが座っています。

【行事名】 海辺の生き物観察・あいちの自然観察会
(愛知県自然観察指導員連絡協議会)

【日時】 2008年6月21日(土) 9:30~12:00

【場所】 美浜町野間富具崎

【天気】 雨⇒うすぐもり

【担当】 森田博、永田

【参加者】 16名

(会員：森田博、永田、大嶋、中井康、降幡、森田琢、浅井(名古屋支部))

【内容】
朝からの雨。観察会開始の直前に何とか雨もあがって中止は免れましたが、雨に出鼻をくじかれ、参加者の数は例年になく少ないものでした。雨を心配しながらも何組かの家族がみえて、磯での生物とのふれあいをみなさんと楽しむことができました。今回の観察会ではいつも見られるものに加えて、縞模様がきれいな南方系の魚「カゴカキダイ」の幼魚を観察することができました。(記・永田)

【観察した生き物】

◎魚類

イソギンポ、コモンイトギンポ、アゴハゼ、アナハゼ、キヌカジカ、カゴカキダイ、メジナ、メバル、ナベカ、クジメ

◎甲殻類

イシガニ、イワガニ、イソガニ、ケアシホンヤドカリ、モエビの仲間、スジエビの仲間

◎軟体動物

ウノアシ、ヒザラガイ、ベッコウガサ、ヨメガカサ、カラマツガイ、キクノハナガイ、マガキ、ナミマガシワ、シマメノウフネガイ、シオフキ、ムラサキイガイ、ミドリイガイ、クチベニガイ、アコヤガイ、コベルトフネガイ、ウチムラサキ、サルボウ、メダカラ、スガイ、レイシ、イボニシ、イボニシの卵塊、サザエ、ツメタガイ、イカの甲

◎その他

ミズクラゲ、タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャク、フクロムシ、イワフジツボ、クロフジツボ、カメノテ、ヤッコカンザシ、ゴカイの仲間、タマシキゴカイの卵、クロイソカイメン、ダイダイイソカイメン、イソヘラムシ、シロボヤ、クモヒトデの仲間

◎海藻

ワカメ、アナアオサ、タンバノリ、ハネモ

◎植物

ハマダイコン、コウボウシバ、ツルナ、ハマウド、ハマボッス、トベラ

【観察会の様子】



【左】開始前は激しい雨でした。 【右】タイドプールは水族館、いや逆です。

お手伝い・受託

実施日	テーマ or 行事名	主催
2008. 10. 26	日本福祉大学生涯学習フェスティバル	日本福祉大学半田キャンパス
2008. 10. 21	面の木で野外学習会	名古屋市立津賀田中学校
2008. 10. 18	知多地域みどりの少年団交歓会	愛知県農林事務所・半田市
2008. 10. 15	秋の草木の観察-教員研修-	常滑市小学校生活科部会
2008. 9. 5	平地川を知る会	半田市乙川東小学校-3, 4年生-
2008. 8. 20	新任教員の自然体験研修-中学校の部-	愛知県教育委員会
2008. 8. 19	干潟の野鳥を見に行こう	阿久比町中央公民館
2008. 8. 17	野崎川の生き物を観察しよう	知多市寺本台子供会・自治会
2008. 8. 8	殿越川の生き物を観察しよう	阿久比中央公民館夏休み子供教室
2008. 8. 2	学校の周りの生き物を観察しよう	半田市板山小学校PTA
2008. 8. 1	干潟の生き物観察をしよう	阿久比中央公民館夏休み子供教室
2008. 7. 29	海辺の生き物に親しもう	カトリック岡崎教会
2008. 7. 28	植物標本作り	阿久比中央公民館夏休み子供教室
2008. 7. 23	新任教員の自然体験研修-小学校の部-	愛知県教育委員会
2008. 7. 19	信濃川の生き物を観察しよう	知多市子育ての会
2008. 7. 11	ナイトハイクで夜活動する生き物を見よう	知多市地域文化センター
2008. 7. 8	海辺の生き物を観察しよう	岐阜県山県市乾小学校
2008. 7. 5	ホテルを観察しよう	知多市寺本台自治会
2008. 7. 3	海に親しむ会	南知多町師崎小学校
2008. 6. 20	磯の生物観察会	名古屋市瑞陵高校
2008. 6. 19	面の木で野外学習会	名古屋市日比野中学校
2008. 6. 14	親子で楽しむ海辺の自然学校	日本福祉大学生涯学習講座
2008. 5. 24	フナビオとふれあう会	東海市船島小学校
2008. 5. 21	海の観察会	南知多町内海小学校と親睦観察会
2008. 5. 1	緑の中で遊ぼう会	常滑市三和小学校
2008. 4. 26	春の野草と虫さんに会いに行こう	知多市地域文化センター
2008. 4. 20	東海市エコスクール開校式	東海市
2008. 3. 23	春にどんな鳥が飛来してくるかな?	自然体験施設セレクトナ
2008. 3. 15	鳥について学ぼう-知多っ子体験クラブ-	知多市地域文化センター
2008. 2. 13	校庭の木を観察して冬芽を知る	知多市岡田小学校-2年生-



<担当者のコメント>

上記掲載の行事には、①ホームページを見た人からの依頼、②過去に、私どものがお手伝いした教員対象の研修会に参加された先生からの依頼、③役所、公民館から知多自然観察会を照会された方からの依頼などがあり、昨今、増えてきました。

①のものは、本年度では高等学校、小学校、カトリック教会などがあり、知多半島外からが多く、海辺の生き物観察が中心です。②は半島内の学校であり、直接、学校に赴き、自然観察を中心にネイチャーゲームなどを使って自然に触れ合います。海辺に近い学校は海辺の生き物観察です。③は子ども会、子育ての会、地域おこしの会で近くの川の生き物観察が中心です。

【行事名】 春を見つけよう（もうすぐ2年生・岡田小）
木を観察して冬実について知る

【日時】 2008年2月13日（水） 9:30～11:40

【場所】 知多市立岡田小学校

【天気】 晴れ

【対象】 1年生 110名

（会員：岩崎、桑原、蔦谷、中井康、原、降幡、森田、吉房、山田

絹）

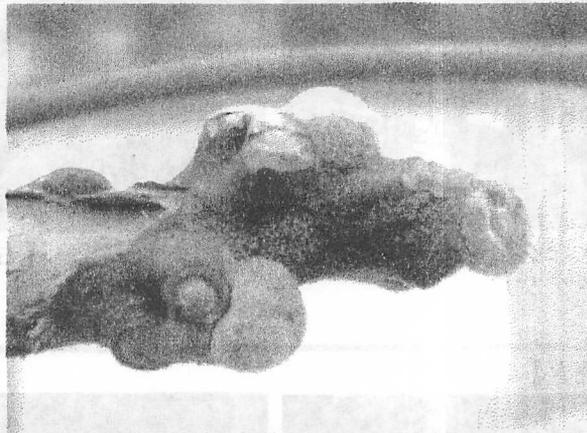
【内容】

「はるの準備をしている、友だちの木の冬芽を観察しよう」という学習課題で、1年生が9グループに分かれて、校庭の「ぼくの木」「わたしの木」（ソメイヨシノ、クスノキ、センダン、イロハモミジ、メタセコイア、ドウダンツツジ、モクレン、クロガネモチ、サルスベリ、ヤマモモ等）の冬芽を観察しました。「堅くて尖っている。」「私の洋服みたいにふわしている。」「ぼくたちみたいに沢山洋服を着てるね。」「春、夏、秋より木が大きくなったね。」というつぶやきと共に、あっという間の1時間でした。春、夏、秋と、観察を継続しているので、敏感に変化を捉えていました。教室に帰り、早速記録用紙に気づいたことを絵に描き、説明を加えていました。（記・吉房）

【観察会の様子】



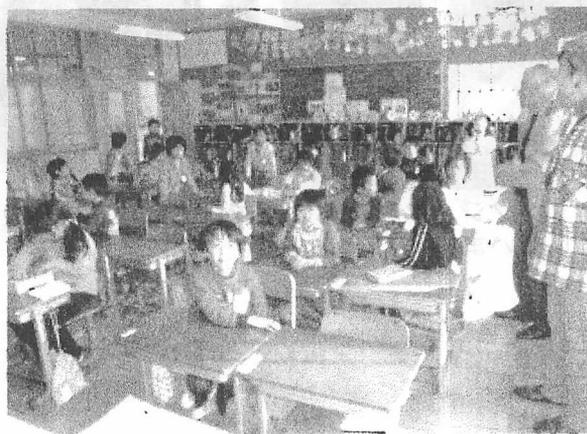
【左】 いい子で説明を聞いています。



【右】 センダン



【左】 サクラを見に移動します。



【右】 教室へ入ってまとめ

【行事名】 緑の中で遊ぼう会

【日時】 2008年5月1日(木) 10:25~11:20

【場所】 常滑市三和小学校 三和っ子ランド、運動場

【天気】 晴れ

【参加者】 児童227名と職員

(会員：岩崎、桑原、榊原正、竹内匡、森田、中井三、原、平松俊、降幡、森田博、吉房)

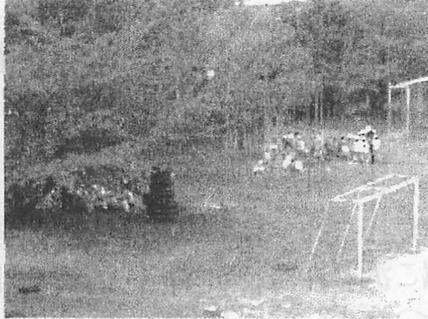
【内容】

クラスごとに指導員が1名ずつ付いて、学年に合った活動に取り組みました。三和小学校には広い山地があり、散策路や遊具が整備されていますが、低学年では運動場だけで活動しました。緑が一杯ありましたので題材に困ることはありませんでした。以下に、当日の様子を紹介します。

【観察会の様子】



【左】ネイチャーゲームのルールを確認しています。



【右】学年別にお気に入りの場所で活動しました。

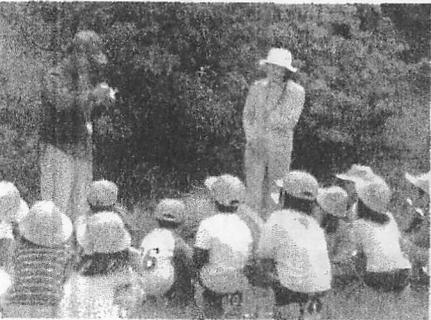


【左】大きなクスノキのお話を聞いています。



【右】ジャコウアゲハが来ていました。(食草はウマノスズクサ)

【観察会続き】



【左】ヒラドツツジとタンポポの花で、素敵な花の作り方を説明しています。



【右】昆虫のいる場所を説明しています。

【行事名】 山海小学校「海の観察会」

【日時】 2008年5月21日(水) 11:00～12:30

【場所】 南知多町山海海岸・大泊

【天気】 晴れ

【担当】 森田、降幡

【参加者】 80名

(会員：森田、降幡) + 愛知県水産試験場職員

【内容】

毎年恒例なっている行事で、好天の中、実施されました。地元の保護者の方も子供たちのために暖かい援助がされていました。また、町長さんや町会議員の方もこの行事に出席していただき援助していただきました。

海辺近くに住んでいる山海小学校の児童は、日ごろ海辺に遊びに来て海の生き物に親しんでいるような気がします。しかし、意外に海辺では遊んでいないみたいです。生活形態が昔とは違い、習い事や室内ゲームなどに時間が使われ、海辺に出て遊ぶ時間がないみたいです。今の子供たちは、保護者が積極的に海に出ないと海辺の生物に触れ合う機会がないみたいです。そんなことから今回の行事は、子供たちが自然に親しみ、地元の身近な自然を知り、自然を守る心を育てるのによい計画であったと思います。このような行事が、知多地方の海辺に近いところに生活する子供たちに広がることを希望しています。

今回、皆さんが楽しく海辺の生き物を観察した様子と生き物の一部を写真で掲示します。観察した時を思い出しながら画像を見て楽しんでください。(記・降幡)

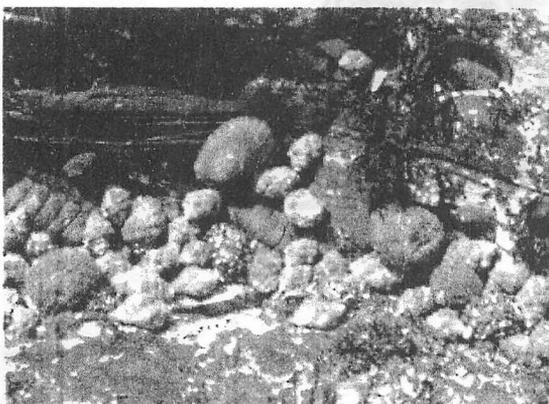
【観察会の様子】



【左】 開会式、内海小からも親睦参加す。



【右】 春はたくさんの藻類が漂着します。



【行事名】 船島小学校「フナビオとふれあう会」

【日時】 2008年5月24日(土) 9:30～12:00

【場所】 東海市船島小学校

【天気】 うすぐもり

【担当】 東海市会員

【参加者】 名

(会員：岩崎、榊原正、榊原靖、竹内秀、原、平松俊、降幡、山田絹、吉川洋、吉房)

【内容】

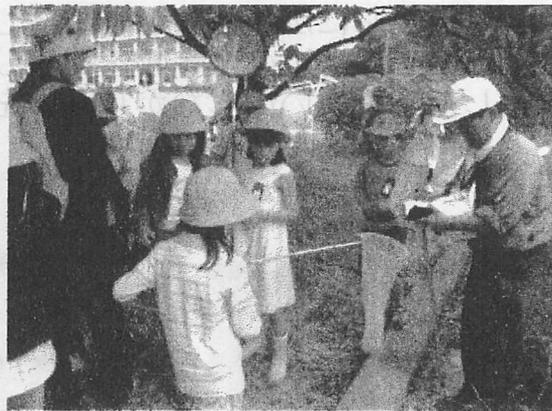
校内に設置されたビオトープを中心に生き物を観察して自然の大切さを学ぶために次のような内容で行事が行われました。

- ・1年生 ネイチャーゲーム・自然物を使った工作
- ・2年生 生き物の名前調べ・生き物の絵手紙
- ・3年生 陸生生物の観察
- ・4年生 水生生物の観察・野鳥観察
- ・5年生 水路の生き物観察・田植え
- ・6年生 水質調査・小川の浄化を考える

【観察会の様子】



【左】水路のカエルの種類を調べています。



【右】確認した昆虫をメモしましょう。



【左】ザリガニのお母さんを観察しています。



【右】毛虫に触ってみてください。

【観察会続き】

【行事名】 磯の生物観察会 (瑞穂高校)

【日時】 2008年6月20日(金) 9:30~12:30

【場所】 南知多町豊浜荒磯松海岸

【天気】 くもり

【参加者】 40名

(会員：柳原正、中井康、降幡、森田)

【内容】

昨年同様雨でした。今年も雨が心配されましたがくもりから薄日がさすような天気になりました。干潮時間が12:57で、観察を開始したときは随分潮が高かったが大潮で潮の動きが早く瞬間に陸が広がりました。

簡単な注意の後、採集を開始しました。生徒たちは熱心に観察を行い、数多くの生き物を採集してくれました。採集したものは生き物の仲間別に分け、最後に採集した生き物の解説をして終了しました。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎海藻

イシゲ、ワカメ、ヒジキ、ホンダワラの仲間、ウミトラノオ、タンバノリ、オゴノリ、ピリヒバ、アナアオサ、

◎種子植物

アマモ (別名・リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ)

◎海綿動物

クロイソカイメン、ダイダイイソカイメン

◎環形動物

ミズヒキゴカイ、ヤッコカンザシ、ゴカイの仲間

◎軟体動物

ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ウスヒザラガイ、ヤスリヒザラガイ、オトメガサ、ヨメガサ、マツバガイ、ウノアシ、トコブシ、イシダタミ、コシダカガンガラ、スガイ、アラレタマキビ、タマキビ、イボニシ、オオヘビガイ、ムラサキイガイ、ナミマガシワ、マガキ、ウチムラサキ、アサリ、カモメガイ、キクノハナガイ、マダコ

◎節足動物

カメノテ、イワフジツボ、クロフジツボ、フナムシ、ワレカラの仲間、ホンヤドカリ、イシガニ、イワガニ、イソガニ、ヒライソガニ

◎棘皮動物

クモヒトデの仲間、イトマキヒトデ、ヤツデヒトデ、バフンウニ、サンショウウニ、ムラサキウニ、マナマコ

◎魚

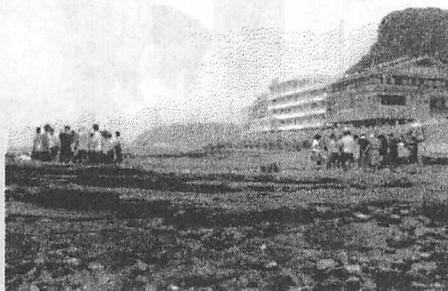
ナベカ、ヘビギンポ、ダイナンギンポ、アゴハゼ、メジナの稚魚、キヌカジカ、クサフグ、イダテンギンポ、コウライヨロイメバル

◎その他

【観察会の様子】



【左】 まず、観察の要点と諸注意。



【右】 2班分かれて観察。

【行事名】 「海に親しむ会」 師崎小学校

【日時】 2008年7月3日(木) 10:30~12:00

【場所】 南知多町師崎羽豆岬

【天気】 くもり

【参加者】 120名

(会員：榊原正、原、降幡、森田)

【内容】

昨年引き続き、海辺の生き物に親しみ、生き物について学び、郷土のすばらしい自然を知って自然を大切にすることを目的に実施されました。

6月3日に予定をしていた行事が悪天候のため引き伸ばされました。延期された本日も開始時間に小雨が降っていました。次第に小降りになり、磯に出て観察する時間には雨が上がって暑くも無く、寒くもない快適な気候になりました。楽しく気持ちがいい海辺の生物の観察が出来ました。(記・降幡)

【観察した生き物】

※下段の掲載写真を参照

【観察会の様子】



【左】 グループごとに磯に下りました。

【右】 足元に注意をしながら下

りました。



【左】 早速タモに魚が入りました。

【右】 しおだまりは水族館みたい。

【観察会続き】

【行事名】 海辺の生き物に親しもう (カトリック岡崎教会)

【日時】 2008年7月29日(火) 9:30~11:40

【場所】 美浜町富具崎海岸

【天気】 うす曇

【参加者】 20名

(会員：森田、降幡、榊原正)

【内容】

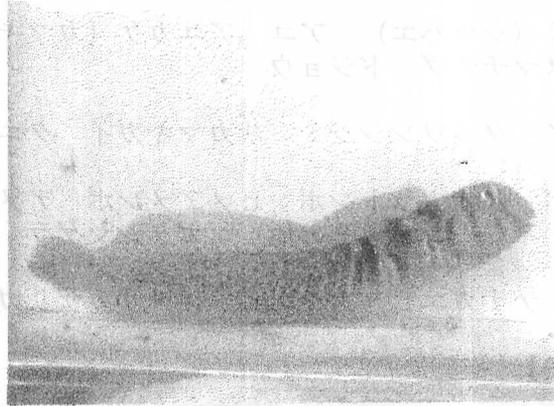
岡崎市から知多半島の伊勢湾に面した海岸に来ていただきました。岡崎市に近い三河湾の蒲郡付近の生き物とは少し違ったものが見えたでしょうか？ 私たちは知多の海しか知りませんので興味があるところです。一度、三河湾の蒲郡辺りに行ってみたいと思います。

親子連れで参加され家族の皆さん、楽しい観察が出来たみたいです。参加した子供の中に、随分海辺の生き物に興味を持った子がいてガイドした方も楽しく過ごすことができました。

【観察会の様子】



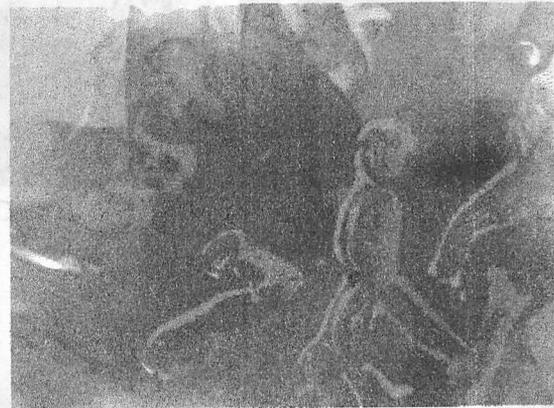
【左】 観察のガイドと諸注意の仲間です。



【右】 ナベカというかわいい魚で、ギンポの



【左】 左、貝殻が8枚のヒザラガイと右がヨロイイソギンチャク。焼きソバのフリカケに利用されるアナアオサ。



【右】 焼

【観察会続き】

【行事名】 野崎川の生き物観察会（寺本台子供会・自治会）
みんなで守ろう地球のみどり（農地保全・環境対策事業）

【日時】 2008年8月17日（日） 10:15～12:10

【場所】 知多市野崎川

【天気】 晴れ

【担当】 大野耕也 金内力 山本辰巳 吉房瞳

【参加者】 大人9名 子供10名

（会員：大野耕 金内 山本辰 吉房 浅井 門脇 田中 榊原正 榊原靖 降幡）

【内容】

寺本台の子供会の観察会です。猛暑でしかも北京オリンピックの放送たけなわの時に集まった。参加者はさすがやる気満々。タモとバケツをもって元気に川の生き物探しに夢中です。生き物の種類も豊富で、「参加して良かった。」という声にほっとしました。時々くもり、川に沿って気持ちの良い風が通り、暑さを忘れそうです。子ども会の方がブルーシートを川の上に張ってくださったので生き物が暑さで死亡すること無く、分かち合いすることができました。（記・吉房）

【観察した生き物】

◎カエル・カメ

トノサマガエル ダルマガエル ヌマガエル アマガエル ミシシッピーアカミミガメ

◎魚

オイカワ♂♀（シラハエ） アユ アユカケ（カマキリ） メダカ カダヤシ ナマズ マハゼ（ハゼ） ヌマチチブ ドジョウ

◎貝

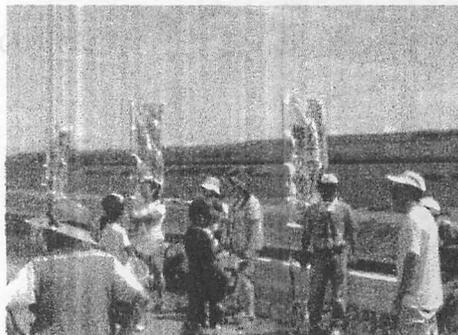
イシマキガイ タイワンシジミ サカマキガイ タニシ カワニナ

◎昆虫

ハグロトンボ シオカラトンボ ヒメアメンボ アメンボ ヒメガムシ ゲンゴロウ ヤゴ（ギンヤンマ・イトトンボ・その他）コガタシマゲラ コカゲロウ ガムシ幼虫 カゲロウの幼虫（アカムシ）

◎エビの仲間 テナガエビ ヌマエビ アメリカザリガニ

【観察会の様子】



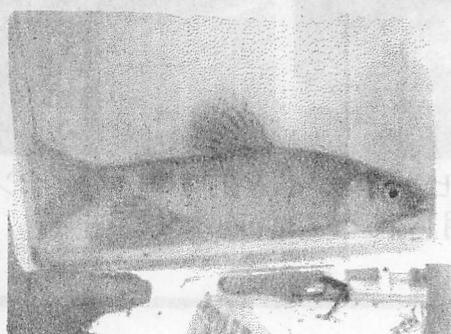
【左】「みんなで守ろう地球のみどり」の旗に集まってきました。



【右】大漁ですよ。



【左】アメリカザリガニ、左が雄。右が雌。



【右】オイカワ（シラハエ）の雄。婚姻色出ています。

【観察会続き】

【行事名】 知多地域みどりの少年団交歓会

【日時】 2008年10月18日(土) 9:30~14:00

【場所】 半田市空の科学館⇒任坊山公園⇒宮池会館

【天気】 晴れ

【担当】 半田市会員

【参加者】 200名

(会員：浅井、今西、岩崎、岩本、大橋、門脇、桑原、齊上、榊原正、榊原靖、鈴木樹、竹内秀、田中、中井康、永田、畠、原、平松俊、降幡、南川、村瀬、森田、山田和、山田絹、山田公、山本、吉川洋、吉房)

【内容】

開会式を半田空の科学館のプラネタリウムホールで行いました。学芸員の方から本日の空の様子と主な星座の解説を聞きました。併せて、星が見えないくらい電気が点されて地球温暖化しているのではないかと問いかけがありました。

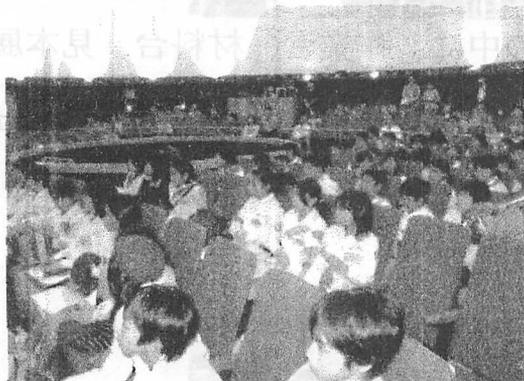
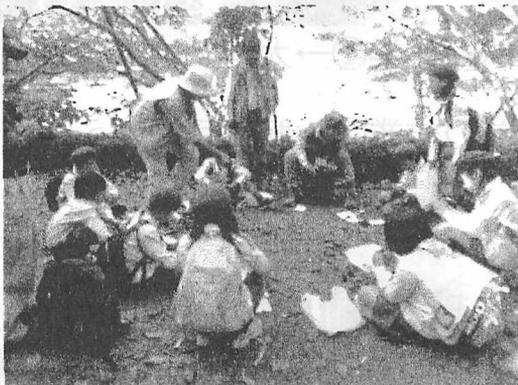
天気は上々の中、任坊山公園でネイチャーゲームと自然観察を楽しく行うことが出来ました。昼食は公園の芝生広場で食べ宮池会館に移動しました。

午後は宮池会館でクラフト作りを行いました。

日程

9:00~9:30	受付
9:30~9:45	開会式
9:45~11:40	自然観察・ネイチャーゲーム
11:40~12:15	昼食
移動	
12:30~13:50	クラフト作り
13:50~14:00	閉会式
14:00	解散

【交歓会の様子】

【左】 半田市空の科学館開会式
合い

【右】 ネイチャーゲーム、「宝さがし」の分かち



【行事名】 自然物を使って工作をしよう
日本福祉大学生涯学習フェスティバル

【日時】 2008年10月26日(土) 9:30~15:40

【場所】 日本福祉大学半田校舎

【天気】 曇り時々雨

【担当】 榊原正、竹内秀、牧野

(会員：榊原正、竹内秀、牧野、浅井、岩本、門脇、桑原、榊原靖、畠、平松裕、降幡、森田、山田和、山田絹、山本、百合草、吉房)

【内容】

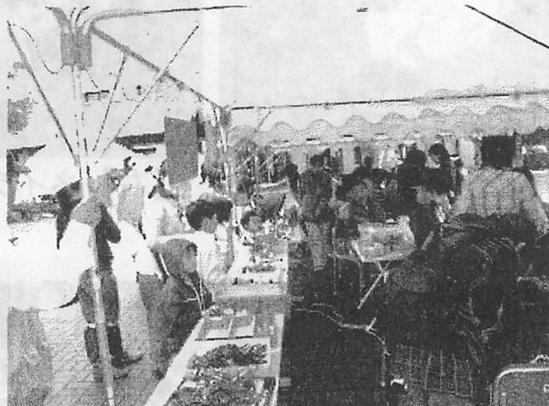
昨年は102教室と103教室の前でブースを設けることができ、知多自然観察会の活動掲示と自然物工作ができ盛会でした。今年は教育研究棟前の芝生広場で行いました。活動の様子の掲示はできませんでしたが自然物工作は盛会で時間待ちで行う時がしばらくありました。当日の天気予報は曇りでしたが霧雨が降り続きました。それでも大きな支障がなく行うことができました。(記・降幡)

【自然物工作の様子】



【左】 オープン前の作業①→大型テント2張りの中に、作業台、材料台、見本展示台等を設置

【右】 オープン前の作業②→販売目的のミニ作品づくり (トトロやマッククロクロスケなど)



【左】 9:30 からフェスティバル開始。早速の入場者にホッとします。

【右】 雨が降り始めましたが、終了時刻まで入場者は絶えることなく盛況でした。

(※他会場が早めにクローズしてしまうせいもあり…?)

【自然物工作続き】

里山クラブ

年	月	日	曜	種	部門	担当	テーマ	集合場所	担当者・問合先
08	4	13	日	受託	里山	南里	「里山ハイキング＝春の里山で山菜・栗草を探そう・自然観察路の整備弁当持参豚汁・野草料理参加費300円	名鉄野間駅前 9:30	吉田(052-932-0717) 百合草
08	5	11	日	受託	里山	南里	「初夏の里山ハイキング(秋葉山)夏野菜の植えつけ」弁当持参 山の幸・豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807) 百合草
08	6	8	日	受託	里山	南里	「トンボ池の水棲生物の観察 とれたて畑の手入れ」弁当持参 豚汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497)吉田
08	7	6	日	受託	里山	南里	「里海の体験と観察 海山鮮バーベキュー」弁当持参 参加費500円	美浜町野間義朝の森 9:00	門脇(0562-46-6807) 百合草
08	8	10	日	受託	里山	南里	「若竹で流さないソウメン」野菜サラダ竹細工(竹とんぼ ウグイス笛など)参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56-3952) 沖田
08	9	14	日	受託	里山	南里	「里山整備 竹炭焼きの準備 野菜の植えつけもぎたて畑の幸・豚汁」弁当持参参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)吉田
08	10	11	土	受託	里山	南里	「竹炭焼き(希望者宿泊可)夜の自然観察」弁当持参 参加費1000円(夕・朝食)	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964) 百合草
08	10	12	日	受託	里山	南里	「竹炭焼き第二日目、窯止め」	美浜町野間義朝の森 で続き	神野(0562-34-3964) 百合草
08	10	19	日	受託	里山	南里	「竹炭の窯出し祭」仕分けをして参加者に分配	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)榊原靖
08	11	9	日	受託	里山	南里	「義朝の路整備 自然観察ハイキング季節の野菜・ムカゴご飯 農園整備」弁当持参 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	池田(0569-82-3506) 百合草
08	12	14	日	受託	里山	南里	「山の幸と野鳥観察」義朝の森でリース作りなど弁当持参。参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	榊原靖(0569-21-3497)牧野
09	1	11	日	受託	里山	南里	「自然観察路・里山整備 七草がゆとぜんざいで新年を祝う」参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	山本(0562-56-3952) 百合草
09	2	8	日	受託	里山	南里	「史蹟の自然を訪ね、冬鳥を観察しよう」弁当持参 竹おこわに挑戦 豚汁参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	神野(0562-34-3964) 吉田
09	3	8	日	受託	里山	南里	「ジャガイモの植付け 今年の反省と来年度計画」弁当持参 薩摩汁 参加費300円	美浜町野間義朝の森 9:00	百合草(0569-82-2354)榊原靖



<担当者のコメント>

参加者は15名～35名。活動内容が多岐にわたり参加者の人数・顔ぶれも変わります。7月の里海体験はさし入れもあり、海辺のバーベキューで盛り上がりました。ほぼ毎月中日新聞に行事案内の掲載を依頼しており、名古屋など遠方からも参加者がありました。町から受託費の厳しい内容が示され、来年は試練の年になりそうです。

【行事名】 「里山ハイキング＝春の里山で山菜・薬草を探そう」

【日時】 2008年4月13日(日) 9:30～13:40

【場所】 美浜町野間内扇「義朝の森」

【天気】 曇り

【担当】 百合草、吉田

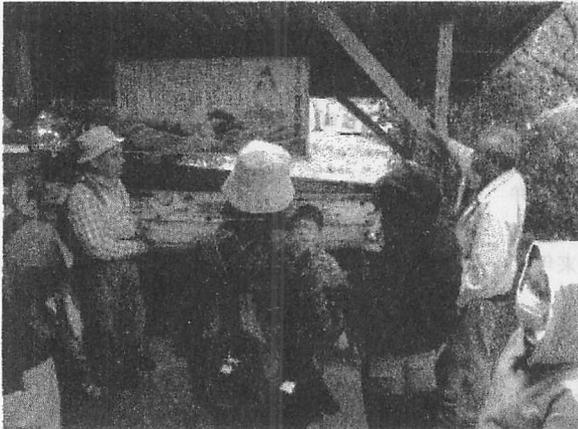
【参加者】 22名

(会員：百合草、榊原靖、山本、沖田、神野、吉田、降幡)

【内容】

9:30に野間駅に集合して観察ハイキングに出発。52番札所密蔵院を經由して義朝の森へ12時到着、途中観察をして 草花の名前やお寺で歴史の話などを聞いて 後半は地層を見ました。参加者からは 地層を生で見て良かったと言われました。昼食は、具がたくさん味噌汁、普段野菜を食べない子どもたちからお代わりをしたと感謝の言葉もいただきました。昼食後は、タケノコ掘りをして直ぐに茹でました。タケノコが茹で上がりまで、畑で草取りや鍬を使い畑を耕しました。里山農園作業後、茹で上がりのタケノコや畑の作物、シイタケをお土産に解散しました。 タケノコは皮付きで、米ヌカ+タカノツメで茹でます。その後、一晩水にさらしておいしく調理してください。(記・吉田)

【観察会の様子】



【左】 大御堂寺(大坊)の雲海丸の救命船の説明のところに着きました。

【右】 家族でタケノコ掘り



【左】 おいしいタケノコで昼食

【右】 家族で里山農園整備

【行事名】 里海体験で身近な海の生物の観察。里山農園で採れた新鮮野菜を利用して海辺でバーベキュー

【日時】 2008年7月6日(日) 9:30～13:30

【場所】 美浜町野間富具崎

【天気】 晴れ

【担当】 門脇、百合草

【参加者】 21名

(会員：門脇、百合草、浅井、池田、沖田、榊原靖、降幡、森田、吉田)

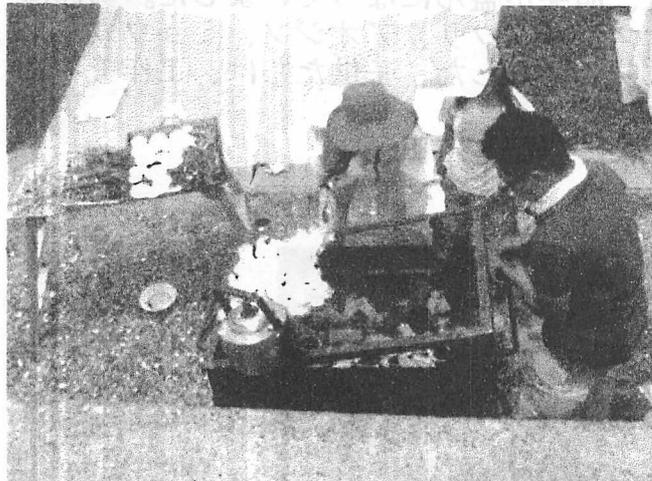
【内容】

よく考えてみると海は低いところにあり、陸で生活する私たち人間と他すべての生き物が生活のために利用し使われなくなったものは、すべて川を通じすべて海の中に流れ込みます。海の生き物は陸から供給されたさまざまな栄養分で生活しています。栄養分が増えすぎ海の汚れがひどくなるとそれに応じた生き物が増えます。海の生き物を観察をすれば海の環境が分かります。里山活動と海の生物を観察することは関係ないような気がしますが、里山を守ることにより陸で栄養分を吸収し、必要以上に海に流れ込むエネルギーを押さえ、海の汚れ防ぐといわれています。私たちは、里山と海の役割を知るために里山活動の一環として海辺の観察会を行っています。(記・降幡)

【観察した生き物】

下記掲載の写真をご参照下さい。([続き]にたくさんあります)

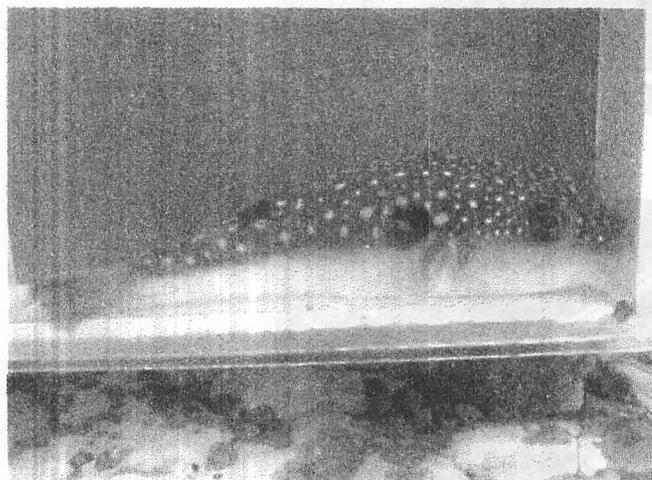
【観察会の様子】



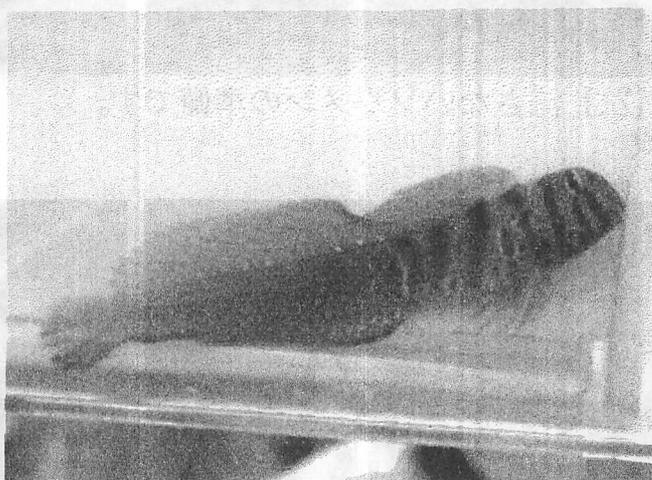
【左】 バーベキュー準備



【右】 潮位が高い中で観察開始。



【左】 クサフグ



【右】 ナベカ

【観察会続き】

【行事名】 「若竹で流さないソウメン」

【日時】 2008年8月10日(日) 9:30~15:00

【場所】 美浜町野間内扇「義朝の森」

【天気】 晴天

【担当】 山本, 沖田

【参加者】 大人14名、子供21名
(会員：山本、沖田、百合草、吉田)

【内容】

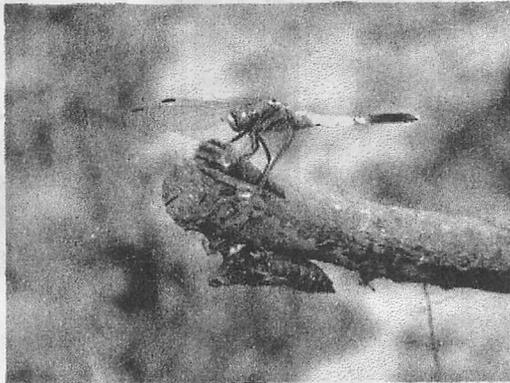
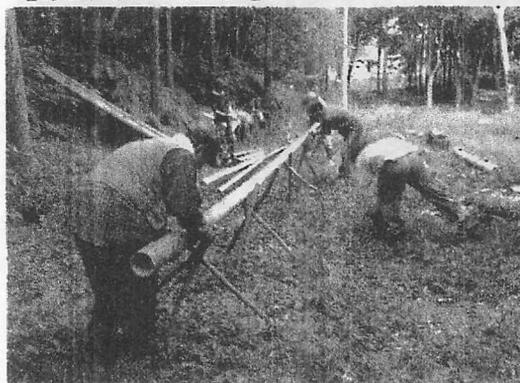
山では水が貴重品(水道設備が無い)なので水を沢山使う流しそうめんは出来ません。ですが、竹を切り出し竹を器にして流さないそうめんを毎年実施しています。若竹は甘くて、切れ端を置くとすぐにアリが群がります。切り口を舐めると甘さが実感できます。お酒の飲める方は、竹に日本酒を入れて燻を付けると風味と甘さで一層美味しく味わえます。

今回は2家族(大人2人, 子ども4人)が新規参加されました。2歳になる男の子は、虫が大好きでバッタをはじめ、カエルや小さいカマキリなど何でも捕まえ、虫籠にコレクションしています。色々興味を示し参加者の大人にもコレクションを披露していました。一緒に参加されたお姉さんは、活発で木登りを進めるとサッサと登れました。家族で竹すべりを堪能されていました。

畑では先日切り倒した木のセンダンからは、萌芽が盛んになっていました。切株には、ゴマダラカマキリが居ました。畑からナス、キュウリ、アオジソ、ミョウガ、プチトマトなどを収穫して そうめんと一緒に味わいました。子供たちは、工作で各自マイ箸を作りました。

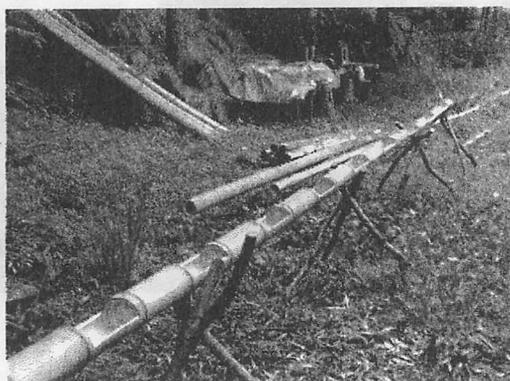
畑で収穫した野菜をお土産に解散をしました。(記・吉田)

【観察会の様子】



【左】 流さないソウメンの準備です。

【右】 シオカラトンボの雄とヤゴの抜け殻。



【左】 トンボの目。

【右】 流さないソウメンの仕掛け完成。

【行事名】 竹炭焼き(希望者宿泊可)夜の自然観察

【日時】 2008年10月11日(土)9:00~12日(日)15:00

【場所】 美浜町内扇「義朝の森」

【天気】 晴れ

【担当】 神野、百合草

【参加者】 15名

(会員：神野、百合草、浅井、沖田、山本、降幡、榊原靖、平松俊、永田、山下)

【内容】

前日から明け方まで雨が降っていた雨も上がり交流広場での焚き火もできるようになりました。本日の目的である炭やきに取り掛かりました。まず、先月の例会で用意をしておいた竹炭原料を窯に詰めました。窯の蓋をし、煙突を取り付けて10:00に火入れを行いました。火入れ後は自然が始まる焚き続けます。窯の火焚きと平行し18日に行われるみどりの少年団交歓会の時に自然物工作で使う材料である木のスライスや小枝の加工をしました。おいしい料理を前に、落日より情報交換と懇親会が始まりました。懇親会は夜半まで続きました。同時に水銀灯を点して光りに集まる昆虫の観察も行いました。炭やき窯の自然は22時ころになりました。

12日(日)の朝食は、伝統がある具がたくさん入ったおいしい雑炊をいただきました。昼近くなっても白い煙が出て炭化の途中でいたので一旦家で待機することにしました。たまたま14:00に観察したところ精錬まで進んだ様子でしたので窯止めをしました。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎灯火観察結果(昆虫)

ウスキツバメエダシャク、ナカジロシタバ等のガ10種ほど、アオドウガネ、ムーアシロホシテントウ、ナミテントウ、クロウリハムシ、ケシガムシ類(?)、ケブカカスミカメ(?)、アオズキンヨコバイ(?)、ヒメヨコバイ類、コガタシマトビケラ類、コバネイナゴ、オンブバッタ、オオユスリカ、ガガンボ類、ハラキンミズアブ、キノコバエ類、ハエ類

【観察会の様子】



【左】火入れが済み、夜の活動準備

【右】情報交換と懇親会

【行事名】 竹炭の炭出し祭

【日時】 2008年10月19日(日) 13:30~15:00

【場所】 美浜町野間内扇「義朝の森」

【天気】 晴れ

【担当】 山本、榊原靖

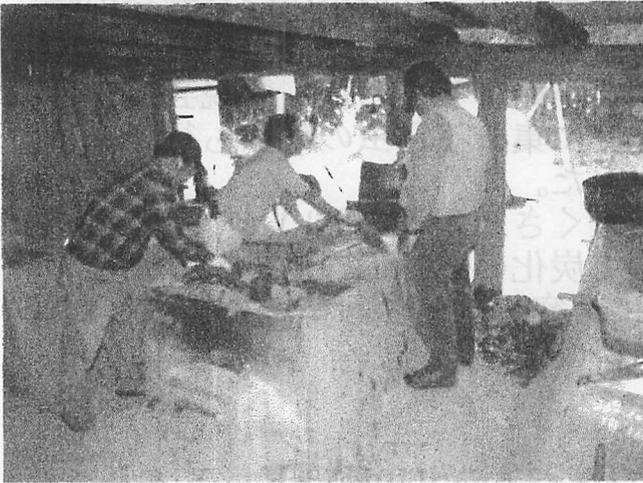
【参加者】 5名

(会員：山本、榊原靖、神野、吉田)

【内容】

いつもと同じ様に水をかけて 土を取り除いて炭出しをしました。写真を見るとわかりますが、今回は、だいぶ燃えてしまったようで炭の量が少ないです。それというのも、今年は、炭化終了がもっと遅いと思い油断して窯止めの時間が遅れてしまいました。一番大事なときに窯を離れたのが失敗でした。出炭作業の後、ヤマノイモのムカゴがたくさんありましたので11月の活動用にむかごを取りました。ちょうど食べごろのアケビがたくさん実っていたので、いくつかは食べました。また、イヌマキの実も実っていたので試食をしました。里山は実りの秋でした。(記・吉田)

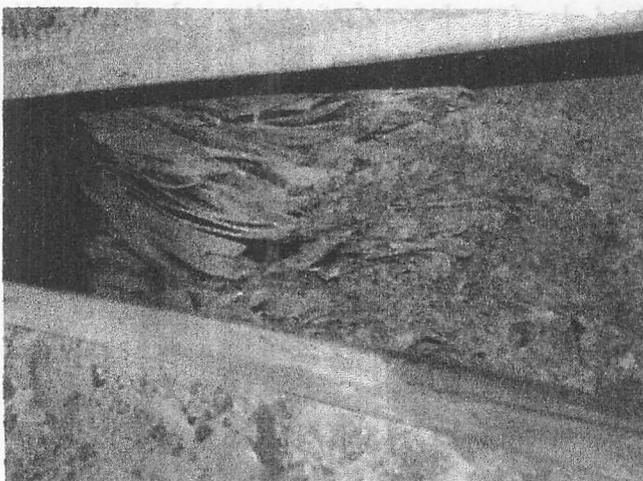
【炭出しの様子】



【左】 取り出し口に水を撒いて土を取り除きました。



【右】 蓋を開ける緊張の一瞬です。



【左】 ほとんど灰になっていました。



【右】 分配用に竹炭を均等に分けました。

【観察会続き】

【行事名】 「鳳来寺山周辺の地質観察」知多支部秋の研修旅行

【日時】 2008年11月15日(土)～16日(日)

【場所】

15日(土) 東海市役所駐車場 ⇒ 設楽層群 堆積岩の観察⇒ 設楽火山岩類の観察⇒設楽層群 堆積岩の観察⇒ 仁王門までの松脂岩・流紋岩 徒歩で表参道・階段歩き⇒やまびこの丘(泊)

16日(日) 鳳来寺山行者越え断層⇒石英安山岩の自破碎溶岩・松脂岩の自破碎溶岩 ⇒大島ダム湖の朝霧湖周辺の溶結凝灰岩⇒黄柳野の大カヤ⇒ 黄柳野のツゲ自生地(国天)⇒桜淵公園・三波川帯の岩石

【天気】15日(土)曇り 16日(日)小雨

【担当】牧野、吉村

【参加者】14名

(会員：牧野、吉村、岩本(2)、桑原、榊原正、中井康、永田、畠、平松俊、降幡、牧野、山田 絹、吉房、村井)

【内容】

準備中。

【観察した生き物】

◎植物

◎昆虫

灯火以外：ヤマトシジミ(?)、キチョウ、ヒメヤママユ、ヤガ類、シャクガ類、センチコガネ、ヒラタゴミムシ類、ナミテントウ、クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ、オオモンシロナガカメムシ、オオヨコバイ、ツマグロオオヨコバイ、マツモムシ、シマアメンボ、オカメコオロギ、マダラスズ、フキバッタ類、ツチイナゴ、ツユムシ、コオロギ類(鳴声)、コガタズメバチ、ハラナガツチバチ類、ヒメバチ類、アシナガアリ(?)、アリ類、ホソヒラタアブ、キゴシハナアブ、ヒメフンバエ、ハエ類、モリチャバネゴキブリ、コブハサミムシ、カワゲラ類、シロアリ類

灯火：ヒメヤママユ、クワゴ(?)、ホウジャクガ類、ヤガ類、シャクガ類などが多種、ゴホンダイコク、クビキリギス、マダラスズ、ヨコバイ類、ヒメバチ類、ガガンボ類、ユスリカ類、ハエ類、トビイロトビケラ(?)

◎鳥

◎その他

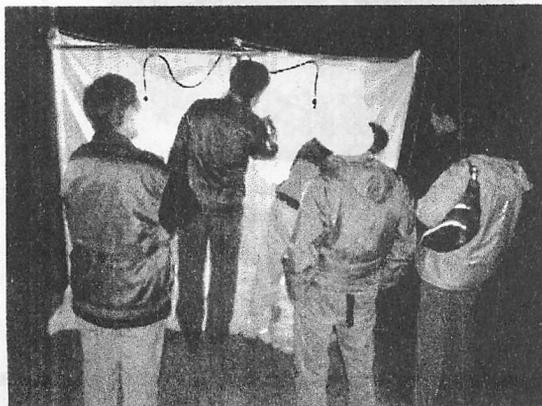
【観察会の様子】



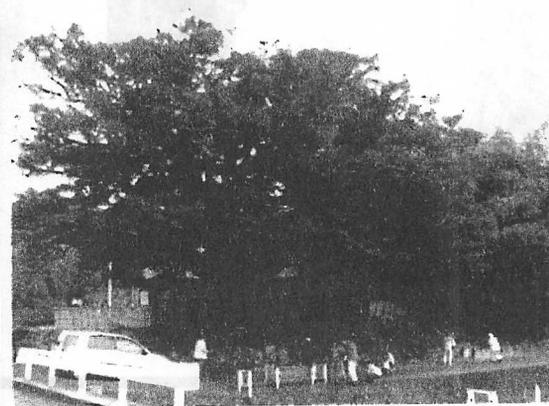
【左】 鉱山後・安山岩の貫入の観察



【右】 宿で採集岩石の確認



【左】 灯火観察(やまびこの丘)



【右】 大カヤでカヤの実採集

【行事名】 スクミリングガイ（ジャンボタニシ）生息現地確認研修
—愛知県自然観察指導員連絡鋼議会の調査に向けて—

【日時】 2008年9月7日（日） 9:30～10:40

【場所】 知多市地域文化センター

【天気】 晴れ

【担当】 大嶋、浅井

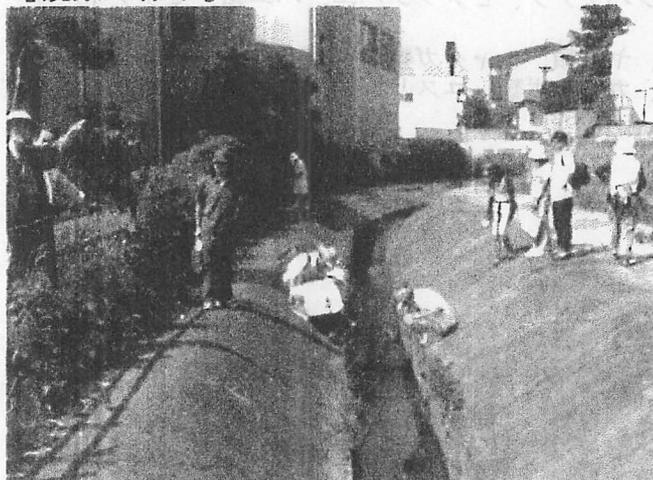
【参加者】 21名

（会員：浅井、今西、岩崎、大嶋、大野、門脇、桑原、榊原正、高橋、永田、平松俊、降幡、南川、村瀬、森田琢、山田絹、山本辰、吉川、吉房）

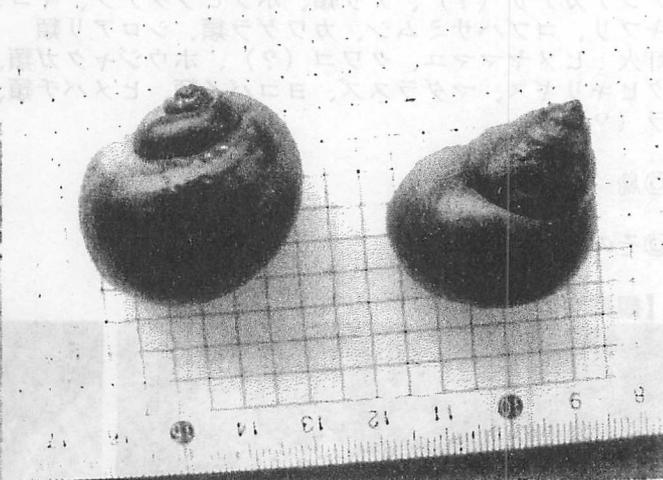
【内容】

今年度、愛知県自然観察指導員連絡鋼議会が実施しているスクミリングガイ（ジャンボタニシ）の県内における生息地調査の正確さと調査箇所の漏れを少なくするためにスクミリングガイ（ジャンボタニシ）現地確認研修を行いました。昨年実施されたオオキンケイギクの調査で調査区域の空白部分が生じたことを反省に、現地確認研修を行ったところ多数の会員の皆さんが集まりました。簡単に調査の方法、および、調査報告方法を確認してから実物確認をしました。実物は、集合場所の直ぐ北の水路にたくさんのスクミリングガイの成体と卵塊が見られるところから水路に移動して行いました。実物確認確認をした後、調査区域の分担をして解散しました。（記・降幡）

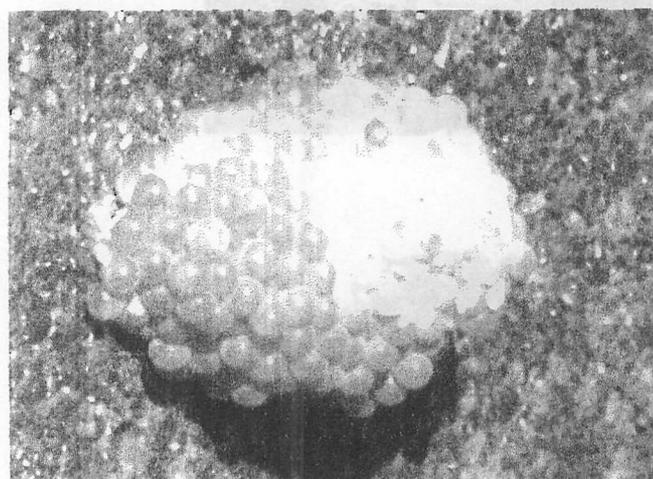
【観察の様子】



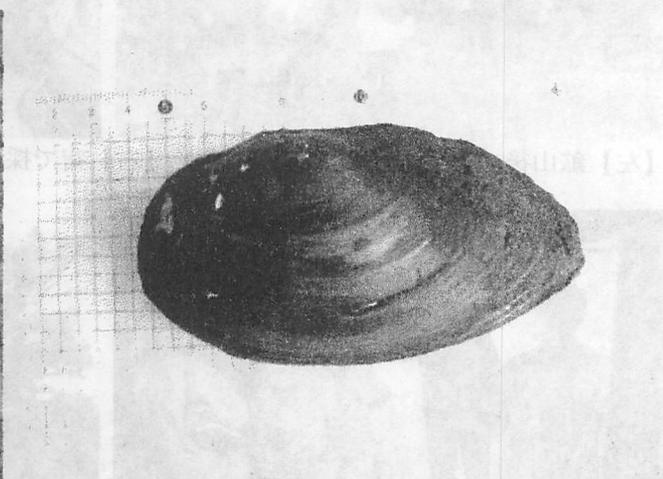
【左】 知多市地域文化センター北の水路で確認
シ（右）



【右】 スクミリングガイ（左）、タニシ（右）



【左】 スクミリングガイの卵塊 【右】 ドブガイ



【観察続き】

【行事名】 持ち寄り会

【日時】 2008年8月24日(日) 9:30~14:40

【場所】 阿久比町中央公民館「研修室」

【天気】 晴れ

【担当】 榊原 靖

【参加者】 名

(会員：浅井、大矢、榊原靖、関、竹内秀、中井康、永田、平松俊、降幡、牧野、南川、森田博、森田琢、吉房)

【内容】

※今回は、文字中心で、「持ち寄り会」の趣旨や様子を紹介します。

<持ち寄り会とは>

20年以上も前から開催されている室内研修会です。当初は、名称のとおり、会員が色々なモノ(外国のお土産も含む)を持ち寄り、見せ合っ、あ〜だ、こ〜だと見識深い(?)おしゃべりを交換していたものです。

昨今は、午前中に会員の2名が講師になって、実践報告をします。昼食をはさんで、午後は、パソコン研修が定番となっています。また、差し入れ歓迎の会ですので、庭や畑で採ってきた野菜や果物が持ち込まれる場合が多いです。

<今回の日程>

午前：「COP9に参加して」
「スクミリングガイの調査について」

午後：「パソコン研修」

<お話しの概要>

1. 「COP9に参加して-2008年5月 ドイツ・ボン-」(石原 洋一)

石原さんからドイツのボンで行われたCOP9(生物多様性条約第9回締約国会議)に参加された様子の報告がありました。参加者にはIDカードが発行され参加者の行動管理がされたみたいで、その見本を見せていただきました。

本会議では森林の生物多様性、海洋及び沿岸の生物多様性、気候変動の生物多様性との関係、遺伝子組み換え、資源の配分などが話し合われ、単に生物だけの問題だけではなく途上国との格差の問題も話し合われたそうです。

イベントとして、会議が無い土・日曜日等に参加者が日帰りまたは1泊の日程でボン周辺の生物多様性に関わる場所を視察する事も行われたそうです。

2. 「スクミリングガイの調査について」(降幡 光宏)

スクミリングガイの調査は、我が愛知県自然観察指導員連絡協議会の県内一斉調査です。

昨年の調査は、オオキンケイギクでしたが調査不十分でした。これは、県協議会でただ呼びかけただけで調査割り当てをしなかったためです。もっと酷かったのは簡単な調査なのに県協議会の役員も調査に参加しなかったことです。

以上のことを反省に知多支部はメッシュを設け、地区担当を割り当てて行うことにしました。さらに、スクミリングガイが生息している知多市の地域文化センター近くで現地確認を実施し、同定の観点を研修することにしました。

3. パソコン研修会

近年、毎回この研修をしています。やり方を知っている人が個別に教えるという形で、先生役が4、5人、生徒役が6、7人といったような研修です。

本来、ここでの一番の目的は、画像を編集(容量縮小等)して、メールに添付したり、活動報告をネット上から送信したり、掲示板に写真入りで投稿したりすることができるようにするためです。できるようになってしまえば、その人にとっては簡単な操作なのですが、生活に直結していないせいか、なかなか、モノにならないのが現状です。

【研修会の様子】

【行事名】 猿投県有林で灯火観察（日本山岳会の里山整備地）

【日時】 2008年8月9日(土) から 2008年8月10日(日)

【場所】 豊田市猿投山県有林

【天気】 9日晴れのち曇り一時雨のち晴れ 10日晴れ

【参加者】 11名

(会員：浅井、榊原正、榊原靖、平松俊、降幡、南川、山本、高橋(尾張))

【内容】

- ・9日 14:30~15:15 活動基地(三叉作業所)前の上山路川の観察と幕営宿泊準備
 15:20~17:00 上山路川を上流に向けて川の生物等観察 上部より第1堰堤とその上部の標高450m地点まで観察
 19:30~20:20 活動基地(三叉作業所)前にて灯火採集 (にわか雨にて途中にて中止)
- 20:40~21:40 活動基地~北歩道~内院WC~活動基地をナイトハイク観察
- ・10日 6:00~8:30 活動基地周辺の昆虫等の観察と活動基地下部の川の観察
 9:00 解散

「感じたこと」

- *花崗岩の風化による土砂で第1堰堤は埋まりつつある
- *期待した灯火採集はにわか雨で途中中止の羽目になり、時間の経過と灯火に集まる生き物の時系列変化の採集が出来ず残念！今後機会があれば季節を変えて調査できたらと思います。
- *川の生物では魚のカワムツが活動基地下部の川で捕獲したカワムツと堰堤最上部のカワムツとでは体側線の有無があり、堰堤最上部のカワムツには縦条の側線は見られなかった。堰堤最上部のカワムツは封鎖された環境での生息で近親交配の影響なのか？ A型とB型の差では無さそうである・・・？ (記・南川)

参加者感想

楽しい灯火採集会でした。有り難うございました。お陰様でミミズクを久々に確認できわくわく気分になりました。葉上のクロマドの幼虫に出会えたとのこと、おめでとうございます。感激されている雰囲気伝わってきました。(高橋)

【観察した生き物】

◎川で採取した生き物

カワムツ・サワガニ・ツチガエル・オタマジャクシ・カワニナの仲間・オニヤンマのヤゴ・他のヤゴ2種・トビゲラの仲間2種・(上流の森の中で1cm位の小さいカエル沢山いた)

◎灯火観察結果(ガを除く)

ドウガネブイブイ、オオスジコガネ(?), ヒメコガネ(?), ツヤコガネ(?), セマダラコガネ, コヒゲシマビロウドコガネ(?), ノコギリカミキリ, オオツヤハダコメツキ, ナミテントウ, ガムシ類, ハムシダマシ, アトマルキクイムシ(?), ヒグラシ, ミミズク, コガシラアワフキ(?), アワフキムシ類, チャバネアオカメムシ, ヒメホシカメムシ, セスジササキリモドキ(?), ヤマトカワゲラ, カワゲラ類, アオヒゲナガトビケラ, カクツツトビケラ類, シロフアブ(?), ホルバトアブ(?), ガガンボ類

◎蝶と蛾

アオスジアゲハ・モンシロチョウ・コムスジ・ルリタテハ・コチャバネセセリ・ダイミョウセセリ・ホシホウジャク・オビガ・ビロウドスズメガ・その他多し。

◎トンボ

オオシオカラトンボ(多)・ヒメアカネ・ミルンヤンマ・オニヤンマ

◎甲虫

ドウガネブイブイ・ヒメコガネ・スジコガネ・ツヤコガネ(?)・セマダラコガネ・コヒゲシマビロウドコガネ・アオカナブン・スジクワガタ・ノコギリカミキリ(多)・ウスバカミキリ・ナガゴマフカミキリ・コウヤホソハナカミキリ・クロヒゲアオゴミムシ・ハンミョウ・ニワハンミョウ・ヒメミズスマシ・マルガムシ・オバホタル・クロマドホタル・ベニボタル・オオツヤハダコメツキ・キマワリ(多)・クロホシテントウゴミムシダマシ・ハムシダマシ・ウスモンオトシブミ・カメムシ・アブラゼミ・ツクツクボウシ・ヒグラシ・ミミズク・ツマグロオオヨコバイ・チバネアオカメムシ・その他カメムシの仲間(多)

◎その他

ヒシバタ・クダマキモドキ・セスジササキリモドキ(?)・マダラカマドウマ・コウスバトビゲラその他トビゲラノナカマ2種・シオタアブその他アブの仲間4種・クロヤマアリ・ムネアカ・オオアリ・ヤマジカバチ・キイロスズメバチ・ホソアシナガバチ・ヒメバチ・ミカドドロバチ・ガガンボウ類・キンバエ類・ハナバエ類

【観察会の様子】

【行事名】 茶臼山で灯火に集まる虫観察

【日時】 2008年7月20日(日) ~ 2008年7月21日(月)

【場所】 稲武・井山川①⇒稲武・井山川②⇒長野県売木村アテビ平小鳥の森⇒根羽村茶臼高原

【天気】 晴れ⇒くもり

【参加者】 名

(会員：浅井、桑原、榊原正、榊原靖、平松俊、降幡、水野、山本)

【内容】

今回の行事は、010728に岐阜大学の位山演習林での灯火観察の思い出をもう一度の期待で計画をしました。灯火観察のみでしたら夕方、知多を出ればよいことですが、欲張りを出して、朝から出発し、途中で清流に住む生き物の観察をすることにしました。

期待したとおり、清流に住む生き物を十分に観察することが出来、時間に余裕があったので「長野県売木村アテビ平小鳥の森」もハイキングすることが出来ました。灯火採集の場所は、長野県根羽村茶臼湖の近くで行いました。位山のときほどではありませんでしたが、平地での観察のときに比べれば数、種類とも雲泥の差でたくさん見られました。バンガローを私たちの他2、3世帯の家族が利用していました。一般では、比較的少ない灯火観察でしたので皆さん見学に来られ楽しんでいられました。

深夜に及ぶ楽しい宴会の翌日は、矢作川源流の湧き水でのを潤した後、根羽村の「月瀬の大杉」(国天)を見学し戻りました。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎植物

◎昆虫

◎灯火観察結果(ガを除く)

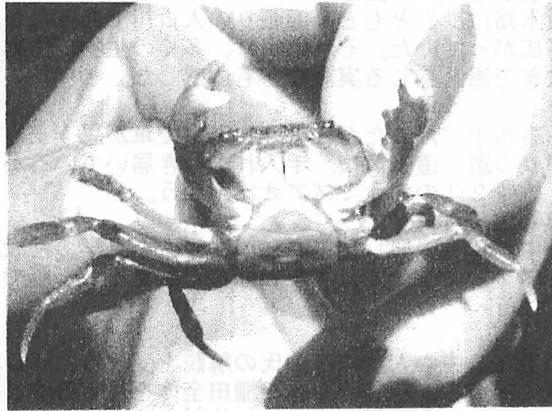
ヒカゲチョウ、スジコガネ(?),ピロウドコガネ類、セマダラコガネ、ミヤマクワガタ、アカアシクワガタ、モモブトシデムシ類、アオカミキリモドキ類、アカハネムシ類、キクイムシ類、シロオビアワフキ、アワフキムシ類、オオヨコバイ、ハサミツノカメムシ、ヤマトカワゲラ(?),カワゲラ類、ムラサキトビケラ、カクツツトビケラ類、アオヒゲナガトビケラ(?),ヘビトンボ、ハナアブ、ヒメバチ類、

◎その他

【観察会の様子】



【左】川の生き物観察



【右】赤ちゃんを持ったサワガニ



【左】アテビ平小鳥の森の湿地帯



【右】バンガローに宿泊した人たちが見学に来ました。

【行事名】 「東三河の自然をたずねて」 (東三河支部との交流)

【日時】 2008年5月31日(土)～6月1日(日)

【場所】 5/31 汐川干潟⇒新堀川(江比間)⇒般若寺⇒表浜⇒江比間少年センター6/1⇒豊川放水路⇒鳳来寺自然博物館⇒四谷の千枚田

【天気】 5/31曇り⇒雨 6/1晴れ

【担当】 竹内秀、牧野、降幡

【参加者】 15名

(会員：牧野、降幡、浅井、門脇、榊原正、榊原靖、永田、平松俊、平松裕、牧野、南川、山本+子供3

人)

【内容】

汐川干潟：

日本屈指の渡り鳥の飛来地である汐川干潟。ここでは、貝の採集、漂着物の収集、小魚捕り、鳥の観察など、個人の興味のまま行動する。貝類は、ヘナタリ、カワナなどの巻貝が泥地の上に、泥の中には二枚貝のオキシジミガイがたくさんいた。漂着物は、ハスの実やヒシの実、クルミなどの木の実、鳥は、アオサギ、ダイサギ、カワウなどがいた。汐川干潟と水平に走る用水路には、スクミリンゴガイの卵がびっしり水路壁についていた。貝自身は、生きたものを発見することはできなかったが、殻が何個か浮いていた。汐川に面したコンクリートの道路の上では2m近くはあろうかと思われるアオダイショウの脱け殻を見つける。少し移動した泥地では、ヤマトオサガニがたくさんいた。彼らの動作は緩慢で素手で捕えることもできたし、カメラモデルとしても優秀であった。

新堀川 海浜植物観察

小雨のパラつく中、昼食を摂り、海浜植物の観察を行う。ハマヒルガオ、ハマボス、オカヒジキ、ハマナデシコなど。

般若寺

お寺の境内でミツバチの巣の観察。門には昼間なのにゲンジボタル発見。道路わきの草むらには、コガネムシがたくさんいた。

般若寺の向かいにある地下から湧水を噴き出している川を観察。湧水ならではの大変美しい水である。

田原市赤羽表浜

広大な海と砂浜の広がる表浜は、ウミガメの産卵地である。雨のまじる強風に吹かれながら貝殻やハマボウフウ、コウボウムギなどの植物を見る。ウミガメの産卵の痕跡は見つけることができなかったが、珍しいものとしてミズナギドリの死体を発見する。

豊川放水路自然観察 「ヨシ原にわたる初夏の風を感じよう」

東三河自然観察会と合流し、放水路やヨシ原(アシ原)の生き物を観察する。まず、川の生き物をじっくり見る。カワザンショウガイ、カワナ、チリメンカワナなどを捕まえじっくり見る。メダカもたくさんいるようだ。そこでカニの呼吸法などのお話を聞く。ヨシ原に移動し、小さなカニ、ヨシノボリの幼魚と思われる小さな魚を観察する。豊川放水路は、もともと3面張りの人口川であったが、国土交通省のヨシ原再現事業も行われ、ところどころにヨシ原が広がっていた。それにより、多くの生物が住めるようになり水質浄化にも期待されているようである。最後に霧吹きで風を感じる実験なども体感した。

賀茂神社(豊橋)

賀茂菖蒲園に立ち寄る予定だったが、イベント中で車が思うように止められず賀茂神社裏手で止め、昼食を摂る。昼食後、神社周りの遊歩道を散策。手入れが行き届いているが、歩道の脇の森に近づくとすごい量の蚊の襲撃にあう。ここでは、雄雌2匹のオオミズアオに出会う。

鳳来寺山自然科学博物館

企画展：「愛知の中央構造線展」を中心に博物館内を見学。常設展もなかなか興味深い展示である。飼われているコノハズクやミミズク、モリアオガエルの卵なども見ることができた。屋上の巣箱の中では、シジュウカラが抱卵中、気づいた人だけそっと見た。

四谷千枚田

この棚田の保存に当たる中心人物の小山氏の解説を受ける。「日本の棚田100選」に選ばれた四谷の千枚田は、鳳来町の鞍掛山の麓に広がる。新しくできた棚田全体を見下ろすことができる場所からの眺めは絶景。田植えを終えたばかりの棚田は、空の色を反射して一枚一枚が白く浮き上がる。この美しい景色が未来に残ることを切に願う。(記・牧野)

【観察した生き物】

◎植物

◎昆虫

△6/31灯火観察(ガを除く)

クロコガネ、アトボシアオゴミムシ(?)、クシコメツキの1種、キイロテントウ、ナガハムシダマシ、ミミズク、クワキヨコバイ、モモアカハギカスミカメ(?)、ヒトテンツヤホソバエ、ハエの仲間、ヒメガガンボの仲間、ユスリカの仲間、ヒメバチの仲間、クサカゲロウの1種、モリチャバネゴキブリ

△6/31灯火以外(ガを除く)

モンシロチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ルリシジミ、アカシジミ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ゴマダラチョウ、ダイミョウセセリ、コガネムシ、オサムシモドキ、オオゴミムシ、マルガタゴミムシ(?)、キイロチビゴモクムシ、キベリゴモクムシ(?)、ハマベミズギワゴミムシ(?)、オオヒラタシデムシ、キマワリ、ヒメカクスナゴミムシダマシ(?)、チビゲンゴロウ、ツブゲンゴロウの1種、クズノチビタマムシ、サビキコリ、ジュウサンホシテントウ、ヒメカメノコテントウ、アオバネサルハムシ、コガタルリハムシ、ヤマモハムシ、キスジノミハムシ、コフキゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、ヨツボシホソアリモドキ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、セスジイトトンボ、ミヤマカワトンボ、カワトンボの1種、マルカメムシ、ホソハリ

【行事名】 南知多で化石観察研修

【日時】 2008年4月27日(土) 9:30~12:10

【場所】 南知多町片名蛭子(長谷崎南)

【天気】 晴れ

【担当】 河原、永田

【参加者】 13名

(会員:河原、永田、森田、榊原正、桑原、岩本、浅井、大矢晃、大矢美、降幡)

【内容】

準備中

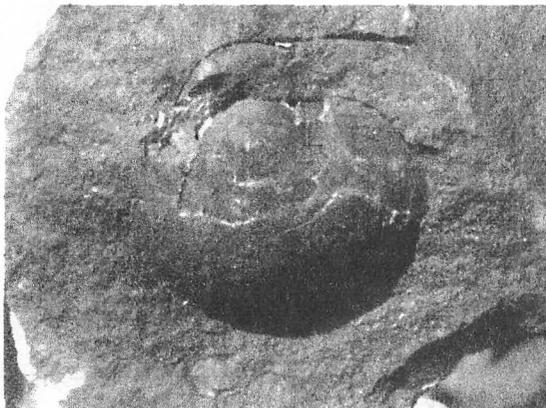
【観察会の様子】



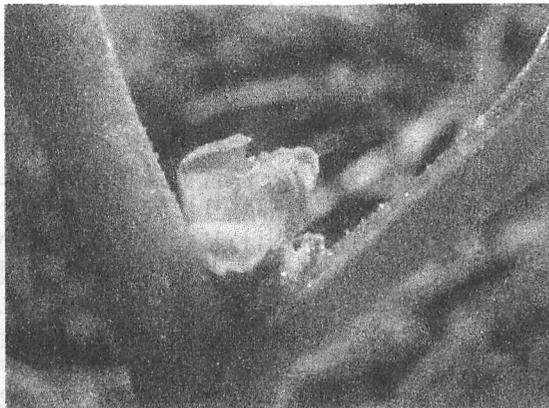
【左】 思い思いの所で化石探し



【右】 見事なスナモグリ

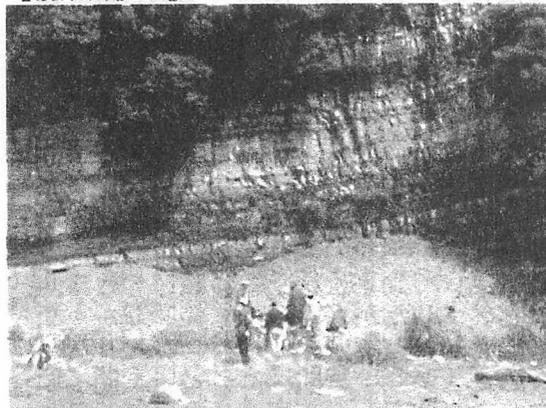


【左】 マルフミガイ



【右】 ツルナの花

【観察会続き】



【行事名】 富山でヒスイを拾おう

【日時】 2008年3月15日(土)～3月16日(日) (1泊2日)

【行程】

3/15(土)：東海市大池公園→福井県徳光PA→新潟県親不知ピアパーク→富山県宮崎海岸→民宿松沢(泊)

3/16(日)：民宿松沢→新潟県親不知ピアパーク→富山県魚津市(埋没林博物館)→東海市大池公園

【天気】 晴れ

【担当】 牧野、永田

【参加者】 14名

(会員：桑原、吉房、蔦谷、山田、岩本、榊原靖親子、浅井親子、竹内秀親子、牧野、平松裕、永田)

【内容】

1月の水族館見学の際に具体化したヒスイ探シツアーですが、どうせ行くなら欲張って見てまわろうと、ビーチコーミング(漂着物拾い)、埋没林の見学と分刻みの旅行となりました。

①福井県徳光PA脇の砂浜…ビーチコーミング(漂着物拾い)

3月15(土)7:30に東海市大池公園に集合、3台の車に分乗して一路第1目的地の福井県徳光PAへ。浜に降りて波打ち際の漂着物を物色しました。ここでは小さなウニの殻や貝殻、外国製の浮子などを拾いました。

②新潟県親不知ピアパーク…翡翠ふるさと館の見学とヒスイ探シ

PAで昼食を摂った後に新潟県親不知ピアパークに向かい、閉館ぎりぎりの翡翠ふるさと館で現地のヒスイを見学。そして目的のヒスイ探シに集中しました。桑原さんや私(永田)がヒスイ探シのポイントを説明しましたが、やはり初めてのみなさんには難しかったようで、ヒスイ探シは早々にあきらめて、ウミネコと戯れる人も数名いました。

③富山県宮崎海岸…ヒスイ探シと晚餐会

ひとしきりヒスイを探した後、そろそろ宿へということになり、途中ストアで買い出しもしながら、富山県宮崎海岸にある民宿松沢へ。民宿着後、夕食までの時間潰しに目の前の宮崎海岸でヒスイを探しました。

夕食の時間になり、食堂へ行くと一人一杯ずつのベニズワイガニ、そして刺身の舟盛り付きのご馳走が待っており、当地の名物タラ汁も肴に皆で盛りあがりました。しかし、観察会のメンバーのこゝと、単に食べるだけでは飽きたらず、舟盛りに飾ってあったお頭に興味津々。結局、標本用に持ち帰った人もいました。夕食後は、買い出した物を飲み食いしながら石の鑑別研修。桑原さんや私を講師に、この日拾ったヒスイとおぼしき石を並べての鑑定眼養成講座が行われました。「形がいびつで角張っている。」「表面がすべすべしている。」「非常に細かい、きらきらした結晶が見える。」等々のヒスイならではの特徴を皆で確認しましたが、私が拾ってきた灰色のヒスイに対しては「これは認められん!」「こんなの分からん!」と非難が集中。でも、桑原さんは「これはヒスイ。」と判定。これを聴いてさらに周囲の声はヒートアップといった感じで楽しいひとときとなりました。

翌早朝はこの研修を踏まえてのヒスイ探シの続き。朝食まで宮崎海岸で探しました。その朝食後、宿のご主人のコレクションを見せてもらうことになり、新築間もない感じの母屋に上がらせてもらいました。玄関の足元にはヒスイが敷き詰められ、下駄箱の上には上質な緑やピンクのヒスイが並ぶだけでも凄いの、家のあちこちに高級木材の黒柿がふんだんに使われ、畳の上には熊の毛皮、飾り棚には古そうな陶器が並べられ、お宝の山といった様子に一同ただただ驚くばかりでした。ここで何名かがヒスイの根付けを分けてもらい、宿を後にしました。

④新潟県親不知ピアパーク…ヒスイ探シ

昨日の様子から親不知の海岸の方が状況的に良かったということで、もう一度親不知ピアパークでヒスイ探シにチャレンジ。ここで岩本さんの執念が実り、立派なヒスイの原石を拾うことができました。この収穫に納得し、最後の目的地である魚津に向かいました。

⑤魚津埋没林博物館…埋没林の見学等

ここでは、富山湾の蟹気楼に関するビデオや、かつての森林が約2千年前の縄文海進によって没してきた埋没林を見学しました。見学の後、近くの海の駅「蟹気楼」で食事を摂り、帰路につきました。なお、私はここでシロエビやベニズワイガニの入った丼を食べましたが、とっても美味しかったです。ちなみに、富山湾で獲れる深海魚のゲンゲが入った、お汁も変わっていました。

このような行程を経て、大池公園に戻ってきたのが午後7時過ぎ。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、長い距離を運転していただいた榊原靖さん、浅井さん、竹内秀さんには、ひたすら感謝です。

帰りの車中で、次の機会にリベンジを誓う牧野さんの言葉を聞きながら、このような楽しい機会を増やしていきたいと思っていました。(記・永田)

【観察会の様子】

【行事名】 会員の活動実績発表・資料持ち寄り・パソコン講習

【日時】 2008年1月19日(土) 9:30～14:30

【場所】 半田市亀崎幼稚園

【天気】 晴れ

【担当】 榊原靖・南川

【参加者】 名

(会員：榊原靖・南川、森田、永田、桑原、山本、平松俊、榊原正、岩本、竹内秀、大嶋、降幡+海達クラブ会員3名)

【内容】

◎会員の活動実績発表

- 1 知多半島南部中心の海岸で見られる魚類を写真で紹介 森田 博文 氏
- 2 漂着物の楽しみ 永田 孝 氏

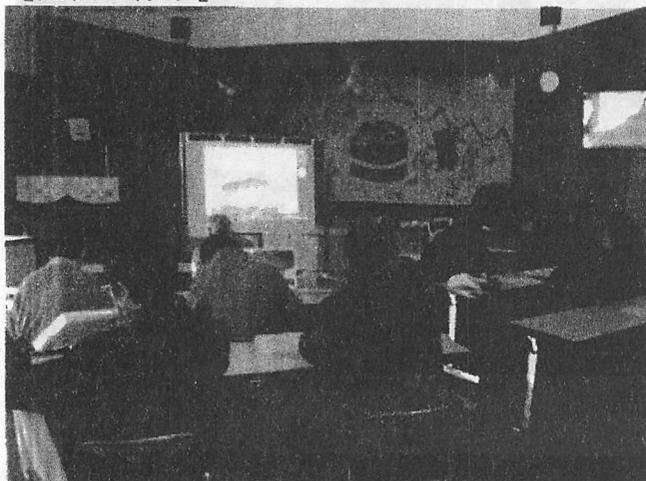
◎資料持ち寄り

- 1 漂着物 永田 孝 氏
- 2 植物の種子標本 桑原 誠 氏

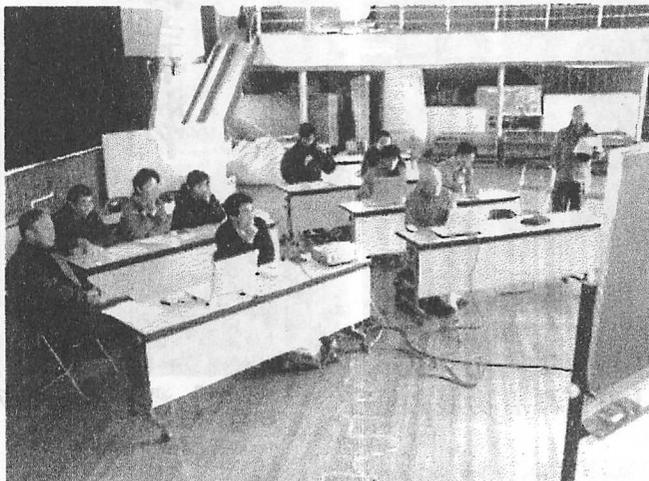
◎パソコン講習

Eメールの操作方法、写真加工、ファイル管理、ホームページ資料の取り出し方法など

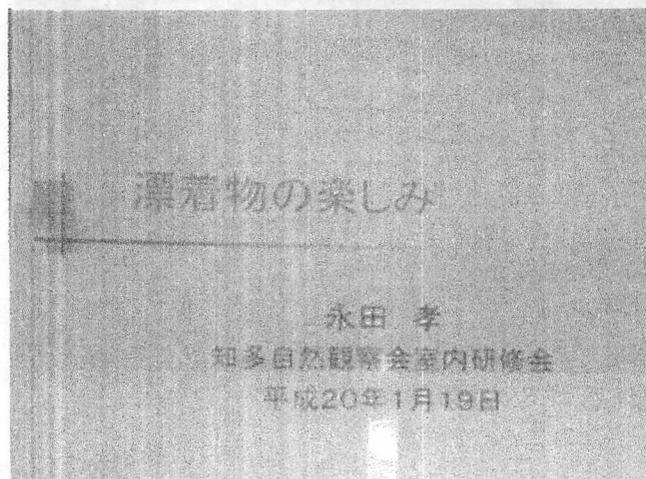
【発表の様子】



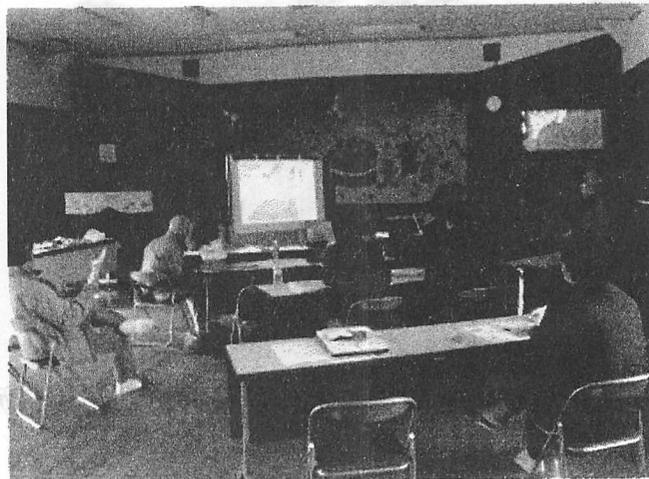
【左】 知多半島の海岸で見られる魚の発表



【右】 知多半島の海岸で見られる魚の発表



【左】 漂着物の楽しみの発表



【右】 漂着物の楽しみの発表

【行事名】 漂着物展と水族館を見よう

【日時】 2008年1月4日(金) 13:30~16:30

【場所】 碧南市碧南海浜水族館

【天気】 晴れ

【担当】 永田

【参加者】 8名

(会員：降幡、桑原、浅井、大嶋、牧野、竹内秀、高橋、奥津)

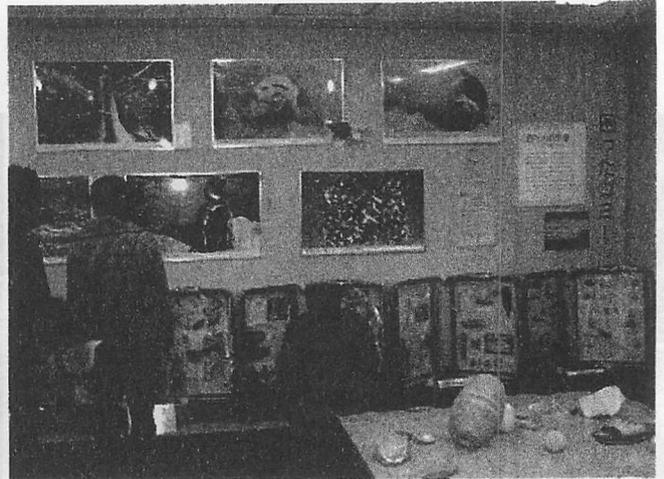
【内容】

碧南海浜水族館で1月2日～2月11日の期間、漂着物展が開催されました。1月19日に開催の「会員の活動実績発表」で『漂着物の楽しみ』をテーマに発表を予定していた私が、その事前研修として「水族館見学も兼ねてみなさんで見学しませんか?」とお誘いしたところ、参加者のみなさんが集まって下さいました。漂着物の展示については、漂着物学会々員である私から少し解説を加えさせていただきましたが、展示そのものは広く浅くといった内容で、初心者の方にはわかりやすい内容であったと思います。漂着物展見学後、水族館を見てまわりましたが、やはりそこは生き物大好きな観察会のメンバーのこと、たっぷりと時間をかけて見学しました。ルーペで水槽表面に付着した小動物を観察したり、学芸員をつかまえて話し込んだりと、みんなで楽しい見学会となったと思います。(記・永田)

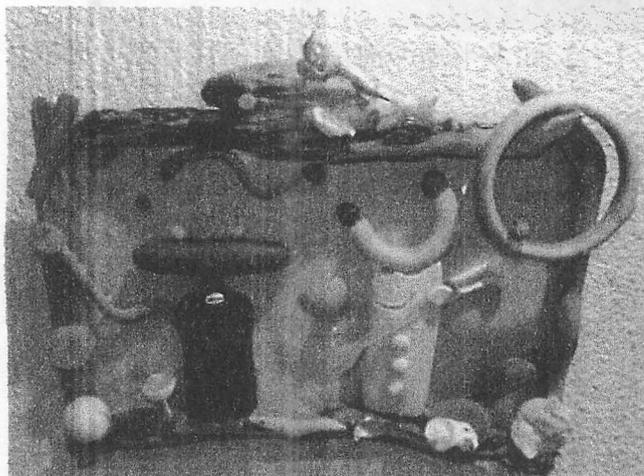
【観察会の様子】



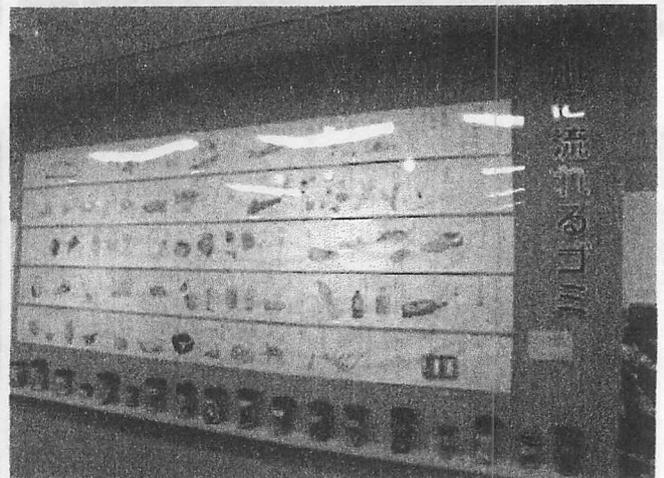
【左】 漂着物展の様子



【右】 漂着ゴミ等の展示



【左】 漂着物を利用した作品



【右】 川に流れるゴミの展示

[アルバムへ](#)
[トップページへ](#)

知多市観覧会

行事名	日長川の生き物観覧
日時	2008年(平成20年)8月2日(土) 午前9時30分～11時40分
集合場所	知多市地域文化センター～日長一区公民館
実施場所	日長川山奥橋すぐの上流
天気	晴れ時々雲り
参加者	大人6名、小人9名、合計15名
指導員	1.金内、2.大野、3.葛谷



内容

日長川は五郎座南池から知多市岡田の街の中を流れ知多中学校の東側を流れて伊勢湾に注ぐ川約5.5km 現在は知多中学東側の所を洪水対策のため河川拡張工事中です。日長一区公民館に午前9時30分に集合して既に長靴姿の親子がすでに入川している状態で待ち遠しう観覧コース及び川底が粘土質のため滑りやすい等担当者からの注意事項を説明後、天気が良く暑い日でしたが、公民館からすぐ近くに観覧地の山奥橋があり、気を付けて注意をうながして、いざ川の中へ目を輝かせて元気な子供たち、生き物捕獲に必死な子、捕えた生き物をおどるおどる親子、川底を恐々と歩く子などの風情が見られました。例によって観覧トイで生き物の説明をして今回は日長川では私自身が昭和49年から調査を始めてから、初め捕獲観覧されました。カワアナゴとアシシロハゼの新顔の種類魚類を観覧されました。おもしろいと思います。カワアナゴを捕獲した小学校4年生の女子生徒の笑顔が素晴らしい。現地解散となりました。ケガなどなくて良かったです。

観覧出来た生き物は以下です	
魚類	1.カワアナゴ、2.モツゴ、3.アシシロハゼ、4.ヨシノボリ、5.カダヤシ
貝類	1.マシジミ、2.イシマキガイ、3.サカマキガイ
甲殻類	1.モクスガニ、2.クロベンケイガニ、3.アメリカザリガニ、4.テナガエビ、5.ヌマエビ
水性昆虫	1.ヒメガムシ、2.ヤゴ数種、3.アムシボ、4.マツモムシ
爬虫類	確認できず
両生類	1.オタマジャクシ、種類確認できず小さく
その他	1.ヒル

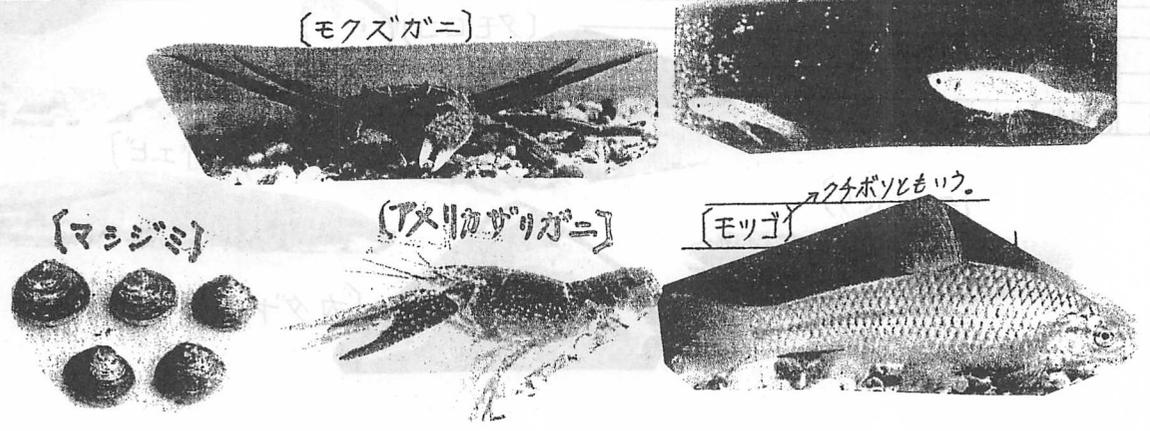
捕獲

{アシシロハゼ} 日長川では初め観覧です。

カワアナゴを初め観覧です。

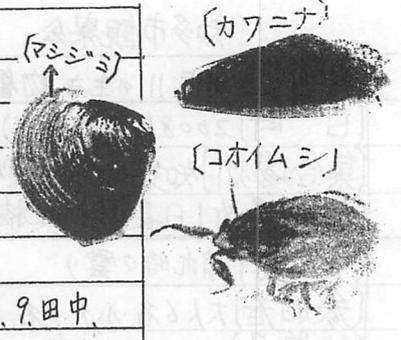
{ヨシノボリ}

カダヤシオス、メス



知多市観覧会

行専名	秋の信濃川をのぞいてみよう
日時	2008年(平成20年)9月13日(土) 午前9時30分~11時40分
集合場所	知多市(梅の館)
実施場所	新七反田橋下流
天気	晴れたり曇ったり
参加者	大人9名, 小人11名, 合計20名
指導員	1.金内, 2.山本原己, 3.浅井, 4.森田, 5.中井康夫, 6.大野, 7.霜島, 8.吉房, 9.田中

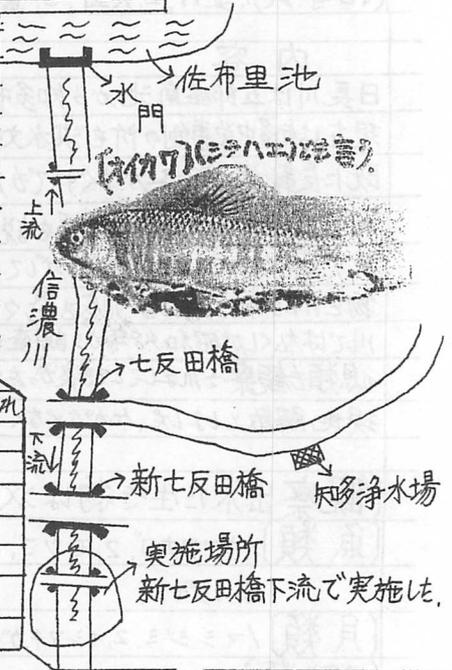


内容

信濃川は佐布里池に端を築き伊勢湾に注ぐ全長約6kmですが、2005年2月頃に七反田橋上流に堆積した土砂を取り除く洪水対策工事を行った影響で川底の粘土質の土壌が下流に流出してしまっており、マドジョウ、オイカワ、ヨシボリなどが激減した生態環境になっています。近年は少レブではあるが回生の兆しが見え始めてはいますが、ところから以来水量が激減してしまっており大型魚のオイ類やナマズ、ウナギなどの大型魚など姿が見えなくなってしまいました。

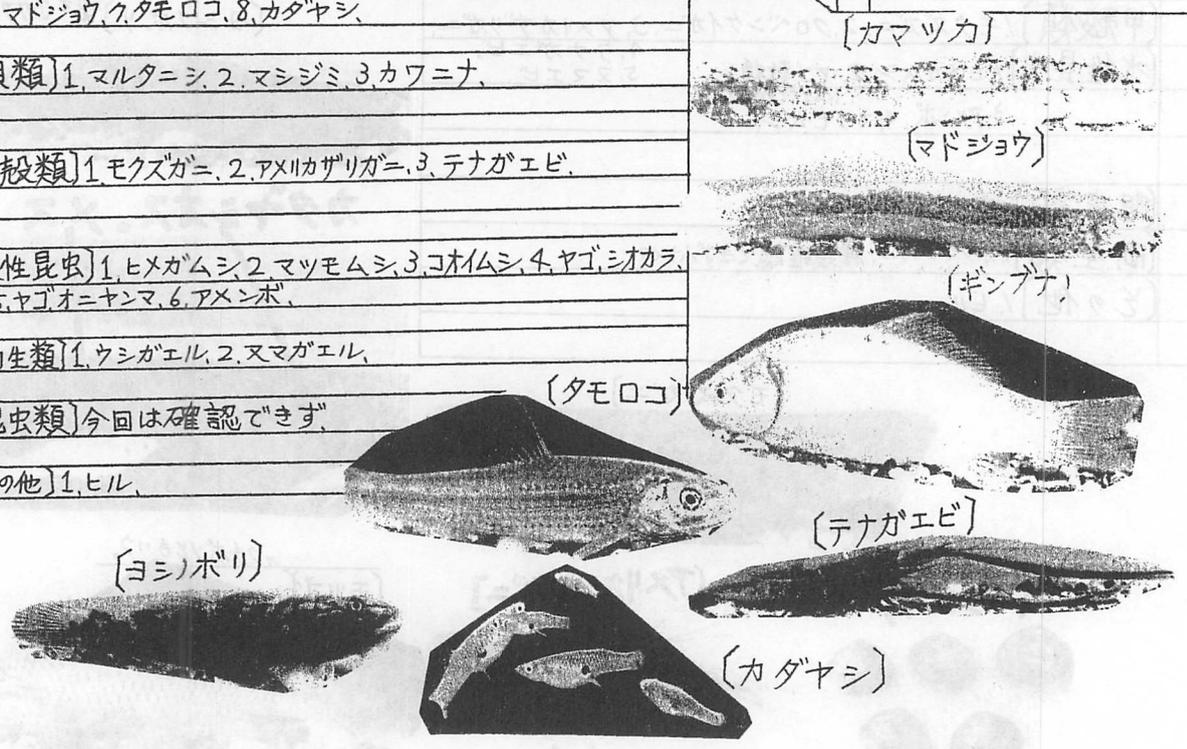
観覧会当日は梅の館に午前9時30分に集合し担当者から観覧コース注意事項など説明後現地の川に到着、早速梯子で降り川に入る。タモで生き物を捕獲しておとろおとろ触る子など元気いっぱい目を輝かせてオイカワ、マドジョウ、ヨシボリ、アマチブなどを捕まえては大喜び、オイカワ、ヨシボリなどが復活の兆し有り、安堵しました。

それに又マガエル、ウシガエルなど水性昆虫はコオイムシ、ヤゴ類なども見られました。参加者達に喜んでくれて、ケガなどもなくて良かったと思っております。現地解散としました。



観覧出来た生き物は以下です

- 魚類** 1.オイカワ, 2.ギンブナ, 3.スミウキゴリ, 4.カマツカ, 5.ヨシボリ, 6.マドジョウ, 7.タモロコ, 8.カダヤシ,
- 貝類** 1.マルタニシ, 2.マシジミ, 3.カワニナ,
- 甲殻類** 1.モクスガニ, 2.アメリカザリガニ, 3.テナガエビ,
- 水性昆虫** 1.ヒメカムシ, 2.マツモムシ, 3.コオイムシ, 4.ヤゴ, シオカエ, 5.ヤゴオニヤンマ, 6.アメンボ,
- 両生類** 1.ウシガエル, 2.又マガエル,
- 爬虫類** 今回は確認できず,
- その他** 1.ヒル,



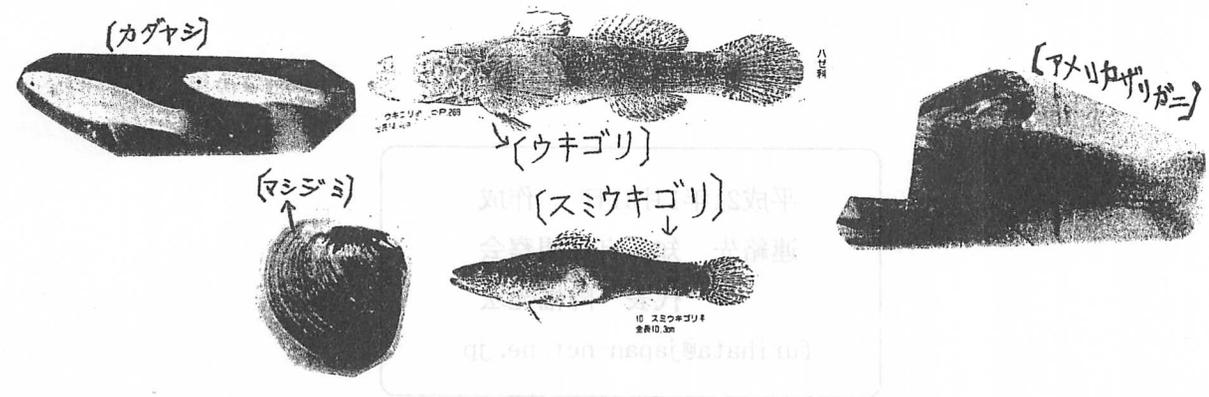
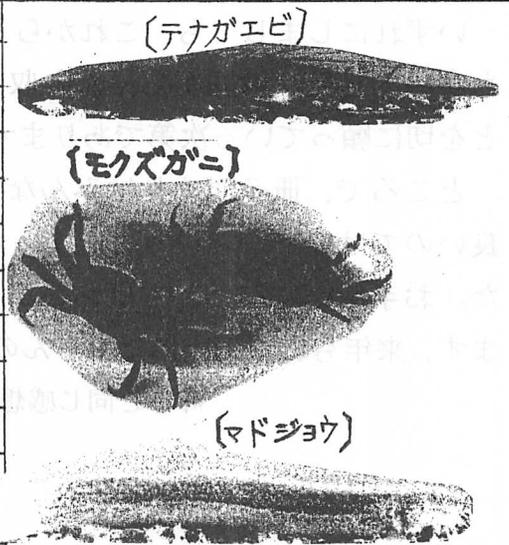
知多市観覧会

〔行専名〕	水田や水路の生き物観覧(水路は神田川)
〔日時〕	2008年(平成20年)9月6日(土) 午前9時30分～正午
〔集合場所〕	知多市地域文化センター
〔実施場所〕	矢田川支流神田川
〔天気〕	曇り時々晴
〔参加者〕	大人 名, 小人 名
〔指導員〕	1.金内, 2.大野, 3.山本原己, 4.山田頼子, 5.中井康夫, 6.吉房, 7.葛谷

内容

知多市地域文化センターに午前9時30分に集合して参加者達は既に長靴を履きタモアミ、バケツを持って今すぐにでも川に入る状態で待ち遠しそくに待っている。天気も観覧日和で担当者が観覧ルート・注意事項(サンダル)は撤禁等の説明後、観覧地の神田川を目指して徒歩で出発しました。途中で田んぼの生き物を捕獲観覧しましたミズボウシ(スクミリンゴガイ)でした。ところでスクミリンゴガイの卵塊が見られませんでした。神田川に到着早速梯子で降り川に入る。タモアミで生き物を捕獲しておとるおとる魚や水棲昆虫に触る子など元気いっぱい目を輝かせてマドジョウ、カダヤシ、ウキゴリ、チナブ、水棲昆虫のヤゴ、アメンボなどを捕獲して大喜びでした。観覧トレイを使って外来生物法のお話しをしてこれカダヤシは北アメリカのメダカですよと言うように説明して今日の観覧会を皆さんケガもなく無事修了したので良かったです。現地解散としました。

〔観覧出来た生き物は以下です〕	
〔魚類〕	1.マドジョウ, 2.スミウキゴリ, 3.ウキゴリ, 4.チナブ, 5.カダヤシ
〔貝類〕	1.マシジミ, 2.イシマキガイ, 3.サカマキガイ, 4.スクミリンゴガイ
〔甲殻類〕	1.モクズガニ, 2.クロベンケイガニ, 3.アメリカザリガニ, 4.テナガエビ
〔水棲昆虫〕	1.アメンボ, 2.マツモムシ, ヤゴ 数種 <small>（小さくて種類確認できず）</small>
〔爬虫類〕	確認できず
〔両生類〕	オタマジャクシ <small>（小さくて種類確認できず）</small>
〔その他〕	ヒル



編集後記

今回は、年報のページ数を昨年度の半分以下となるよう編集しました。そのため、具体的な活動紹介は、たくさん挙げてあるものの、それでも全体の3分の1にも及びません。全体は本会のWebサイトにアップされていますので、そちらでご覧下さいという形になりました。ページ数の大幅削減の理由は、会計面ではなく、偏に、仕事量の軽減のためでした。年報制作日は10名以上の会員が休まず手伝って、朝から夜までかかりました。やっぱり、太陽の高い内に終了したいためでした。今回の結果については、後日の反省会で検討されることと思います。

さて、本会では、各々の活動終了後、それぞれの責任者が年報様式にそって、メールで報告することになっています。大方はOKであります。写真を撮っていない、あるいは、撮ったがダメだったという活動もありました。このような場合の多くは、カメラ係を決めてなかったことに起因していました。解説役の人は撮っておれませんので、他の会員でその役をやっていただきたいと思えます。

いずれにしても、これからも、“年報”作成を一層意識していただいて、写真も含めて必要な情報がちゃんと収まっている『活動報告』を報告していただけることを切に願っている次第であります。

ところで、冊子づくりはみんなでワイワイ言いながらやった方がいろんな意味で良いのではないかとということで、結局今回も、会員に呼びかけ、集まって作りました。お手伝いにみえた方はお分かりかと思いますが、何やかやと結構時間がかかります。来年もお手伝いにたくさんの皆さんが来ていただけることを期待しています。

昨年と同じ感想になり恐縮しております…(´_`;))

「年報」担当役員 榊原正躬

平成21年1月31日 作成
連絡先 知多自然観察会
代表 降幡光宏
furihata@japan-net.ne.jp

